

# スポーツに関する市民意識調査 報告書

平成21年3月

長岡京市

# － 目 次 －

## I 調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査設計及び回収結果	2
4. 報告書の見方	2

## II 調査結果

1. 基本属性	3
2. 健康や体力について	8
3. スポーツ活動の状況について	16
4. 公共スポーツ施設について	45
5. 学校体育施設について	54
6. クラブや同好会、教室について	61
7. 市内のスポーツ行事及び団体について	75
8. 今後のスポーツ振興のために必要な施策について	82

# I 調査の概要

## 1. 調査目的

本調査は、市民のスポーツに関する活動やその実態などについて調査し、平成 13 年度に実施した調査結果と比較し、今後の長岡京市におけるスポーツ振興の在り方について検討するための基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査項目

調査項目	質問項目
1. 基本属性	問 1 性別
	問 2 年齢
	問 3 職業
	問 4 住まい
2. 健康や体力について	問 5 健康状態
	問 6 体力に関する認識
	問 7 健康のために気をつけていること
	問 8 メタボリックシンドロームの認知度
3. スポーツ活動の状況について	問 9 運動やスポーツを行う頻度
	問 10 現在行っている運動やスポーツ
	問 11 運動やスポーツを行う目的
	問 12 よく利用しているスポーツ施設
	問 13 運動やスポーツを行わない理由
	問 14 今後行ってみたい運動やスポーツ
	問 15 運動やスポーツを行う上で負担できる金額
	問 16 スポーツボランティアとしてのイベントへの参加意向
	問 17 トップアスリートを見て興味をひかれるスポーツや競技
問 18 国際大会での日本選手の活躍等に対する関心度	
4. 公共スポーツ施設について	問 19 公共スポーツ施設に対する満足度
	問 20 公共スポーツ施設に対する要望
	問 21 整備・充実が望まれる公共スポーツ施設
5. 学校体育施設について	問 22 学校体育施設の利用状況
	問 22-1 学校体育施設の利用に対する満足度
	問 23 学校体育施設に対する要望
6. クラブや同好会、教室について	問 24 スポーツクラブや同好会、教室の加入状況
	問 24-1 クラブや同好会、教室の活動場所
	問 24-2 加入しているクラブや同好会、教室の内容
	問 24-3 クラブや同好会、教室に対する満足度
	問 25 総合型地域スポーツクラブの認知度
	問 26 クラブや同好会、教室への加入条件

調査項目	質問項目
7. 市内のスポーツ行事及び団体について	問 27 長岡京市で行われるスポーツ行事の認知度
	問 28 長岡京市内にあるスポーツ団体の認知度
8. 今後のスポーツ振興のために必要な施策について	問 29 スポーツ振興のために取り組むべき施策
	問 30 自由意見

### 3. 調査設計及び回収結果

調査対象	長岡京市在住の20歳以上の方（無作為抽出）
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	平成21年1月16日～1月31日
対象者数	2,100
有効回答数	1,288
有効回答率	61.3%

### 4. 報告書の見方

- (1) 図中のN (Number of case) は、設問に対する回答者数のことである。
- (2) 回答比率 (%) は回答者数 (N) を 100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、一人の対象者に複数の回答を求める設問では、回答比率 (%) の計は 100.0%を超える。
- (3) 図中に次のような表示がある場合は、複数回答を依頼した質問である。
- ・ MA % ( Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
  - ・ 3 LA % (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合

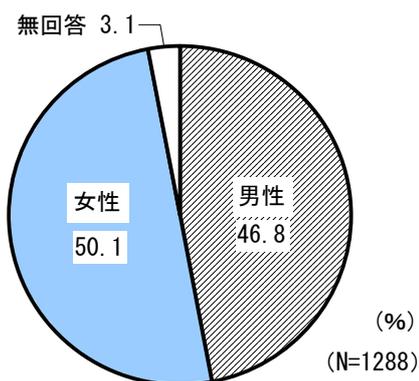
## Ⅱ 調査結果

## 1. 基本属性

### (1) 性別、年齢

問1 あなたの性別は。(○は1つ)

【図表 1-1 性別】



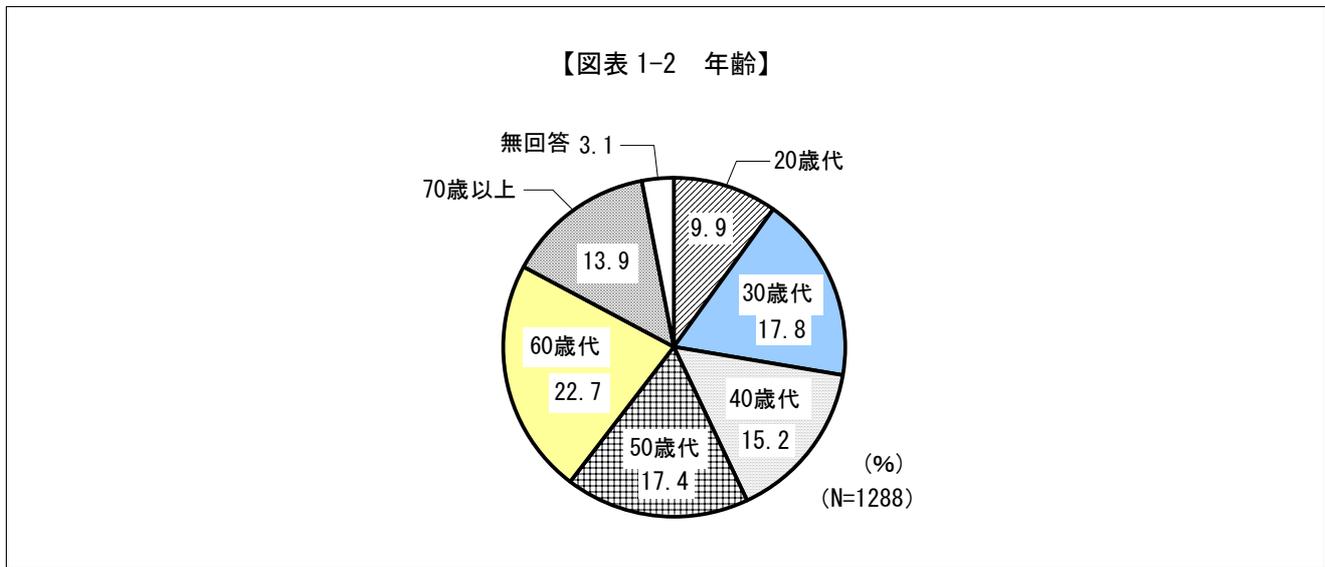
回答者の性別としては、「男性」が46.8%に対し、「女性」50.1%となっている。(図表 1-1)

【図表 1-1-1 性別 (前回調査との比較)】

(単位： 人、%)	調査数	男性	女性	無回答
(前回)	1,587	48.1	51.6	0.3
今回	1,288	46.8	50.1	3.1

前回調査時と比較したが、さほど差はみられない。また、前回と同様、男性に比べて女性の割合がやや高くなっている。(図表 1-1-1)

問2 あなたの年齢は。(○は1つ)



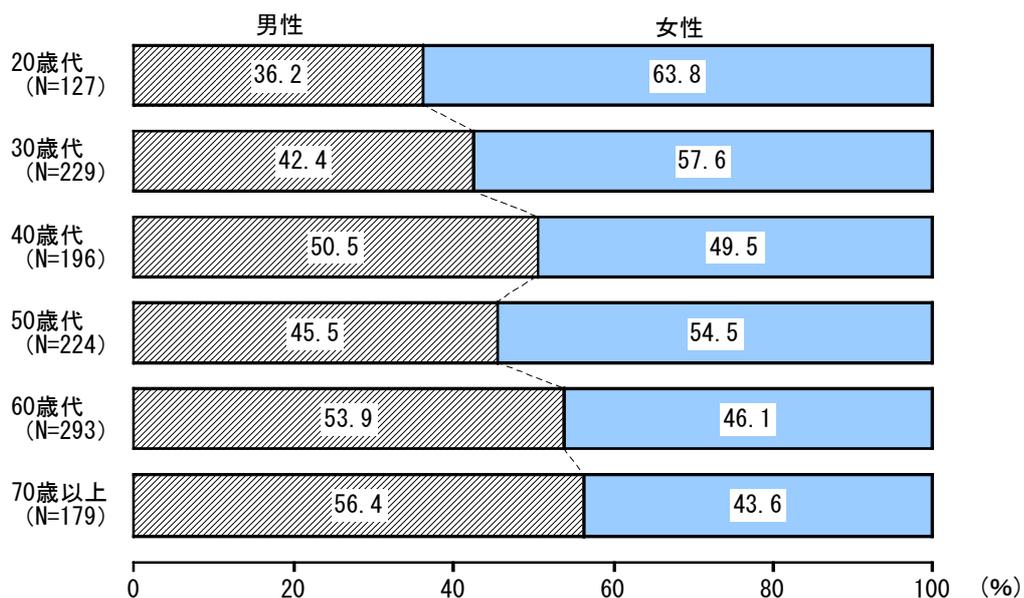
回答者の年齢構成としては、「60歳代」が22.7%と最も多く、次いで「30歳代」17.8%、「50歳代」17.4%の順となっている。(図表 1-2)

**【図表 1-2-1 年齢 (前回調査との比較)】**

(単位：人、%)	調査数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
(前回)	1,587	13.7	15.9	17.1	21.2	19.0	12.7	0.4
今回	1,288	9.9	17.8	15.2	17.4	22.7	13.9	3.1

前回調査時と比較すると、60歳未満で概ね割合は減り、60歳以上で増えている。(図表 1-2-1)

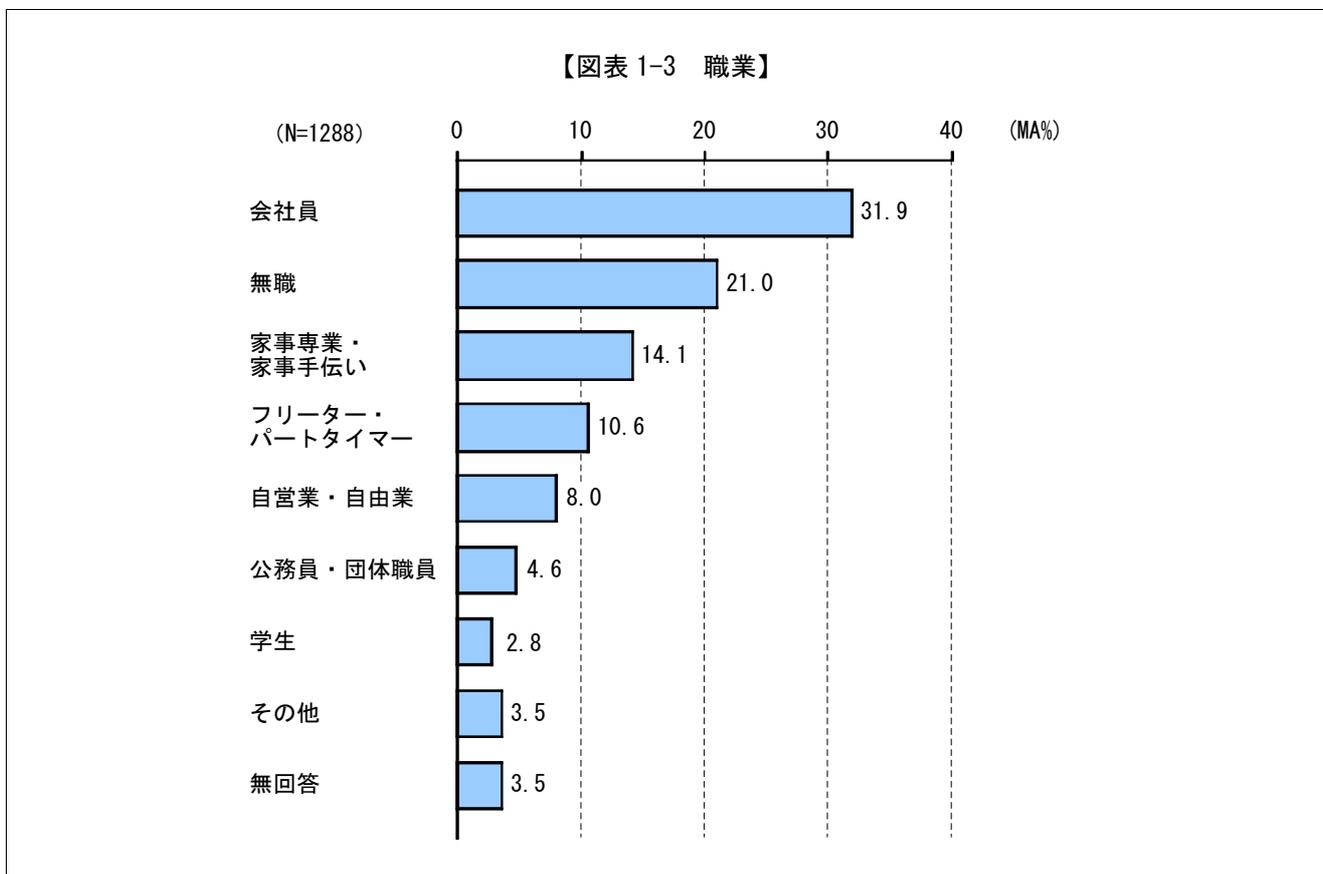
【図表 1-2-2 年齢別 性別】



回答者の年齢構成別にみたところ、20歳代では「女性」が63.8%を占めるものの、年齢が上がるにしたがって「男性」の割合概ね高くなり、70歳以上で56.4%となっている。(図表1-2-2)

(2) 職業

問3 現在のあなたは。(〇は1つ)



職業としては、「会社員」が31.9%と最も多く、次いで「無職」21.0%、「家事専業・家事手伝い」14.1%などとなっている。(図表 1-3)

【図表 1-3-1 職業 (前回調査との比較)】

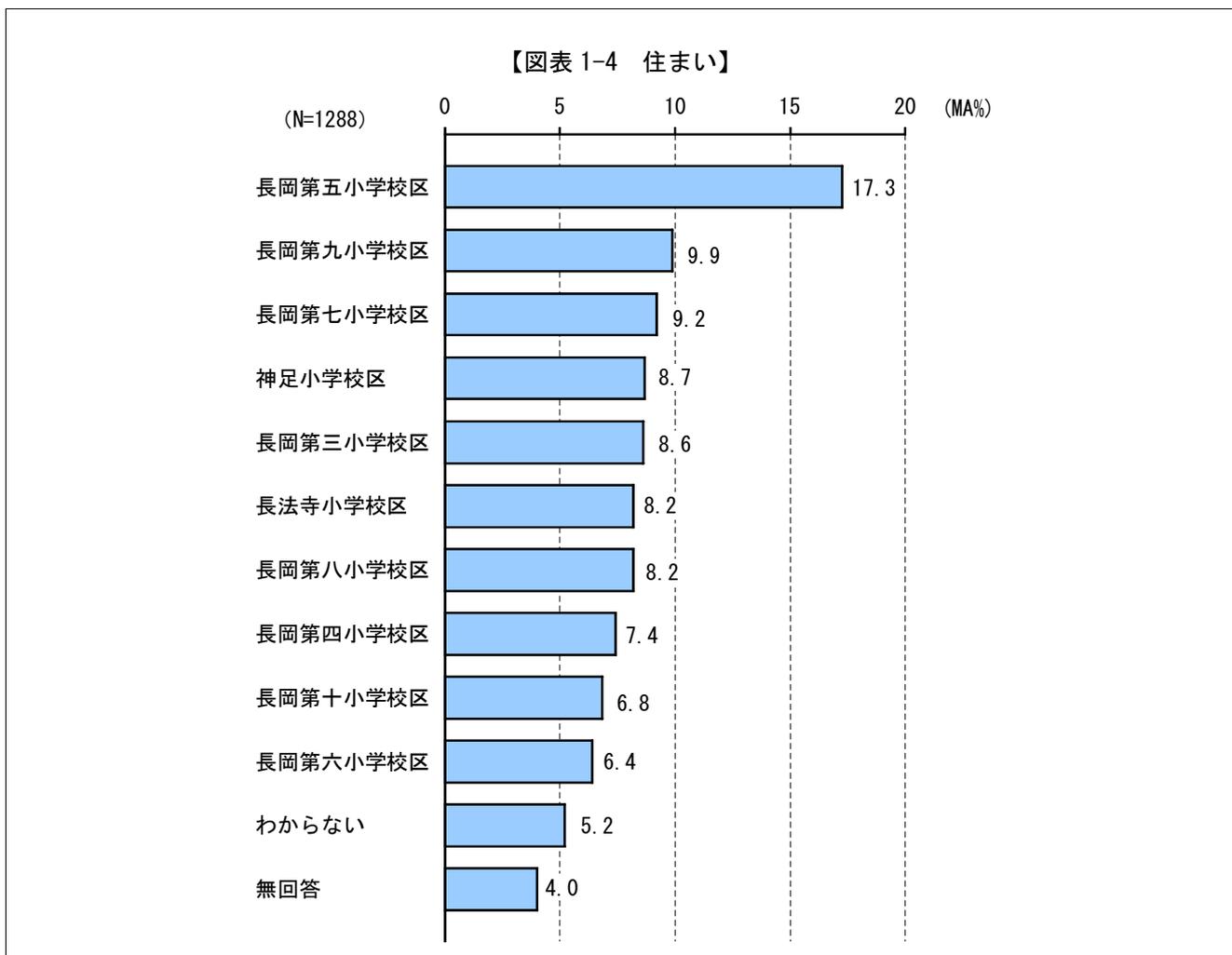
(単位：人、%)	調査数	自営業・自由業	会社員	公務員・団体職員	フリーター・パートタイマー	※会社員等	学生	家事専業・家事手伝い	無職	その他	無回答
(前回)	1,587	8.2				38.1	2.7	29.0	15.1	6.2	0.6
今回	1,288	8.0	31.9	4.6	10.6		2.8	14.1	21.0	3.5	3.5

■ : 調査項目なし

前回調査時と比較すると、就労している人の割合が“前回”46.3%に対し、“今回”55.1%と、前年に比べ8.8ポイント増えている。他の項目としては、「家事専業・家事手伝い」は14.9ポイント減り、「無職」は5.9ポイント増えている。(図表 1-3-1)

(3) 住まい

問4 あなたのお住まいは。(○は1つ)



住まい（小学校区）としては、「長岡第五小学校区」が 17.3%と最も多く、次いで「長岡第九小学校区」9.9%、「長岡第七小学校区」9.2%の順となっている。（図表 1-4）

【図表 1-4-1 住まい（前回調査との比較）】

■ : 調査項目なし

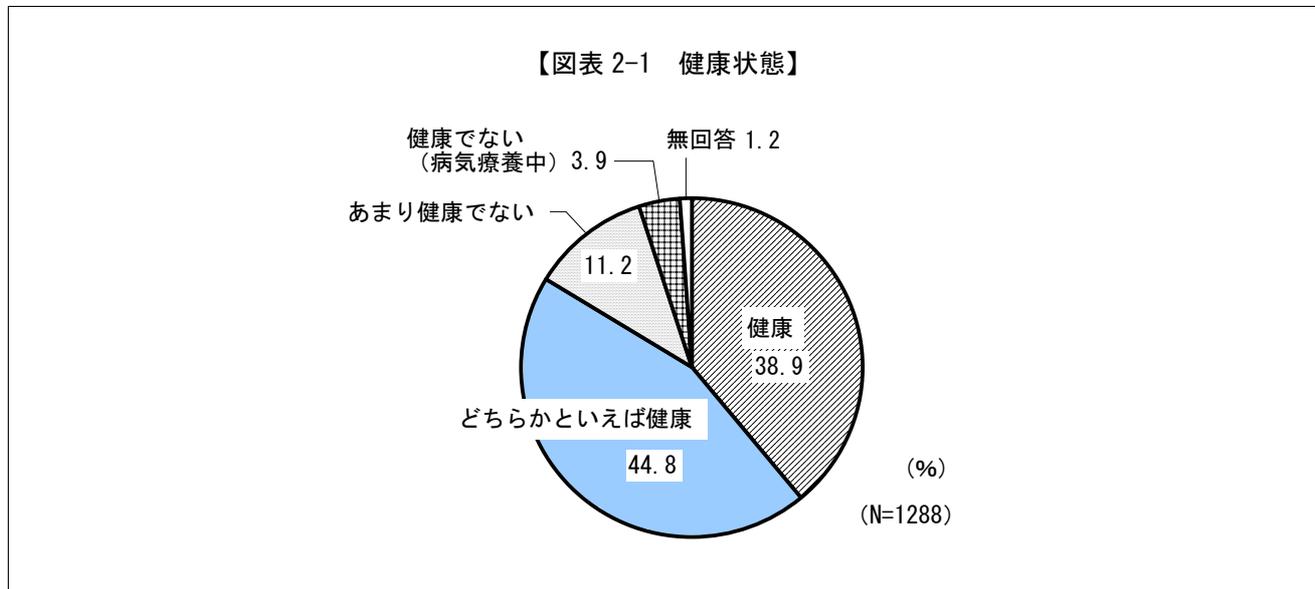
(単位：人、%)	調査数	神足小学校区	長法寺小学校区	長岡第三小学校区	長岡第四小学校区	長岡第五小学校区	長岡第六小学校区	長岡第七小学校区	長岡第八小学校区	長岡第九小学校区	長岡第十小学校区	わからない	無回答
		(前回)	1,587	8.8	8.8	8.8	10.1	15.8	9.0	9.4	10.6	10.4	7.2
今回	1,288	8.7	8.2	8.6	7.4	17.3	6.4	9.2	8.2	9.9	6.8	5.2	4.0

前回調査時と比較すると、「長岡第五小学校区」の割合がやや増え、「長岡第四小学校区」、「長岡第六小学校区」、「長岡第八小学校区」の割合がやや減っている。（図表 1-4-1）

## 2. 健康や体力について

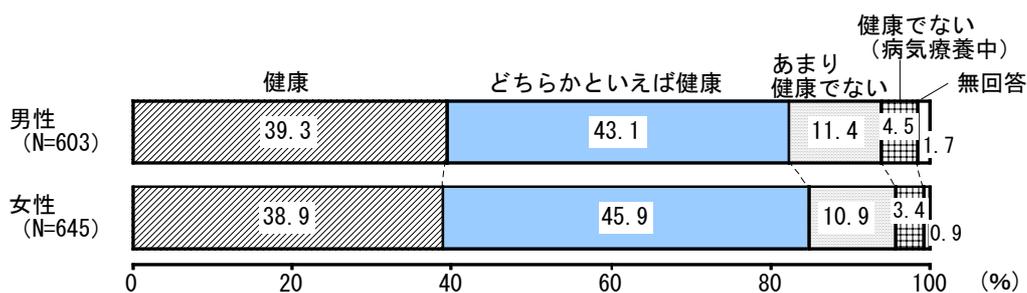
### (1) 健康状態

問5 あなたは、ご自身の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つ)



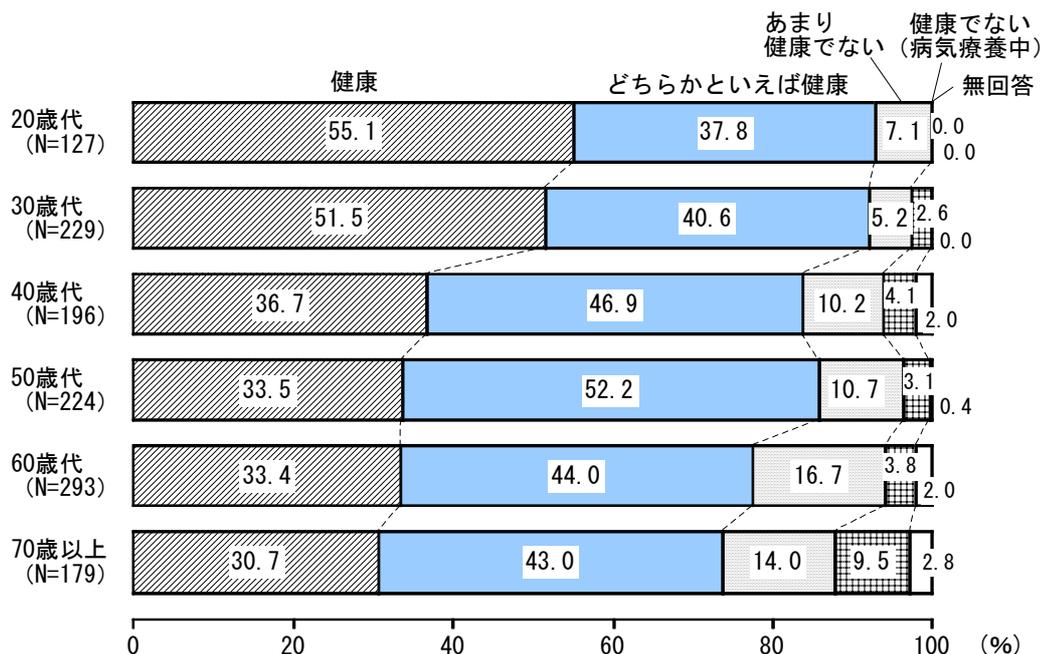
健康状態をたずねたところ、「どちらかといえば健康」が 44.8%と最も多く、次いで多い「健康」(38.9%)を合わせると、健康という人が8割強(83.7%)を占める。(図表 2-1)

【図表 2-1-1 性別 健康状態】



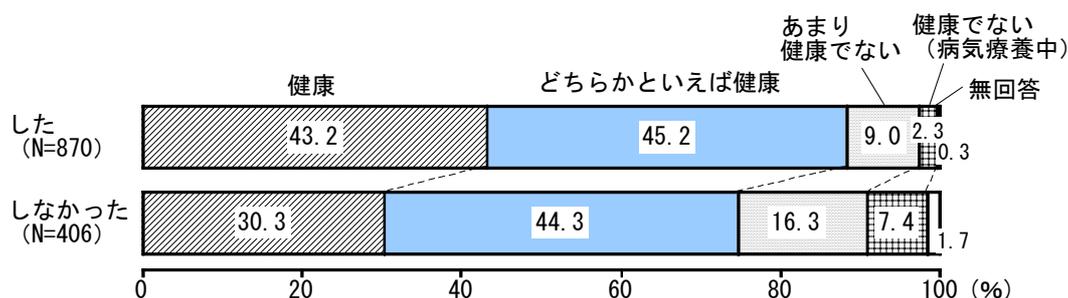
回答者の性別にみたところ、健康状態について、男女間でさほど差はみられない。(図表 2-1-1)

【図表 2-1-2 年齢別 健康状態】



回答者の年齢構成別にみたところ、20～30歳代において健康という割合（「健康」「どちらかといえば健康」の計）が高く、ともに9割台となっている。また、年齢が上がるにしたがって、健康でないという割合（「あまり健康でない」「健康でない（病気療養中）」の計）は概ね高くなる傾向にある。（図表 2-1-2）

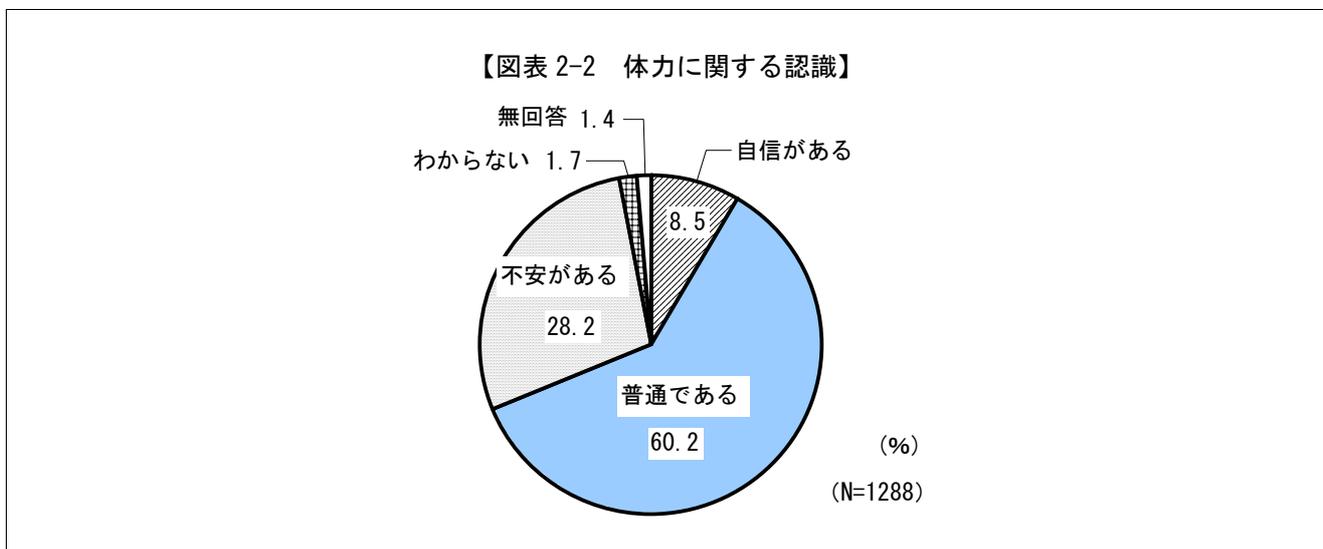
【図表 2-1-3 年間の運動やスポーツ実施の有無別 健康状態】



年間の運動やスポーツ実施の有無別にみたところ、健康という割合がこの1年間に運動やスポーツをした人で88.4%、しなかった人で74.6%と、13.8ポイントの差がみられる。（図表 2-1-3）

(2) 体力に関する認識

問6 あなたは、ご自身の体力についてどのように思いますか。(○は1つ)



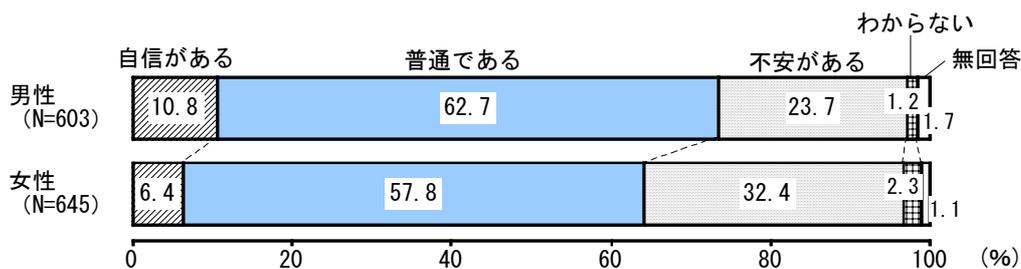
体力に関する認識をたずねたところ、「普通である」が 60.2%を占め、次いで「不安がある」28.2%、「自信がある」8.5%となっている。(図表 2-2)

【図表 2-2-1 体力に関する認識 (前回調査との比較)】

(単位：%)	自信がある	普通である	不安がある	わからない	無回答
(前回)	8.4	62.2	27.3	2.1	0.0
今回	8.5	60.2	28.2	1.7	1.4

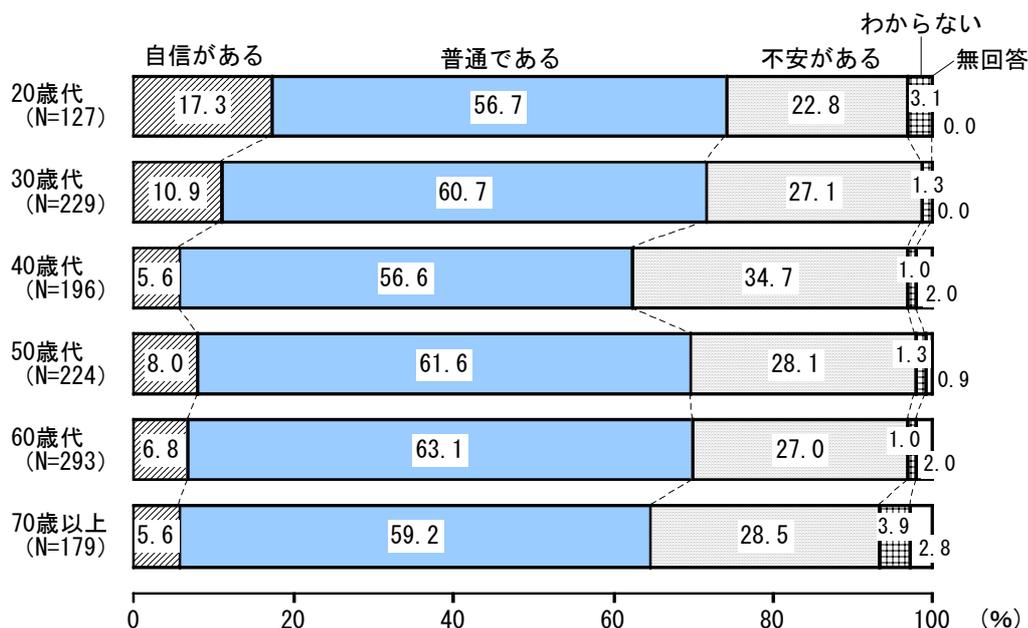
前回調査時と比較したが、さほど差はみられない (図表 2-2-1)

【図表 2-2-2 性別 体力に関する認識】



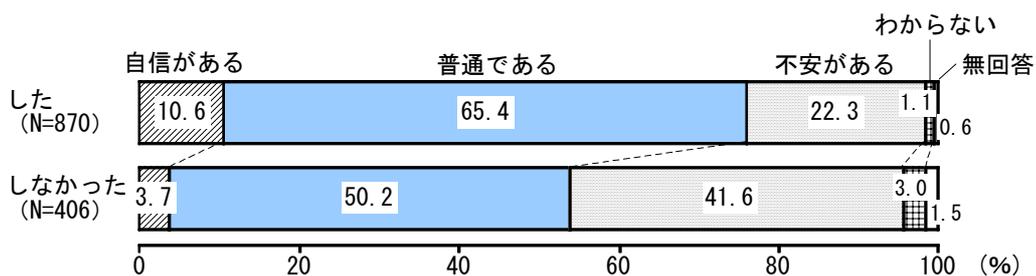
回答者の性別にみたところ、「不安がある」が男性で 23.7%に対し、女性で 32.4%と、女性のほうが 8.7ポイント高くなっている。(図表 2-2-2)

【図表 2-2-3 年齢別 体力に関する認識】



回答者の年齢構成別にみたところ、「自信がある」が20歳代で17.3%、30歳代で10.9%と高く、年齢が上がるにしたがって、概ね割合は低くなる傾向にある。一方、「不安がある」は「40歳代」で34.7%と最も高くなっている。(図表 2-2-3)

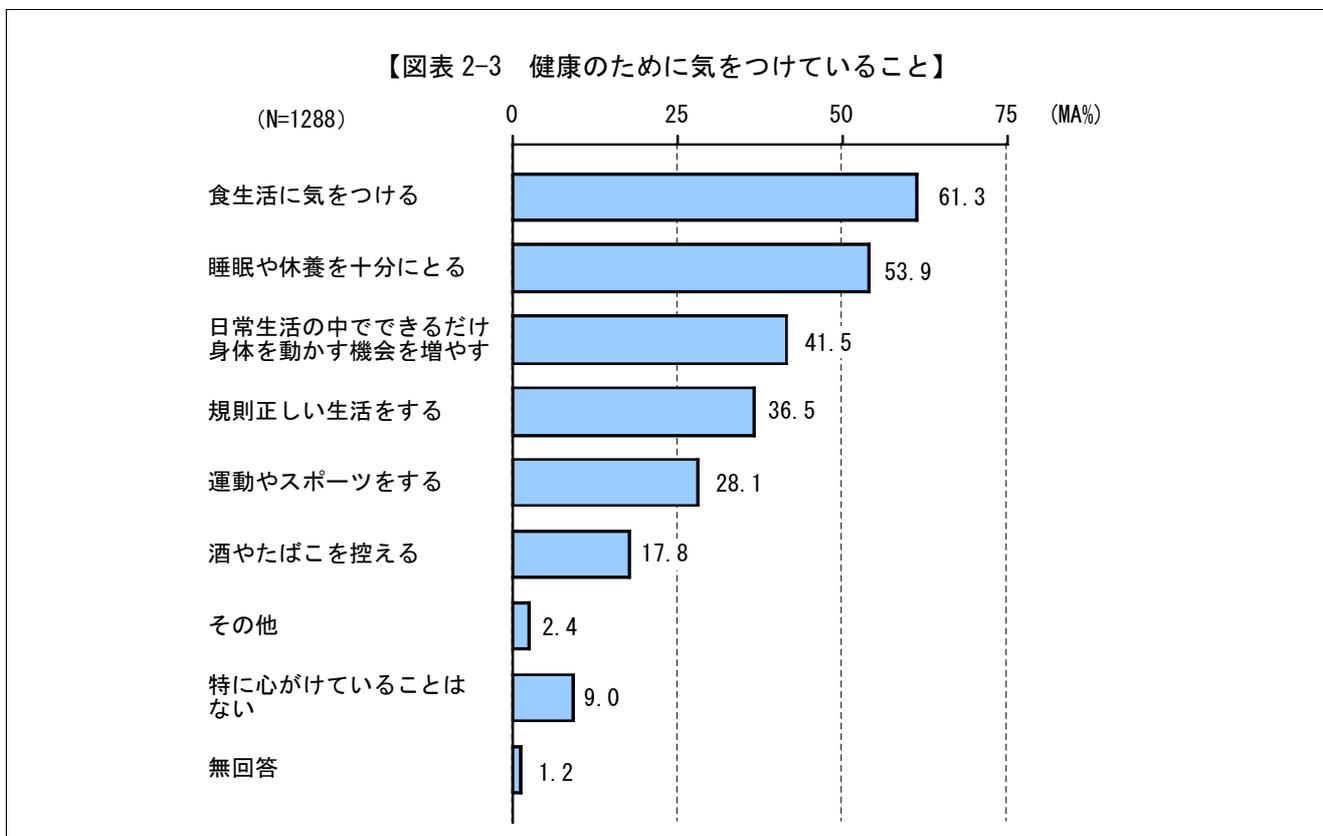
【図表 2-2-4 年間の運動やスポーツ実施の有無別 体力に関する認識】



年間の運動やスポーツ実施の有無別にみたところ、体力について「不安がある」という人の割合がこの1年間に運動やスポーツをした人で22.3%に対し、しなかった人で41.6%と、19.3ポイントの差がみられる。(図表 2-2-4)

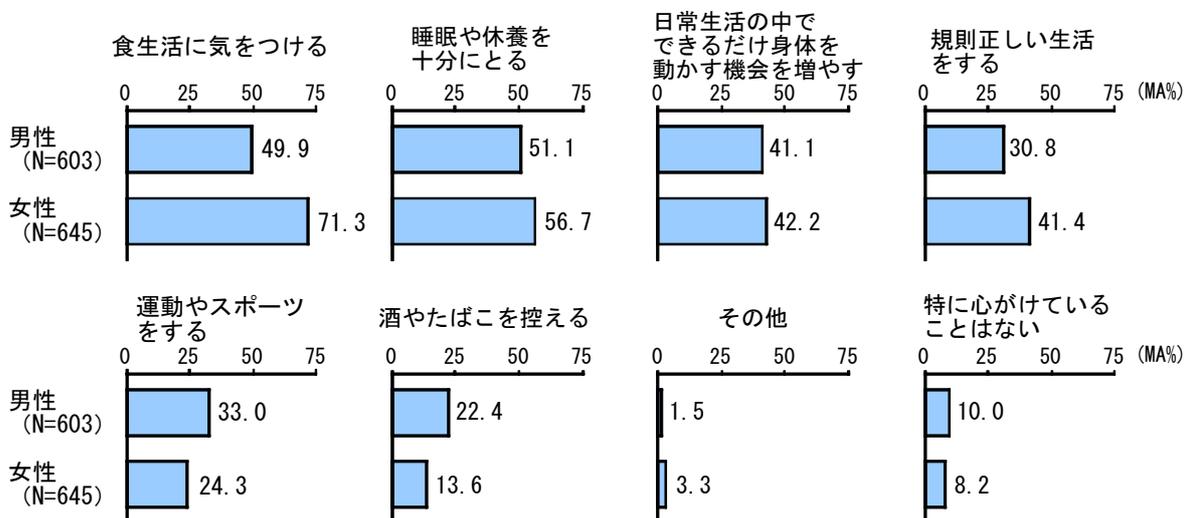
(3) 健康のために気をつけていること

問7 健康や体力について心がけていることは何ですか。(〇はいくつでも)



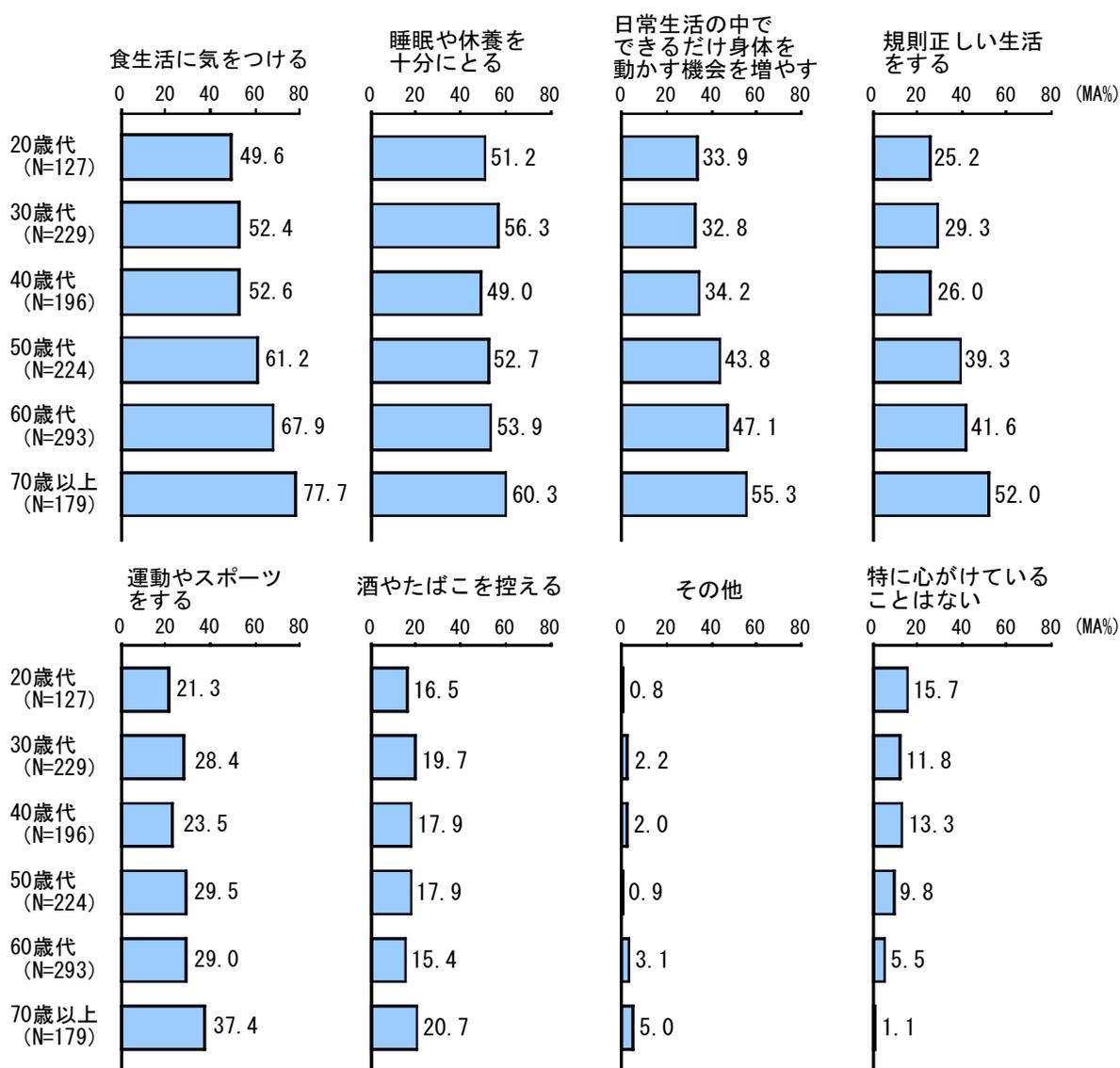
健康や体力のために気をつけていることをたずねたところ、「食生活に気をつける」が61.3%と最も多く、次いで「睡眠や休養を十分にとる」53.9%、「日常生活の中でできるだけ身体を動かす機会を増やす」41.5%などとなっている。(図表 2-3)

【図表 2-3-1 性別 健康のために気をつけていること】



回答者の性別にみたところ、「食生活に気をつける」が男性で49.9%に対し、女性で71.3%と、女性のほうが21.4ポイント高くなっている。また「睡眠や休養を十分にとる」、「規則正しい生活をする」においても女性のほうが割合が高くなっているのに対し、男性では「運動やスポーツをする」、「酒やたばこを控える」が女性に比べて高くなっている。(図表 2-3-1)

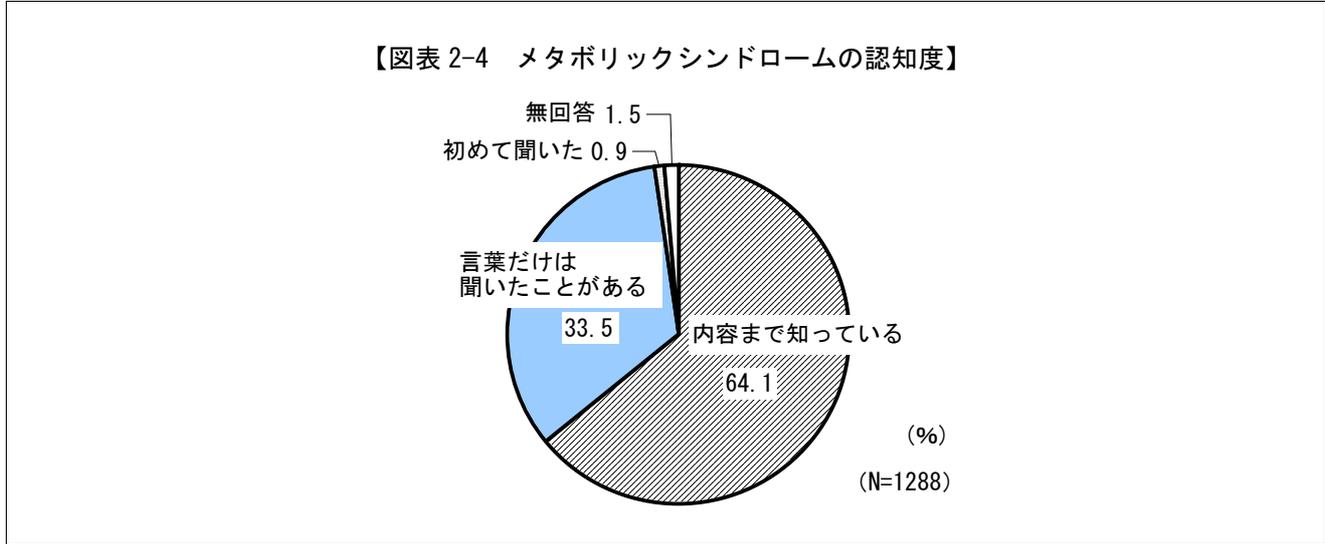
【図表 2-3-2 年齢別 健康のために気をつけていること】



回答者の年齢構成別にみたところ、いずれの項目においても70歳以上で割合が最も高くなっており、特に「食生活に気をつける」が77.7%と高い。一方、「特に心がけていることはない」が20歳代で15.7%みられる。(図表 2-3-2)

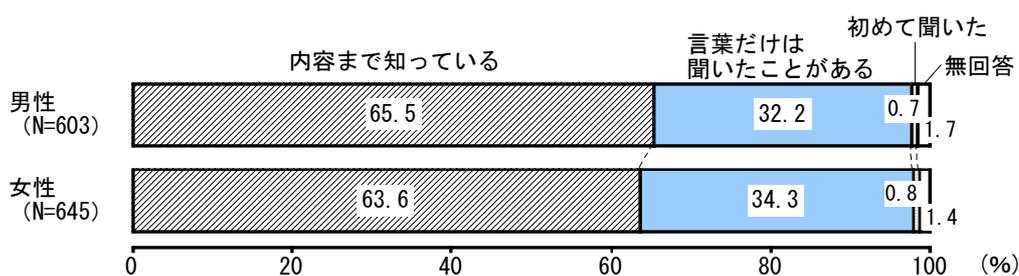
(4) メタボリックシンドロームの認知度

問8 平成20年4月から、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した特定健診制度が導入されましたが、あなたはメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）について知っていますか。（○は1つ）



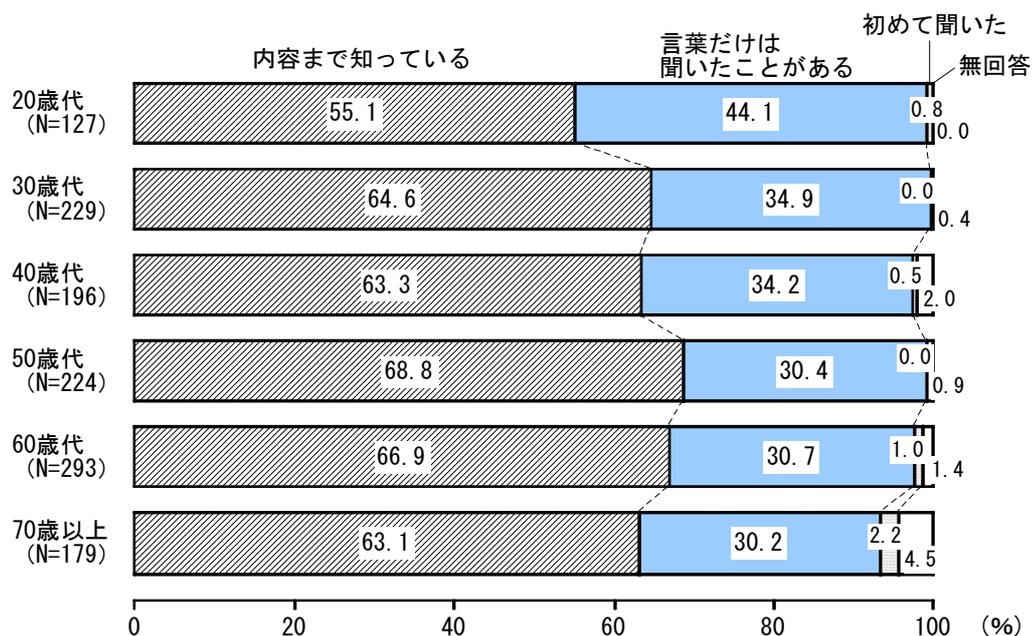
メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）について、「内容まで知っている」が64.1%を占め、「言葉だけは聞いたことがある」は33.5%、「初めて聞いた」0.9%となっている。（図表 2-4）

【図表 2-4-1 性別 メタボリックシンドロームの認知度】



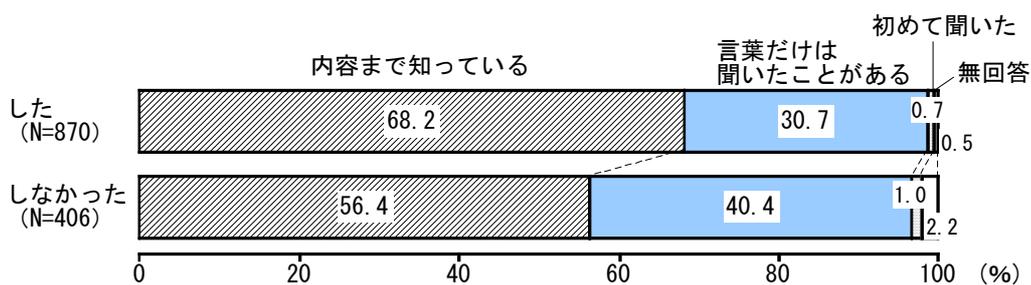
回答者の性別にみたところ、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の認知度について、男女間でさほど差はみられない。（図表 2-4-1）

【図表 2-4-2 年齢別 メタボリックシンドロームの認知度】



回答者の年齢構成別にみたところ、「内容まで知っている」が「50歳代」で68.8%と最も高く、他の年齢層においても概ね6割台となっているものの、20歳代では55.1%にとどまっている。(図表 2-4-2)

【図表 2-4-3 年間の運動やスポーツ実施の有無別 メタボリックシンドロームの認知度】

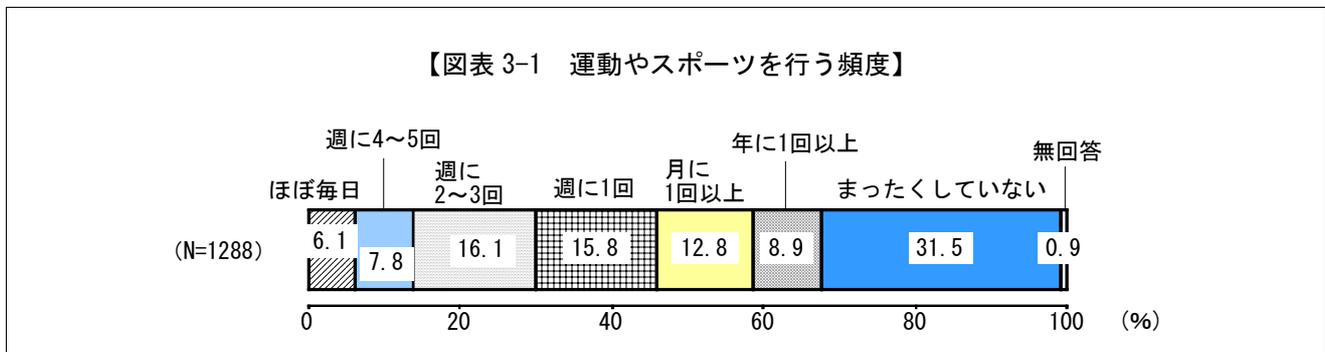


年間の運動やスポーツ実施の有無別にみたところ、「内容まで知っている」がこの1年間に運動やスポーツをした人で68.2%に対し、しなかった人で56.4%と、11.8ポイントの差がみられる。(図表 2-4-3)

### 3. スポーツ活動の状況について

#### (1) 運動やスポーツを行う頻度

問9 あなたは、この1年間で運動やスポーツ（1回あたり30分程度以上）をどのくらいの頻度で行いましたか。（○は1つ）



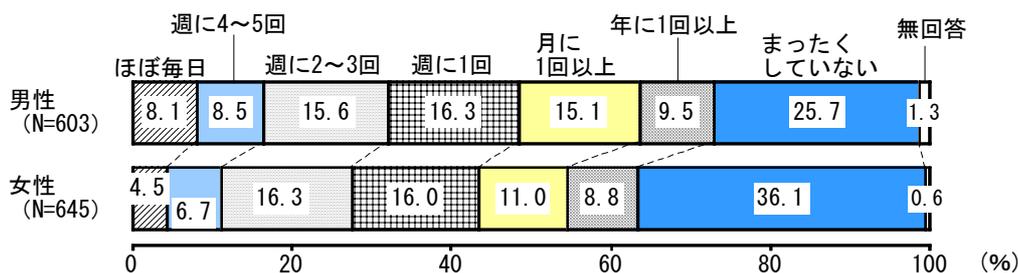
運動やスポーツを行う頻度をたずねたところ、「週に2～3回」が16.1%、「週に1回」が15.8%と多くなっており、週に1回以上運動をする人の割合は45.8%となっている。一方、「まったくしていない」が31.5%みられる。（図表 3-1）

**【図表 3-1-1 運動やスポーツを行う頻度（※参考『前回調査』）】**

(単位：%)	週に1回以上	まったくしていない
(前回)	37.4	17.5
今回	45.8	31.5

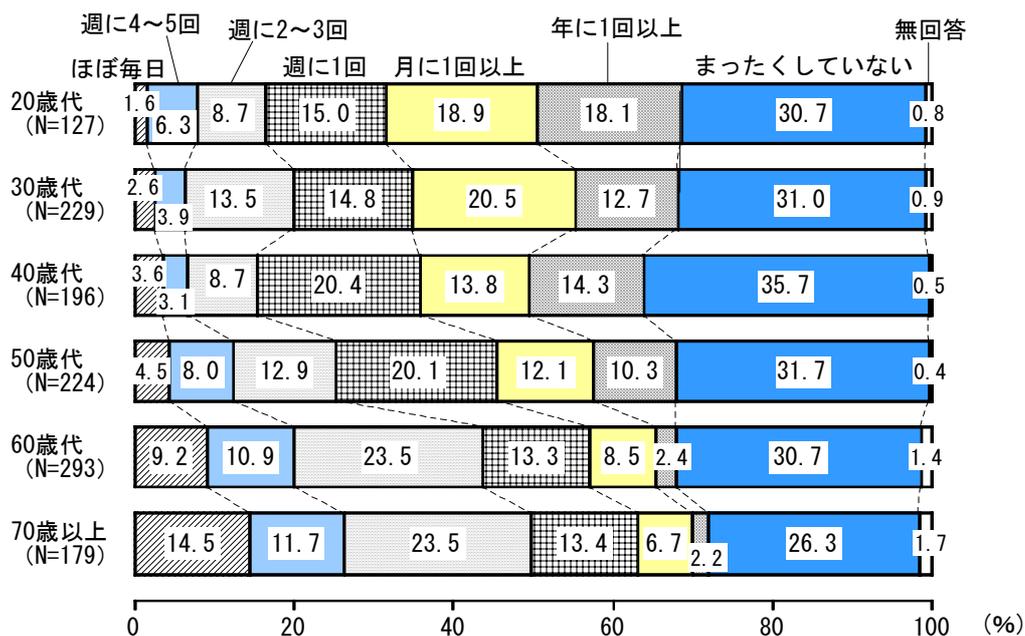
前回調査時と比較すると、週に1回以上運動する人の割合が“前回”37.4%に対し、“今回”45.8%、また、「まったくしていない」が“前回”17.5%に対し、“今回”31.5%と、それぞれ割合が増えている。（図表 3-1-1）

【図表 3-1-2 性別 運動やスポーツを行う頻度】



回答者の性別にみたところ、週に1回以上運動やスポーツを行う割合が男性で48.5%に対し、女性で43.5%と、男性のほうが5ポイント高くなっている。一方、「まったくしていない」が男性で25.7%に対し、女性で36.1%と女性のほうが10.4ポイント高い。(図表 3-1-2)

【図表 3-1-3 年齢別 運動やスポーツを行う頻度】



回答者の年齢構成別にみたところ、週に1回以上運動やスポーツを行う割合が70歳以上で63.1%と最も高く、次いで60歳代で56.9%、50歳代で45.5%の順となっており、年齢が上がるにしたがって運動やスポーツを行う頻度は高くなる傾向にある。(図表 3-1-3)

(2) 現在行っている運動やスポーツ

問 10 具体的にどのような運動やスポーツを行っていますか。(○はいくつでも)

【図表 3-2 現在行っている運動やスポーツ】

調査数	ウォーキング	ゴルフ	体操	登山、ハイキング	水泳、水中ウォーキング	ランニング、ジョギング	ボウリング	ジムトレーニング	サイクリング	釣り	スキー、スノーボード	ヨガ、ピラティス
870	61.6	15.1	13.3	13.3	10.7	9.0	8.7	8.4	8.0	7.4	7.1	6.9
	テニス、ソフトテニス	ダンス、エアロビクス	海水浴(遊泳)	軽い球技	野球、ソフトボール	卓球	キャンプなどの野外活動	ファミリーバドミントン	サッカー、フットサル	社交ダンス、民謡踊り	グラウンドゴルフ	バドミントン
	6.4	5.4	5.2	4.7	4.6	4.1	3.1	2.5	2.4	2.2	2.2	2.1
	カヌー、サーフィン、スキューバダイビング	太極拳	ミニバレーボール	バスケットボール	ショートテニス	バレーボール、ビーチバレー	陸上競技	ゲートボール	アイススケート	ベタンク	乗馬	ソフトバレーボール
	2.1	1.6	1.5	1.5	1.4	1.3	1.1	0.9	0.9	0.8	0.8	0.7
	空手、拳法、合気道	ラグビー、アメリカンフットボール	剣道、柔道、相撲、レスリング	ハンドボール	競泳(水泳競技)	弓道、アーチェリー	その他の軽いスポーツ	その他の野外スポーツ	その他の競技的スポーツ	無回答		
	0.7	0.6	0.5	0.3	0.1	0.1	3.7	0.9	0.6	1.0		

現在、行っている運動やスポーツをたずねたところ、「ウォーキング」が 61.6%と際立って多く、次いで「ゴルフ」15.1%、「体操」、「登山、ハイキング」ともに 13.3%、「水泳、水中ウォーキング」10.7%などとなっている。(図表 3-2)

【図表 3-2-1 性別 現在行っている運動やスポーツ（前回調査との比較）】

<男性>

（%）	今回		（前回）	
	種目	割合	種目	割合
1位	ウォーキング	61.1	ウォーキング	51.9
2位	ゴルフ	25.9	ゴルフ（練習などを含む）	29.4
3位	登山、ハイキング	14.1	体操（ラジオ体操等）	27.8
4位	ランニング、ジョギング	12.7	軽い球技（キャッチボール等）	25.7
5位	ボウリング 釣り	11.1	ボウリング	25.2

<女性>

（%）	今回		（前回）	
	種目	割合	種目	割合
1位	ウォーキング	61.5	ウォーキング	57.8
2位	体操	21.6	体操（ラジオ体操等）	35.8
3位	ヨガ、ピラティス 登山、ハイキング	12.7	軽い球技（キャッチボール等）	22.1
4位			軽い水泳、水中ウォーキング	20.1
5位	水泳、水中ウォーキング	11.0	ボウリング	19.8

【図表 3-2-2 年齢別 現在行っている運動やスポーツ（前回調査との比較）】

< 20歳代 >

(%)	今回		(前回)	
1位	ウォーキング	48.3	ボウリング	54.9
2位	ボウリング	26.4	ウォーキング	44.6
3位	スキー、スノーボード	21.8	軽い球技（キャッチボール等）	34.4
4位	ランニング、ジョギング	19.5	海水浴	33.8
5位	ジムトレーニング	13.8	スキー・スノーボード	25.1

< 30歳代 >

(%)	今回		(前回)	
1位	ウォーキング	49.4	海水浴	42.9
2位	水泳、水中ウォーキング	16.7	軽い球技（キャッチボール等）	42.4
3位	ゴルフ	15.4	ウォーキング	41.0
4位	ランニング、ジョギング	14.7	体操（ラジオ体操等）	37.8
5位	ヨガ、ピラティス	14.1	軽い水泳、水中ウォーキング	27.6

< 40歳代 >

(%)	今回		(前回)	
1位	ウォーキング	55.2	ウォーキング	46.1
2位	ゴルフ	20.0	軽い球技（キャッチボール等）	36.0
3位	野球、ソフトボール	12.0	体操（ラジオ体操等）	32.9
4位	テニス、ソフトテニス		ボウリング	25.9
5位	ランニング、ジョギング ボウリング	11.2	軽い水泳、水中ウォーキング	21.9

<50歳代>

(%)	今回		(前回)	
1位	ウォーキング	59.9	ウォーキング	58.8
2位	体操	19.1	体操 (ラジオ体操等)	34.5
3位	ゴルフ	18.4	登山・ハイキング	24.3
4位	登山、ハイキング	17.1	ゴルフ (練習などを含む)	23.2
5位	水泳、水中ウォーキング	13.8	軽い水泳、水中ウォーキング	16.5

<60歳代>

(%)	今回		(前回)	
1位	ウォーキング	71.9	ウォーキング	69.4
2位	登山、ハイキング	21.6	体操 (ラジオ体操等)	31.0
3位	ゴルフ	13.6	登山・ハイキング	27.4
4位	体操	12.1	ゴルフ (練習などを含む)	16.5
5位	ジムトレーニング	9.5	軽い水泳、水中ウォーキング	10.1

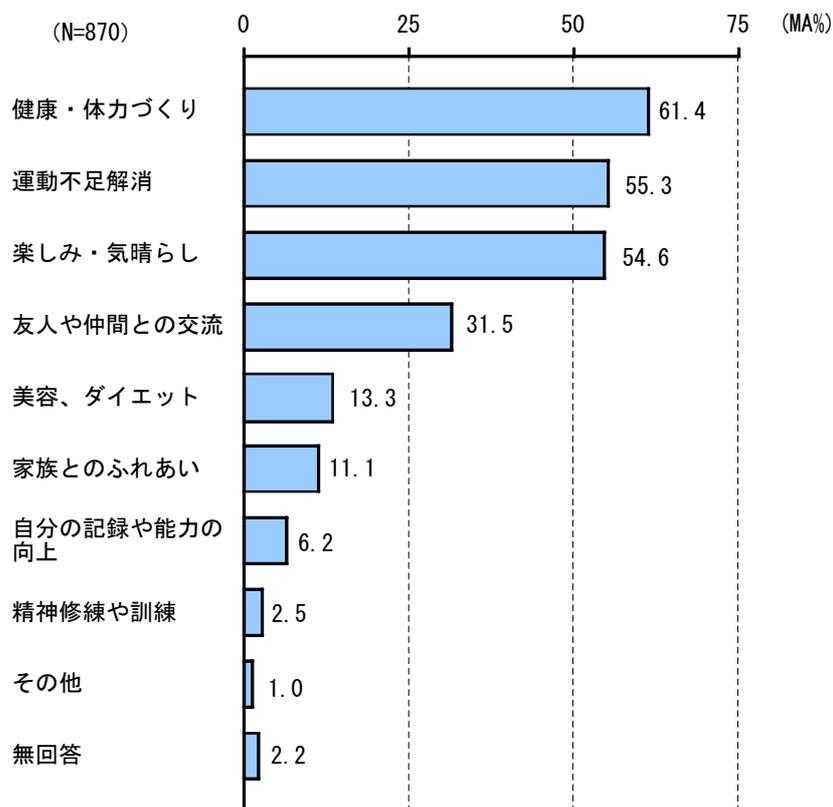
<70歳以上>

(%)	今回		(前回)	
1位	ウォーキング	76.0	ウォーキング	72.1
2位	体操	20.2	体操 (ラジオ体操等)	29.5
3位	ゴルフ	16.3	登山・ハイキング	18.6
4位	登山、ハイキング	14.7	ゴルフ (練習などを含む)	14.7
5位	水泳、水中ウォーキング	10.1	軽い水泳、水中ウォーキング	8.5

(3) 運動やスポーツを行う目的

問 11 運動やスポーツを行う目的は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-3 運動やスポーツを行う目的】



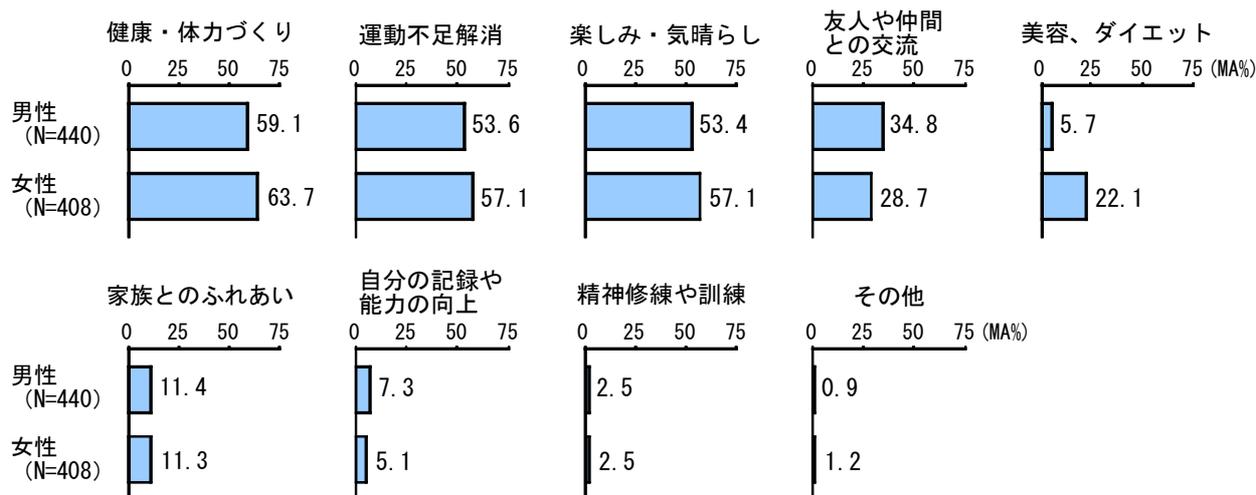
現在、運動やスポーツを行っている人にその目的をたずねたところ、「健康・体力づくり」が 61.4%と最も多く、次いで「運動不足解消」55.3%、「楽しみ・気晴らし」54.6%などとなっている。(図表 3-3)

【図表 3-3-1 運動やスポーツを行う目的（※参考『前回調査』）】

(単位：%)	て楽しみ、 気晴らしとし	め健康・ 体力づくりのた	運動不足を 感じるから	友人・仲間 との交流	家族のふれあ い	美容や肥満 解消のため	上自己の記 録や能力の向	精神修養や 訓練	その他	わからない
(前回)	73.0	62.1	57.2	41.8	18.7	18.6	5.7	4.3	3.4	1.9

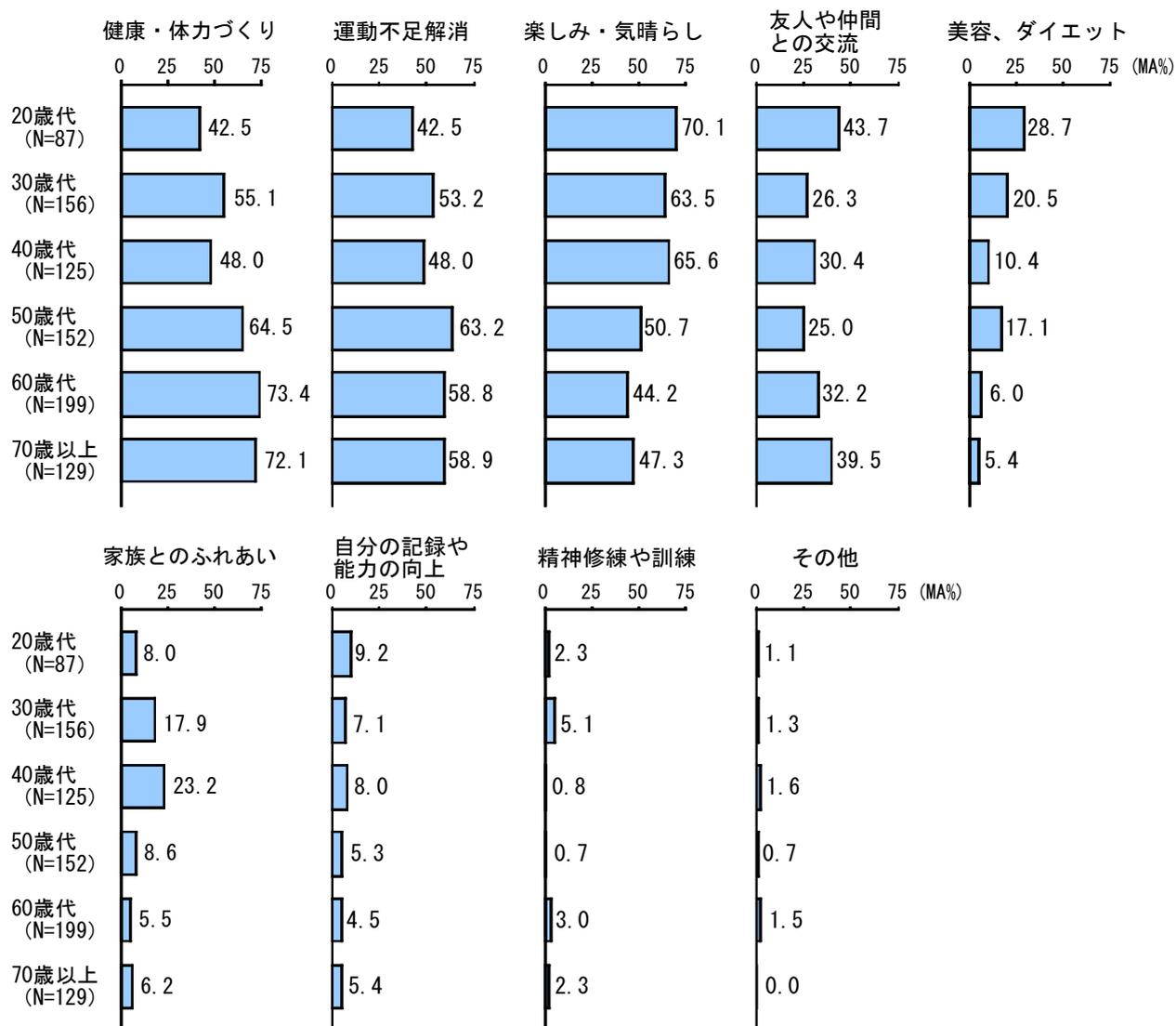
前回調査時は回答数制限（〇は3つまで）があったため単純な比較は難しいが、上位3項目は前回と同様に高くなっている。（図表 3-3-1）

【図表 3-3-2 性別 運動やスポーツを行う目的】



回答者の性別にみたところ、男性・女性ともに「健康・体力づくり」、「運動不足解消」、「楽しみ・気晴らし」の割合が高く5～6割台となっている。また、「美容、ダイエット」が男性で5.7%に対し、女性で22.1%と、女性のほうが16.4ポイント高くなっている。（図表 3-3-2）

【図表 3-3-3 年齢別 運動やスポーツを行う目的】

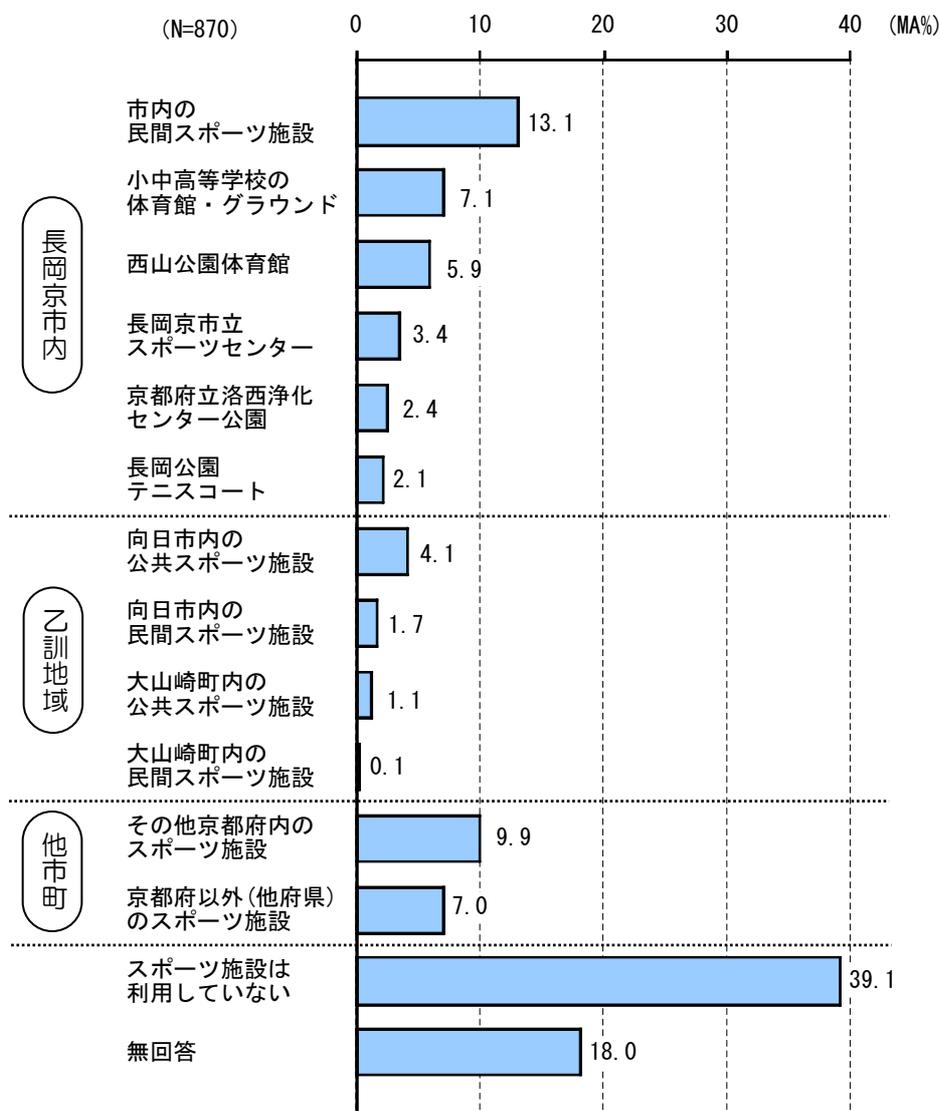


回答者の年齢構成別にみたところ、「健康・体力づくり」が60歳代で73.4%、70歳以上で72.1%、「気晴らし・楽しみ」が20歳代で70.1%、「美容、ダイエット」が20歳代で28.7%、「家族とのふれあい」が40歳代で23.2%と、それぞれ他の年齢層と比べて高くなっている。(図表 3-3-3)

(4) よく利用しているスポーツ施設

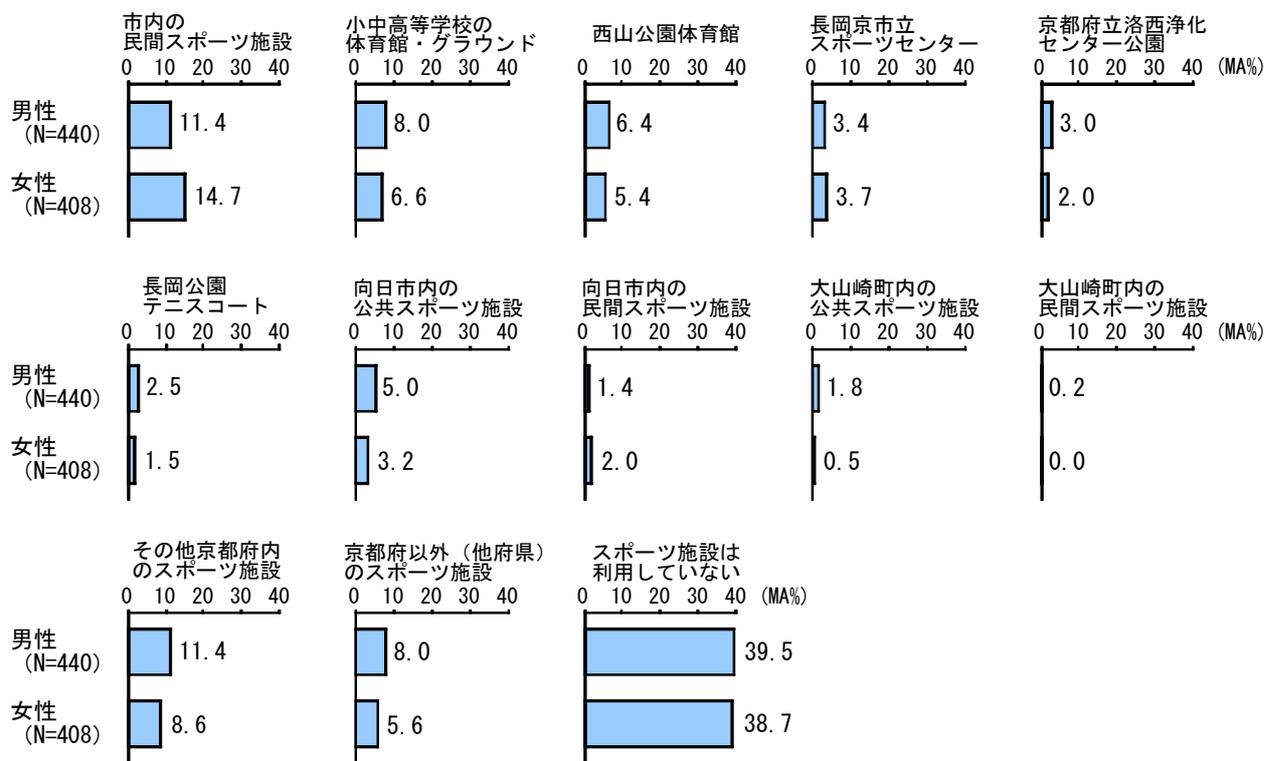
問 12 ふだん、よく利用しているスポーツ施設はどれですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-4 よく利用しているスポーツ施設】



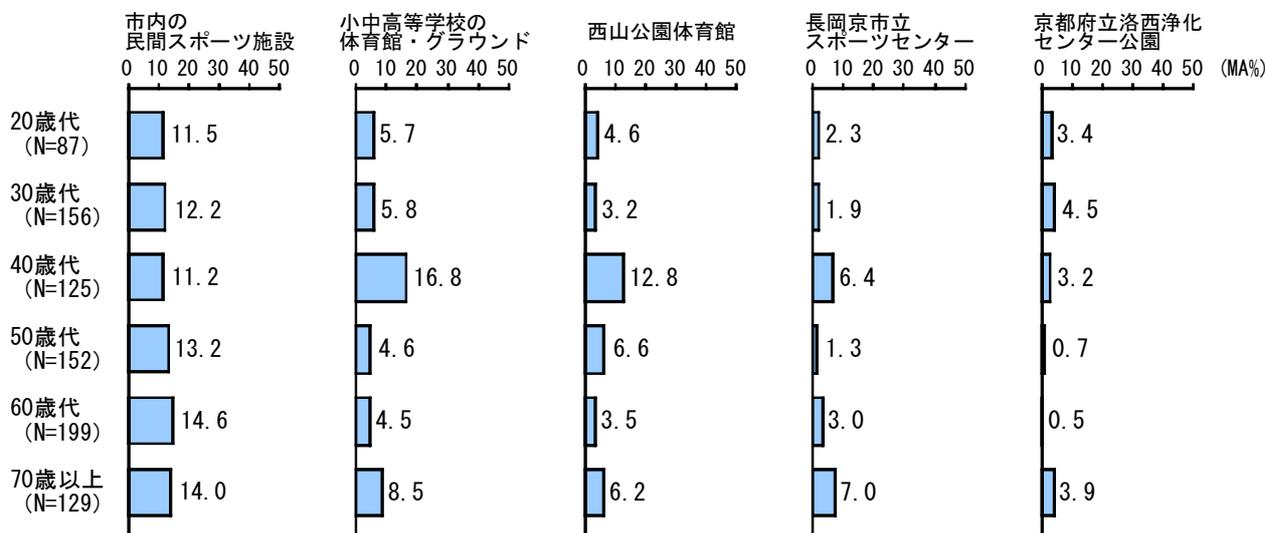
ふだん、よく利用しているスポーツ施設をたずねたところ、「スポーツ施設は利用していない」が約4割(39.1%)を占める。一方、いずれかの施設を利用していると回答した人の内訳として、長岡京市内では「市内の民間スポーツ施設」が13.1%と最も多く、次いで「小中高等学校の体育館・グラウンド」7.1%、「西山公園体育館」5.9%などとなっており、乙訓地域では「向日市内の公共スポーツ施設」が4.1%などとなっている。(図表 3-4)

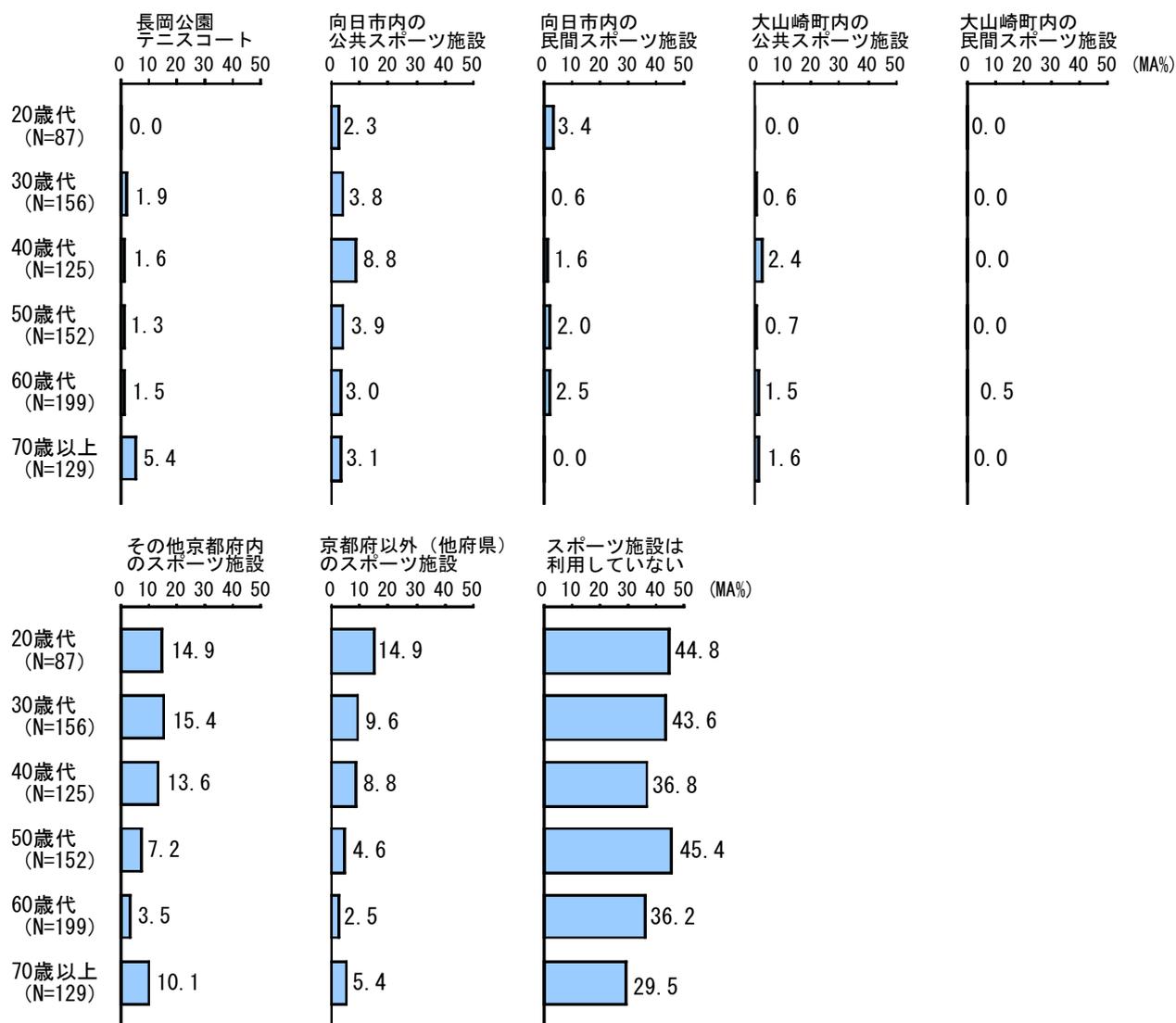
【図表 3-4-1 性別 よく利用しているスポーツ施設】



回答者の性別にみたところ、男性・女性ともに「市内の民間スポーツ施設」の割合が最も高く、男性で11.4%、女性で14.7%となっている。また、「スポーツ施設は利用していない」が男性・女性ともに4割弱となっている。(図表 3-4-1)

【図表 3-4-2 年齢別 よく利用しているスポーツ施設】





回答者の年齢構成別にみたところ、40歳代において、「小中高等学校の体育館・グラウンド」が16.8%、「西山公園体育館」が12.8%、「向日市内の公共スポーツ施設」が8.8%と、いずれも他の年齢層と比べて最も高くなっている。また、20歳代においても「京都府以外（他府県）のスポーツ施設」が14.9%と高い。（図表 3-4-2）

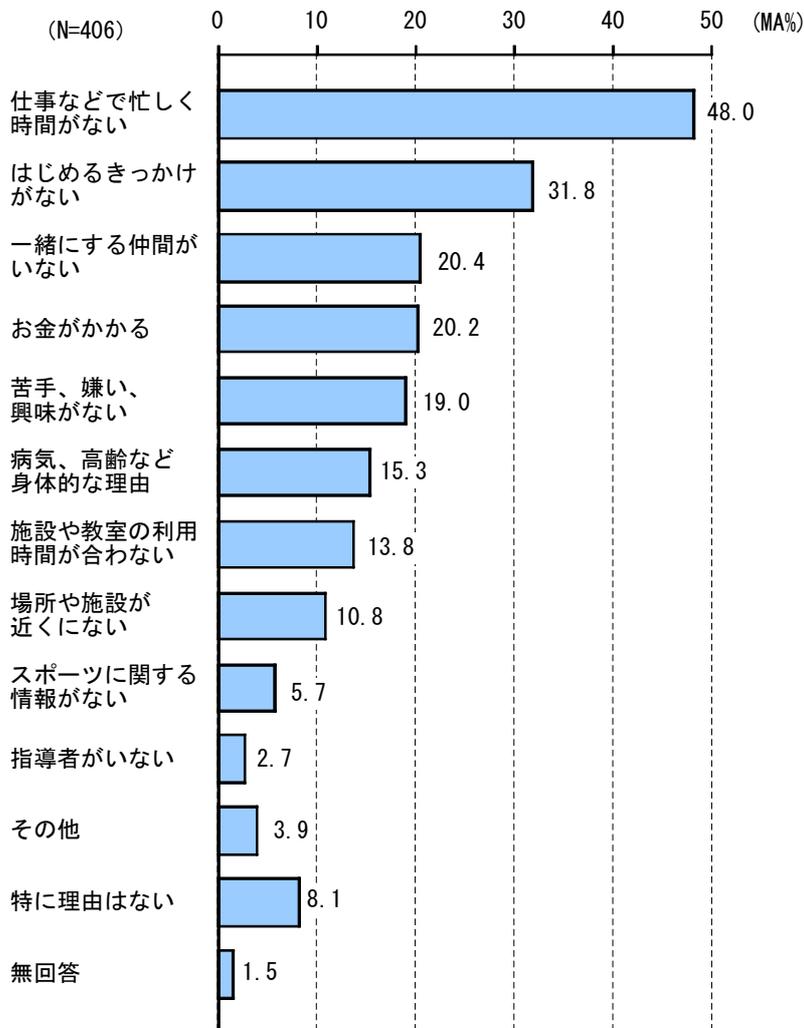
【図表 3-4-3 住まい別 よく利用しているスポーツ施設（上位4項目）】

(%)	第1位項目	第2位項目	第3位項目	第4位項目
神足小学校区 (N=74)	市内の民間スポーツ施設	その他京都府内のスポーツ施設	京都府以外（他府県）のスポーツ施設	小中高等学校の体育館・グラウンド
	18.9	14.9	12.2	9.5
長法寺小学校区 (N=80)	市内の民間スポーツ施設	西山公園体育館	その他京都府内のスポーツ施設	小中高等学校の体育館・グラウンド
	12.5	11.3	10.0	5.0
長岡第三小学校区 (N=84)	西山公園体育館	向日市内の公共スポーツ施設	市内の民間スポーツ施設	京都府以外（他府県）のスポーツ施設
	9.5	9.5	8.3	8.3
長岡第四小学校区 (N=68)	その他京都府内のスポーツ施設	市内の民間スポーツ施設	小中高等学校の体育館・グラウンド	京都府以外（他府県）のスポーツ施設
	14.7	8.8	7.4	4.4
長岡第五小学校区 (N=158)	市内の民間スポーツ施設	京都府以外（他府県）のスポーツ施設	西山公園体育館	小中高等学校の体育館・グラウンド
	12.0	8.9	8.2	7.0
長岡第六小学校区 (N=50)	市内の民間スポーツ施設	小中高等学校の体育館・グラウンド その他京都府内のスポーツ施設		京都府以外（他府県）のスポーツ施設
	18.0	10.0		8.0
長岡第七小学校区 (N=76)	市内の民間スポーツ施設	小中高等学校の体育館・グラウンド その他京都府内のスポーツ施設		京都府以外（他府県）のスポーツ施設
	13.2	7.9		6.6
長岡第八小学校区 (N=63)	市内の民間スポーツ施設	小中高等学校の体育館・グラウンド その他京都府内のスポーツ施設		向日市内の公共スポーツ施設
	17.5	12.7		7.9
長岡第九小学校区 (N=81)	市内の民間スポーツ施設	その他京都府内のスポーツ施設	小中高等学校の体育館・グラウンド	向日市内の公共スポーツ施設
	21.0	9.9	7.4	6.2
長岡第十小学校区 (N=62)	小中高等学校の体育館・グラウンド その他京都府内のスポーツ施設		西山公園体育館	長岡京市立スポーツセンター
	11.3		9.7	3.2

## (5) 運動やスポーツを行わない理由

問 13 運動やスポーツを行わなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図表 3-5 運動やスポーツを行わない理由】



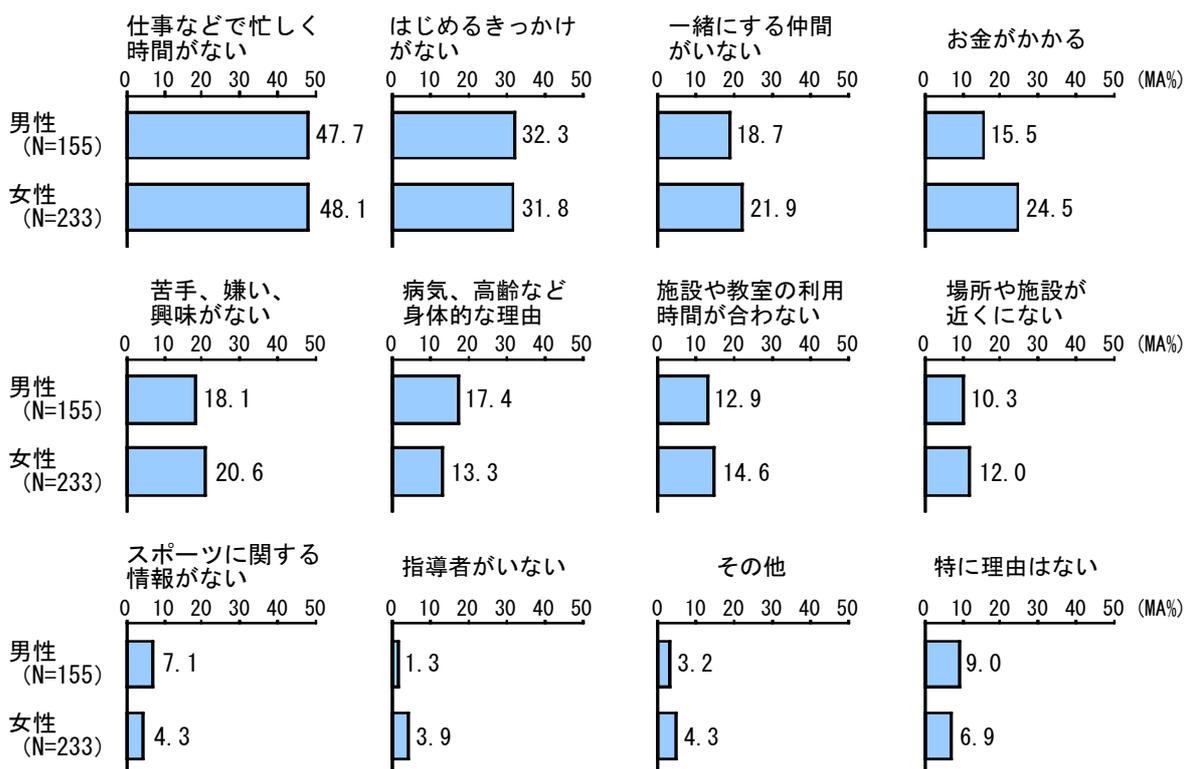
現在、運動やスポーツを行っていない人にその理由をたずねたところ、「仕事などで忙しく時間がない」が 48.0%と最も多く、次いで「はじめるきっかけがない」31.8%、「一緒にする仲間がない」20.4%、「お金がかかる」20.2%などとなっている。(図表 3-5)

【図表 3-5-1 運動やスポーツを行わない理由（※参考『前回調査』）】

(単位：%)	機会がなかったから	忙しく時間がない 仕事や家事、育児が	年をとったから	好運動ではないから	仲間がいないから	費用がかかるから	体が弱いから	場所や施設がないから	指導者がいないから	その他	特に理由はない	わからない
(前回)	55.6	51.2	28.6	24.6	21.0	13.9	11.9	9.5	2.8	6.0	34.9	6.7

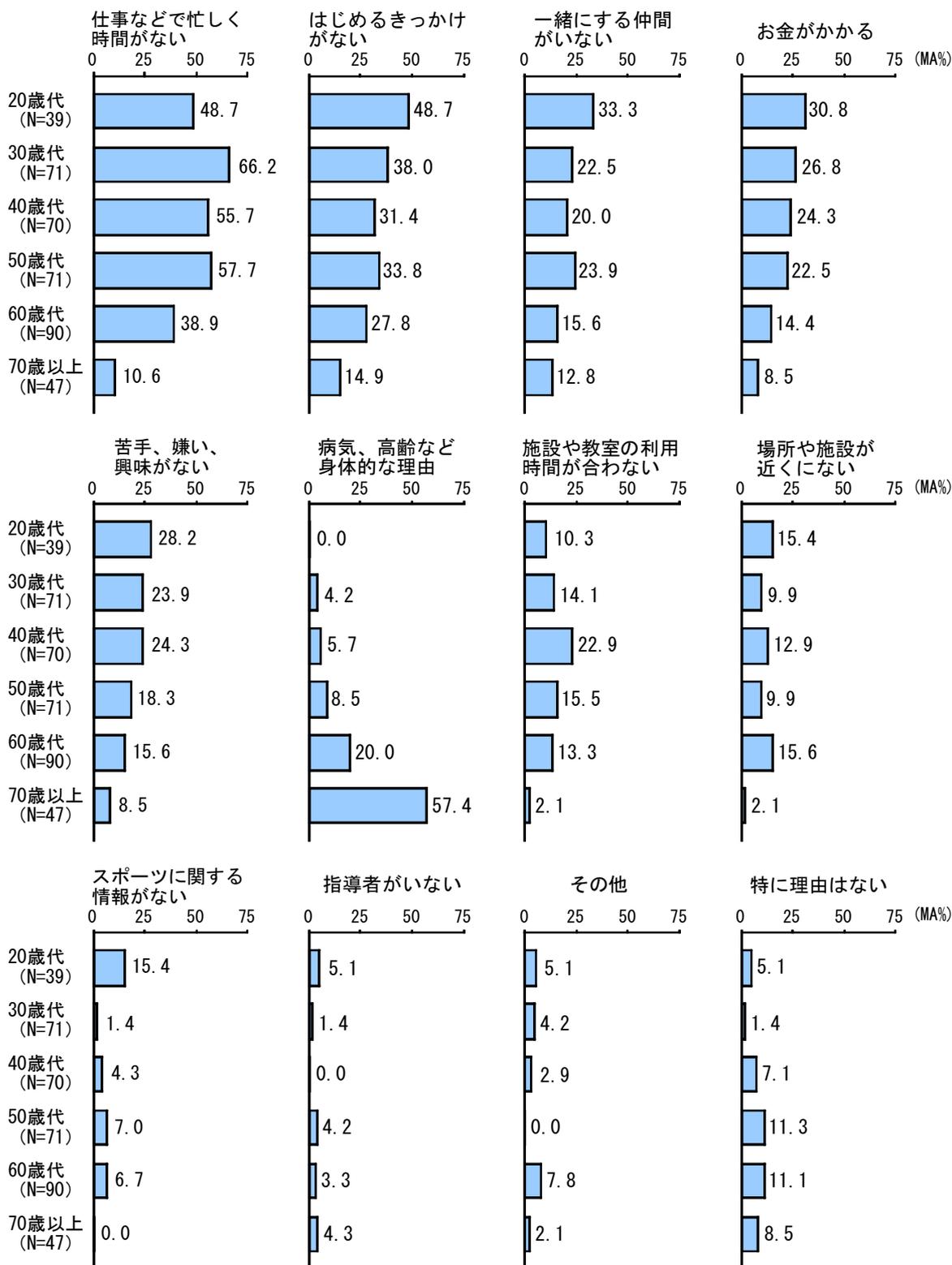
前回調査時は回答数制限（○は3つまで）があったため単純な比較は難しいが、“時間がない”、“きっかけがない”という理由が前回と同様に高くなっている。（図表 3-5-1）

【図表 3-5-2 性別 運動やスポーツを行わない理由】



回答者の性別にみたところ、男性・女性ともに「仕事などで忙しく時間がない」が5割弱と最も高くなっている。また、「お金がかかる」が男性で15.5%に対し、女性で24.5%と、女性のほうが9ポイント高く、男女間で差がみられる。（図表 3-5-2）

【図表 3-5-3 年齢別 運動やスポーツを行わない理由】



回答者の年齢構成別にみたところ、20歳代において「はじめるきっかけがない」が48.7%、「一緒にする仲間がいない」が33.3%、「スポーツに関する情報がない」が15.4%、30歳代において「仕事などで忙しく時間がない」が66.2%、70歳以上において「病気、高齢など身体的な理由」が57.4%と、それぞれ他の年齢層と比べて高くなっている。(図表 3-5-3)

(6) 今後行ってみたい運動やスポーツ

問 14 今後行いたい（続けていきたい）運動やスポーツは何ですか。（○はいくつでも）

【図表 3-6 今後行ってみたい運動やスポーツ】

調査数	ウォーキング	登山、ハイキング	水泳、水中ウォーキング	体操	ゴルフ	ヨガ、ピラティス	ランニング、ジョギング	釣り	スキー、スノーボード	サイクリング	ジムトレーニング	テニス、ソフトテニス
1,288	62.7	21.7	21.5	15.8	14.5	13.0	12.5	12.3	12.0	11.9	11.1	10.6
	ボウリング	キャンプなどの野外活動	卓球	ダンス、エアロビクス	海水浴（遊泳）	野球、ソフトボール	バドミントン	軽い球技	太極拳	カヌー、サーフィン、スキューバダイビング	グラウンドゴルフ	乗馬
	8.8	8.8	7.8	7.7	6.4	6.3	6.1	4.9	4.3	4.2	4.0	3.6
	ファミリーバドミントン	サッカー、フットサル	ショートテニス	社交ダンス、民謡踊り	アイススケート	空手、拳法、合気道	バレーボール、ビーチバレー	弓道、アーチェリー	バスケットボール	陸上競技	ミニバレーボール	ソフトバレーボール
	3.5	3.5	3.4	3.3	3.0	2.5	2.3	2.2	2.0	1.8	1.7	1.6
	競泳（水泳競技）	ペタンク	剣道、柔道、相撲、レスリング	ラグビー、アメリカンフットボール	ゲートボール	ハンドボール	その他の軽いスポーツ	その他の競技的スポーツ	その他の野外スポーツ	やりたくない	無回答	
	1.3	1.1	1.0	0.8	0.7	0.5	1.3	0.8	0.5	1.0	3.9	

今後行いたい（続けていきたい）運動やスポーツをたずねたところ、「ウォーキング」が 62.7%と際立って多く、次いで「登山、ハイキング」21.7%、「水泳、水中ウォーキング」21.5%、「体操」15.8%、「ゴルフ」14.5%、「ヨガ、ピラティス」13.0%などとなっている。（図表 3-6）

【図表 3-6-1 性別 今後行ってみたい運動やスポーツ（前回調査との比較）】

## &lt;男性&gt;

(%)	今回		(前回)	
1位	ウォーキング	61.7	ウォーキング	39.2
2位	ゴルフ	25.0	軽い水泳、水中ウォーキング	26.8
3位	登山、ハイキング	23.2	登山・ハイキング	23.5
4位	釣り	21.4	ゴルフ（練習などを含む）	23.1
5位	水泳、水中ウォーキング	18.6	軽い球技（キャッチボール等）	20.4

## &lt;女性&gt;

(%)	今回		(前回)	
1位	ウォーキング	63.1	ウォーキング	43.8
2位	体操	25.3	軽い水泳、水中ウォーキング	37.7
3位	水泳、水中ウォーキング	24.7	体操（ラジオ体操等）	26.4
4位	ヨガ、ピラティス	22.9	軽い球技（キャッチボール等）	20.8
5位	登山、ハイキング	20.3	登山・ハイキング	20.1

【図表 3-6-2 年齢別 今後行ってみたい運動やスポーツ（前回調査との比較）】

< 20歳代 >

(%)	今回		(前回)	
1位	ウォーキング	43.3	スキー・スノーボード	45.1
2位	スキー、スノーボード	29.1	軽い水泳、水中ウォーキング	32.6
3位	ヨガ、ピラティス	21.3	ボウリング	27.9
4位	ランニング、ジョギング ジムトレーニング	19.7	海水浴	24.2
5位			軽い球技（キャッチボール等） 水上・水中スポーツ（ダイビング等） 釣り	23.3

< 30歳代 >

(%)	今回		(前回)	
1位	ウォーキング	49.3	スキー・スノーボード	37.5
2位	水泳、水中ウォーキング	24.9	軽い球技（キャッチボール等）	33.1
3位	スキー・スノーボード	24.0	軽い水泳、水中ウォーキング	31.9
4位	ヨガ、ピラティス	23.1	ウォーキング	26.7
5位	ランニング、ジョギング	19.2	キャンプ、オートキャンプ	25.1

< 40歳代 >

(%)	今回		(前回)	
1位	ウォーキング	56.6	ウォーキング	36.9
2位	水泳、水中ウォーキング	19.9	軽い水泳、水中ウォーキング	32.5
3位	ランニング、ジョギング	18.9	軽い球技（キャッチボール等）	29.5
4位	登山、ハイキング	18.4	登山・ハイキング	22.8
5位	テニス、ソフトテニス 釣り	17.9	スキー・スノーボード	22.4

<50歳代>

(%)	今回		(前回)	
1位	ウォーキング	71.4	ウォーキング	50.2
2位	水泳、水中ウォーキング	29.0	軽い水泳、水中ウォーキング	33.2
3位	登山、ハイキング	26.8	登山・ハイキング	32.3
4位	体操	21.4	体操（ラジオ体操等）	24.3
5位	ゴルフ	18.8	釣り	21.8

<60歳代>

(%)	今回		(前回)	
1位	ウォーキング	73.0	ウォーキング	58.1
2位	登山、ハイキング	30.4	軽い水泳、水中ウォーキング	34.9
3位	水泳、水中ウォーキング	22.2	体操（ラジオ体操等）	30.6
4位	体操	15.0	登山・ハイキング	29.9
5位	釣り	14.0	ゴルフ（練習などを含む）	15.8

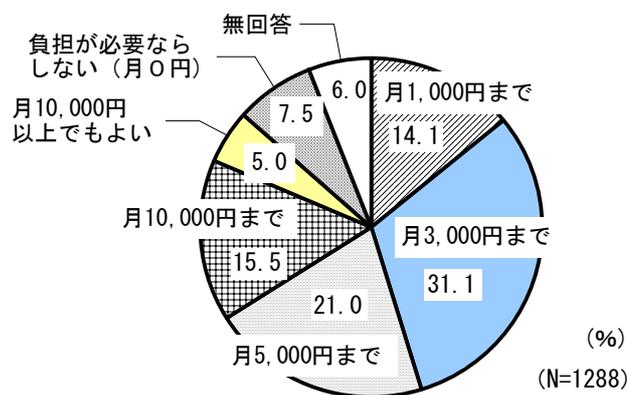
<70歳以上>

(%)	今回		(前回)	
1位	ウォーキング	70.4	ウォーキング	50.3
2位	体操	21.8	体操（ラジオ体操等）	32.0
3位	登山、ハイキング	19.0	登山・ハイキング	17.1
4位	水泳、水中ウォーキング	15.1	軽い水泳、水中ウォーキング	14.4
5位	ゴルフ	14.0	室内運動器具を使った運動	13.3

(7) 運動やスポーツを行う上で負担できる金額

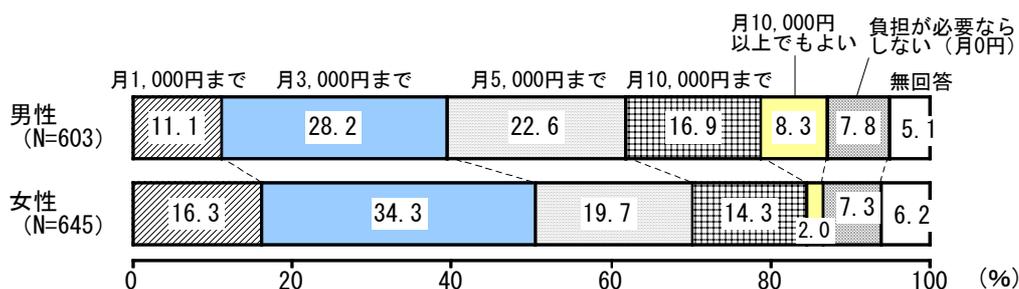
問 15 あなたは、運動やスポーツ、レクリエーション活動を行う上で、1ヶ月にどのくらいまでなら費用を負担してもよいと思いますか。(○は1つ)

【図表 3-7 運動やスポーツを行う上で負担できる金額】



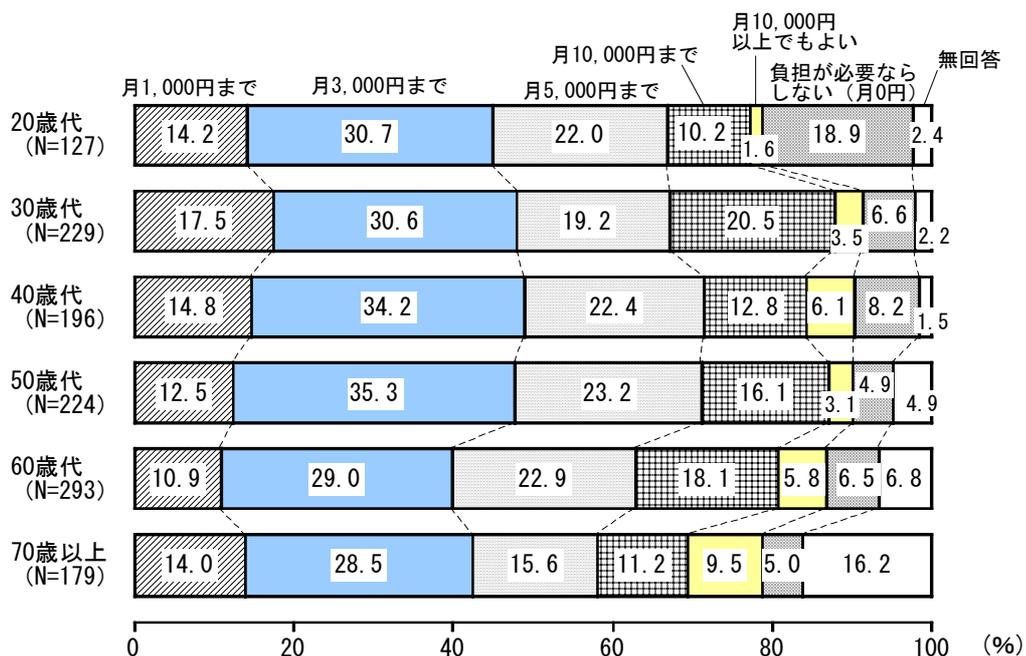
運動やスポーツを行う上で負担できる金額をたずねたところ、「月 3,000 円まで」が 31.1% と最も多く、次いで「月 5,000 円まで」が 21.0%、「月 10,000 円まで」が 15.5%の順となっている。(図表 3-7)

【図表 3-7-1 性別 運動やスポーツを行う上で負担できる金額】



回答者の性別にみたところ、月に 3,000 円までという割合が男性で約 4 割 (39.3%) に対し、女性で約 5 割 (50.6%) と、女性のほうが 10 ポイント以上高くなっている。(図表 3-7-1)

【図表 3-7-2 年齢別 運動やスポーツを行う上で負担できる金額】

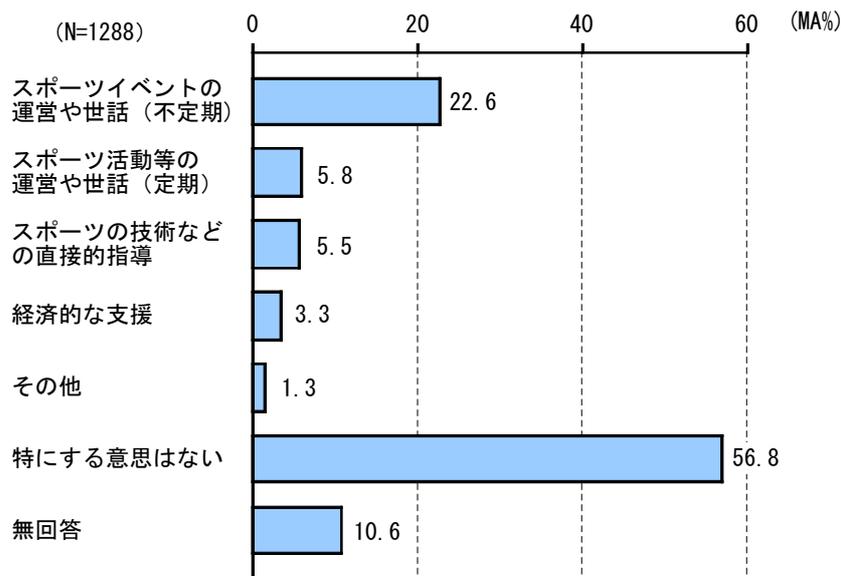


回答者の年齢構成別にみたところ、月に3,000円までという割合が30～50歳代で5割弱と、他の年齢層と比べて高くなっている。また、「負担が必要ならしない(月0円)」が20歳代で18.9%と最も高い。(図表 3-7-2)

(8) スポーツボランティアとしてのイベントへの参加意向

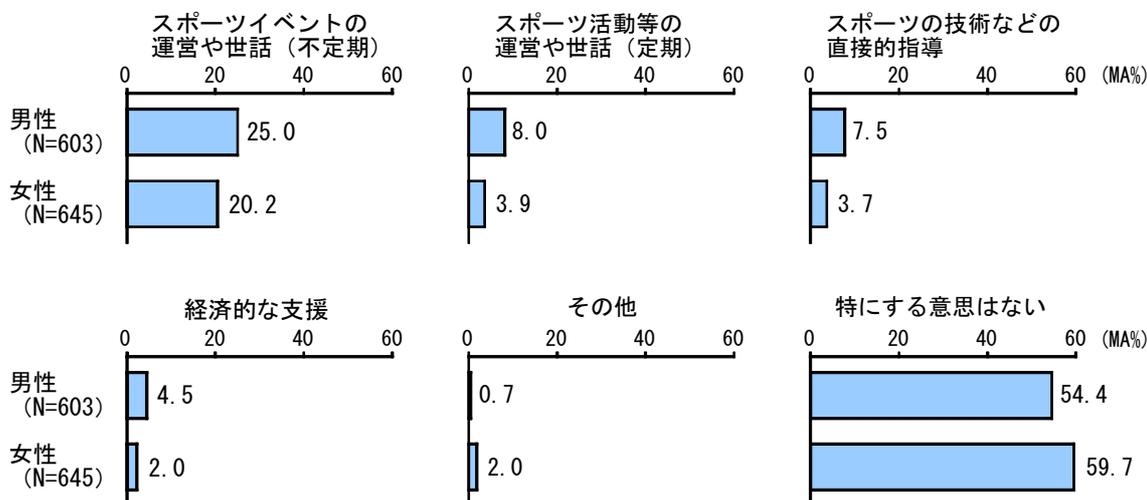
問 16 近年、スポーツ大会などのイベントではスポーツボランティアを募って実施していますが、あなたが、今後このような活動を行うとしたらどのようなことをしてみたいですか。また、どのようなことならしてもよいと思われませんか。(〇はいくつでも)

【図表 3-8 スポーツボランティア活動に対する意向】



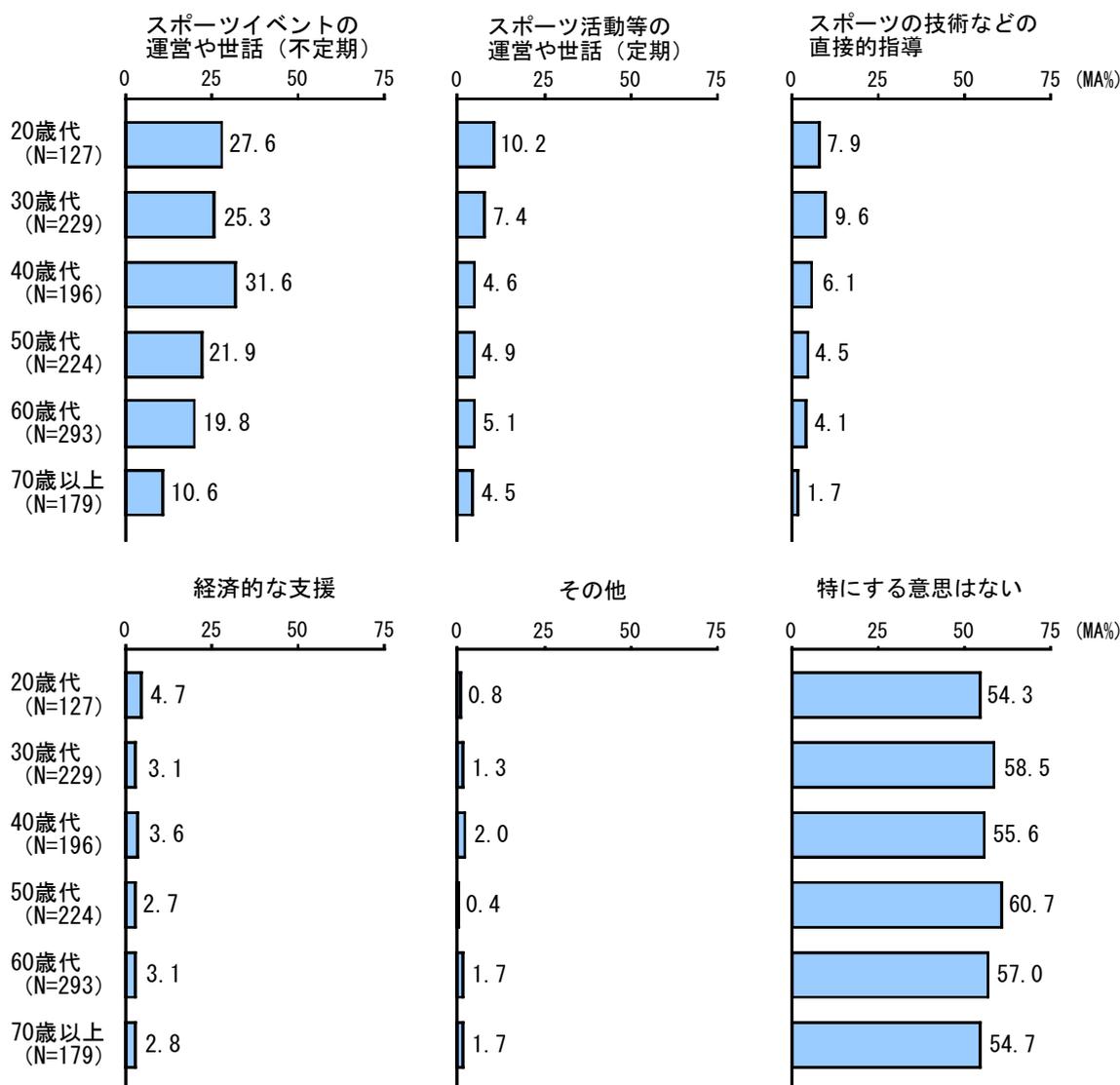
スポーツボランティアとしてのイベント参加に対する意向をたずねたところ、「特にする意思はない」が 56.8%を占める。一方、参加意向がある人をみると、「スポーツイベントの運営や世話 (不定期)」が 22.6%と多くなっている。(図表 3-8)

【図表 3-8-1 性別 スポーツボランティア活動に対する意向】



回答者の性別にみたところ、男性・女性ともに「特にする意思はない」が最も高く、男性で54.4%、女性で59.7%となっている。一方、いずれかの活動に対する意向がある人の内訳としては、「スポーツイベントの運営や世話（不定期）」が男性で25.0%、女性で20.2%と高く、またいずれの項目においても男性のほうが割合が高くなっている。（図表 3-8-1）

【図表 3-8-2 年齢別 スポーツボランティア活動に対する意向】

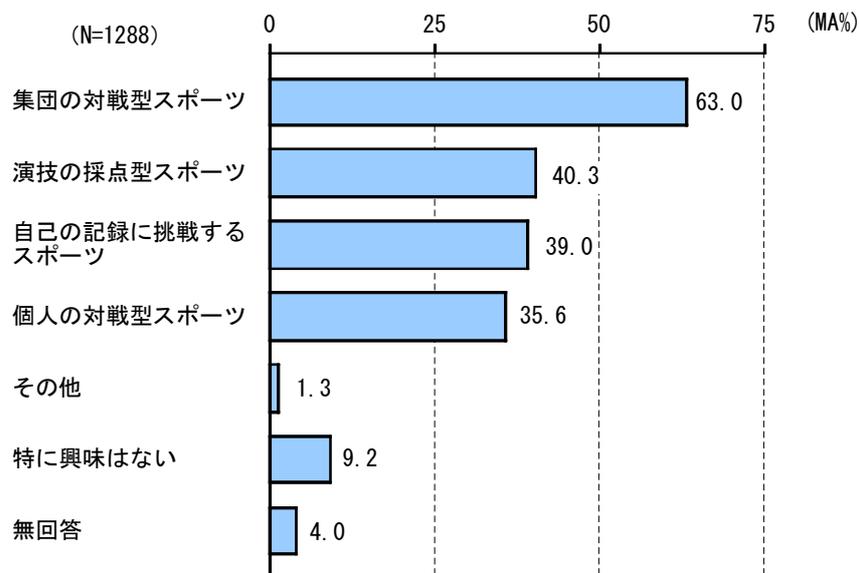


回答者の年齢構成別にみたところ、いずれの年齢層においても「特にする意思はない」が5～6割台と最も高くなっている。一方、活動に対する意向がある人の内訳としては、「スポーツイベントの運営や世話（不定期）」が40歳代で31.6%と高く、次いで20歳代で27.6%、30歳代で25.3%の順となっている。（図表 3-8-2）

(9) トップアスリートを見て興味をひかれるスポーツや競技

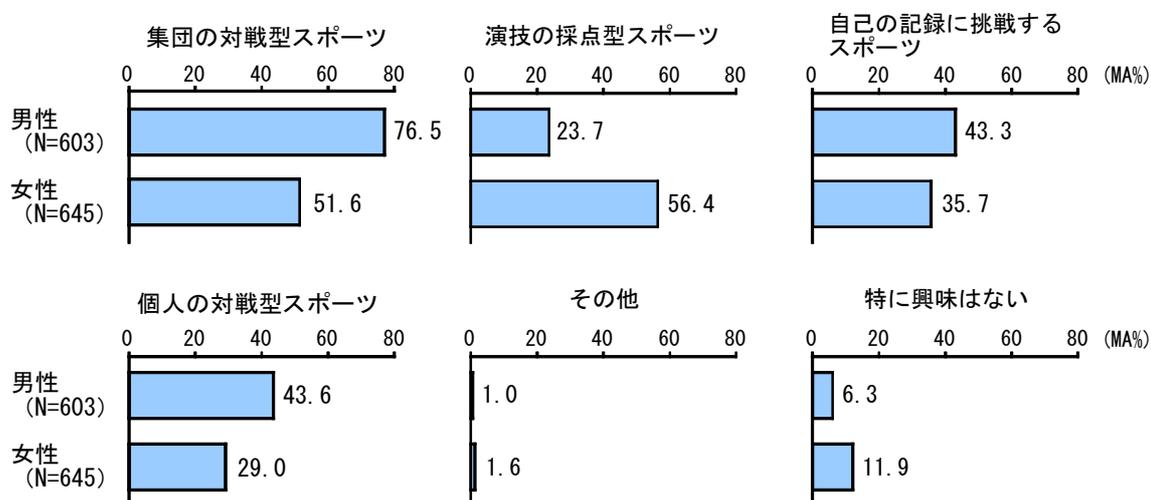
問 17 テレビなどではスポーツ番組が多数放送され、トップアスリートの競技を見ることができま  
すが、あなたはどのような競技に興味をひかれますか。(〇はいくつでも)

【図表 3-9 トップアスリートを見て興味をひかれるスポーツや競技】



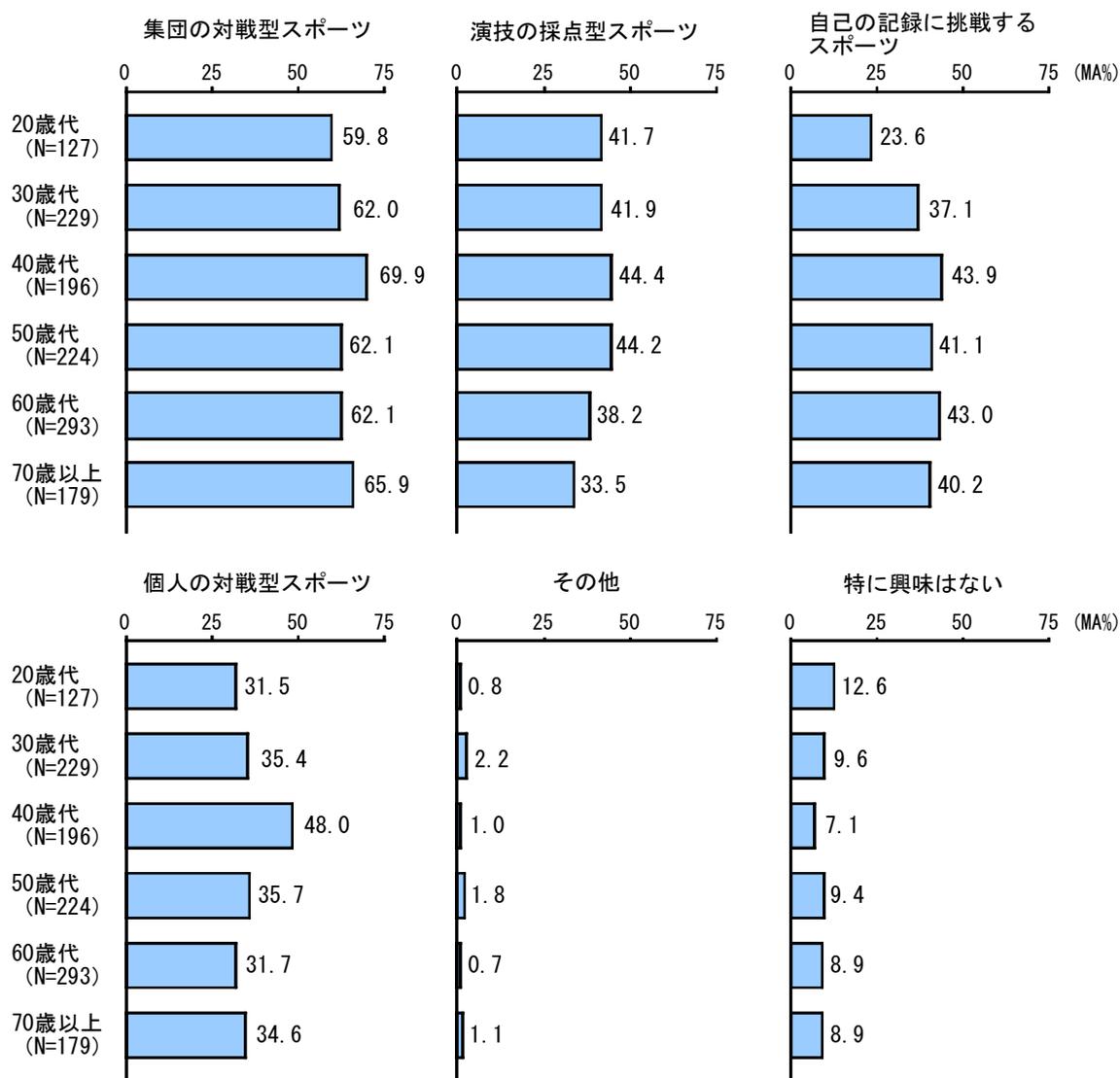
テレビなどを通してトップアスリートの競技を見て興味をひかれるスポーツをたずねたところ、「集団の対戦型スポーツ」が63.0%と最も多く、次いで「演技の採点型スポーツ」40.3%、「自己の記録に挑戦するスポーツ」39.0%、「個人の対戦型スポーツ」35.6%となっている。(図表 3-9)

【図表 3-9-1 性別 トップアスリートを見て興味をひかれるスポーツや競技】



回答者の性別にみたところ、男性では「集団の対戦型スポーツ」が76.5%、女性では「演技の採点型スポーツ」が56.4%と、それぞれ最も高くなっており、男女間において差がみられる。(図表 3-9-1)

【図表 3-9-2 年齢別 トップアスリートを見て興味をひかれるスポーツや競技】

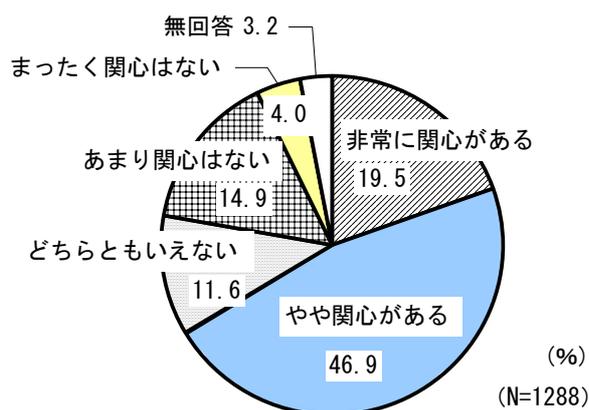


回答者の年齢構成別にみたところ、40歳代において「集団の対戦型スポーツ」が69.9%、「個人の対戦型スポーツ」が48.0%と、それぞれ他の年齢層と比べて最も高くなっている。一方、20歳代において「自己の記録に挑戦するスポーツ」が23.6%にとどまっている。(図表 3-9-2)

(10) 国際大会での日本選手の活躍等に対する関心度

問 18 昨年行われた北京オリンピックでは日本選手の活躍が見られ、長岡京市からもオリンピックに出場する選手が出るなどしました。あなたは、国際大会での日本選手の活躍や長岡京市に関係する選手の国内外での活躍に関心がありますか。(○は1つ)

【図表 3-10 国際大会での日本選手の活躍等に対する関心度】



国際大会での日本選手の活躍等に対する関心度をたずねたところ、「やや関心がある」が46.9%と最も多く、次いで多い「非常に関心がある」(19.5%)を合わせると、関心があるという割合が66.4%を占める。(図表 3-10)

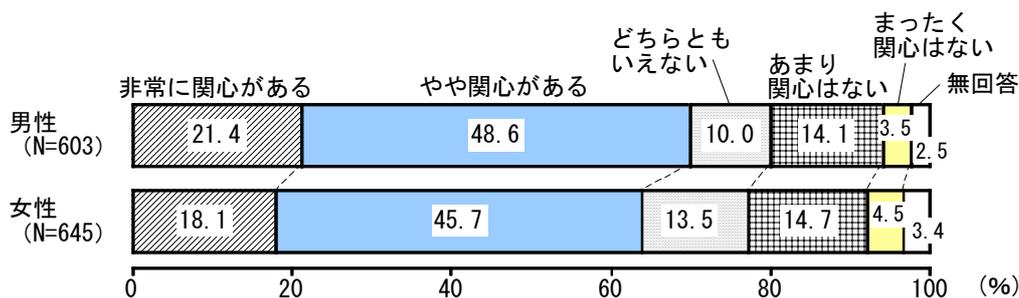
【図表 3-10-1 国際大会での日本選手の活躍等に対する関心度 (前回調査との比較)】

(単位：%)	非常に 関心 がある	やや 関心 がある	ど ち ら と も い え な い	あ ま り 関 心 は な い	ま っ た く 関 心 は な い	※ わ か ら な い
(前回)	27.5	50.0		16.2	5.0	1.3
今回	19.5	46.9	11.6	14.9	4.0	

■ : 調査項目なし

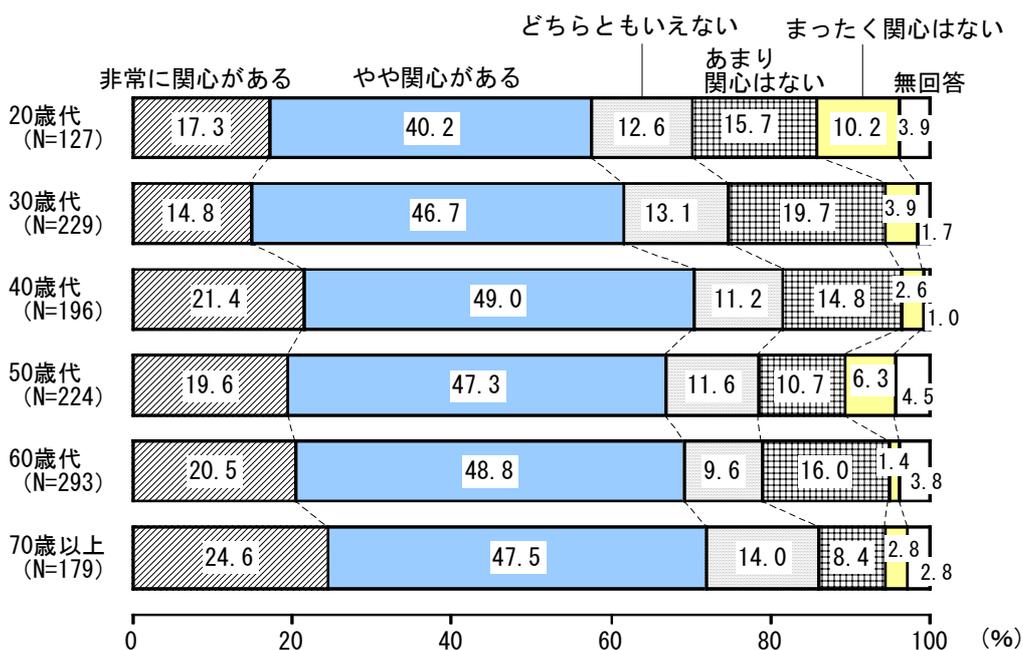
前回調査時と比較すると、関心があるという割合(「非常に関心がある」「やや関心がある」の計)が“前回”77.5%に対し、“今回”66.4%と、前回に比べ11.1ポイント減っている。(図表 3-10-1)

【図表 3-10-2 性別 国際大会での日本選手の活躍等に対する関心度】



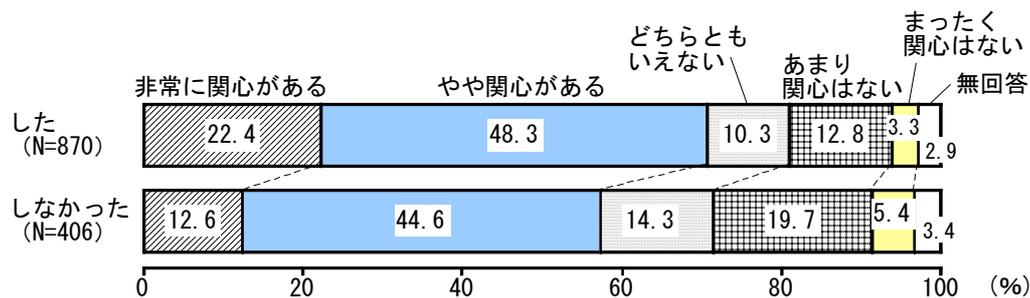
回答者の性別にみたところ、関心があるという割合が男性で70.0%に対し、女性で63.8%と、男性のほうが6.2ポイント高くなっている。(図表 3-10-2)

【図表 3-10-3 年齢別 国際大会での日本選手の活躍等に対する関心度】



回答者の年齢構成別にみたところ、関心があるという割合が70歳以上(72.1%)、40歳代(70.4%)で7割台となっている。一方、関心はないという割合(「あまり興味はない」「まったく興味はない」の計)が20歳代(25.9%)、30歳代(23.6%)で2割台と高くなっている。(図表 3-10-3)

【図表 3-10-4 年間の運動やスポーツ実施の有無別 国際大会での日本選手の活躍等に対する関心度】



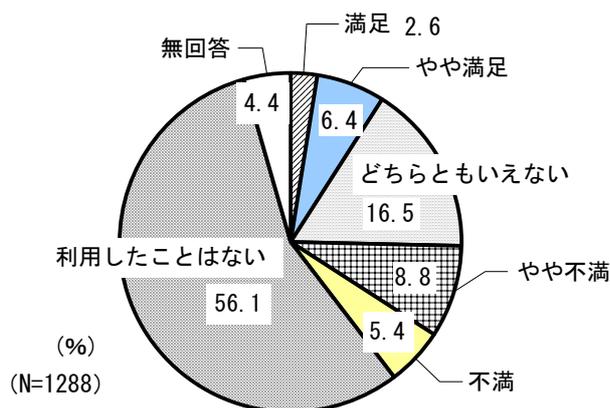
年間の運動やスポーツ実施の有無別にみところ、関心があるという割合がこの1年間に運動やスポーツをした人で70.7%を占めるのに対し、しなかった人では57.2%にとどまっている。(図表 3-10-4)

## 4. 公共スポーツ施設について

### (1) 公共スポーツ施設に対する満足度

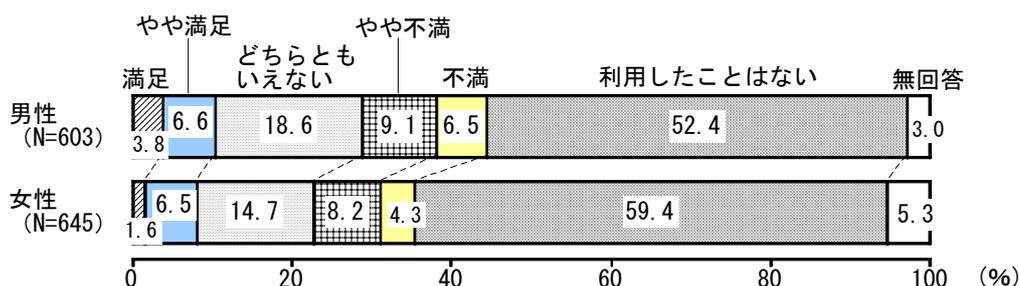
問 19 あなたは、長岡京市内にある公共スポーツ施設の利用について満足していますか。  
(○は1つ)

【図表 4-1 公共スポーツ施設に対する満足度】



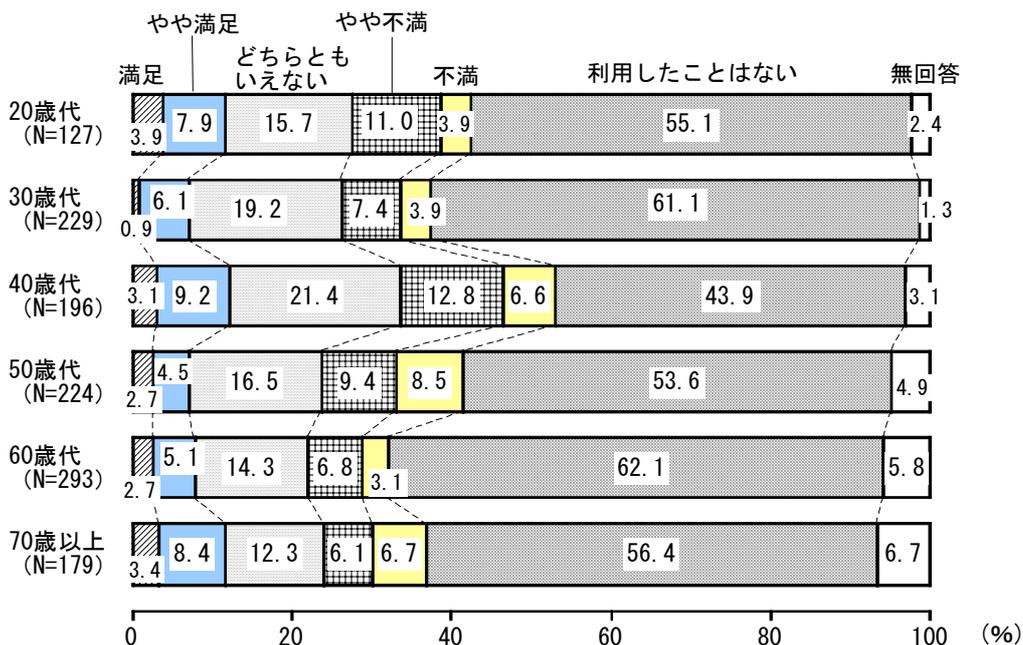
公共スポーツ施設について、「利用したことはない」が 56.1%を占める。一方、利用者に対して施設の満足度をたずねたところ、満足している割合（「満足」「やや満足」の計）が 9.0% に対し、不満である割合（「やや不満」「不満」の計）は 14.2%となっている。（図表 4-1）

【図表 4-1-1 性別 公共スポーツ施設に対する満足度】



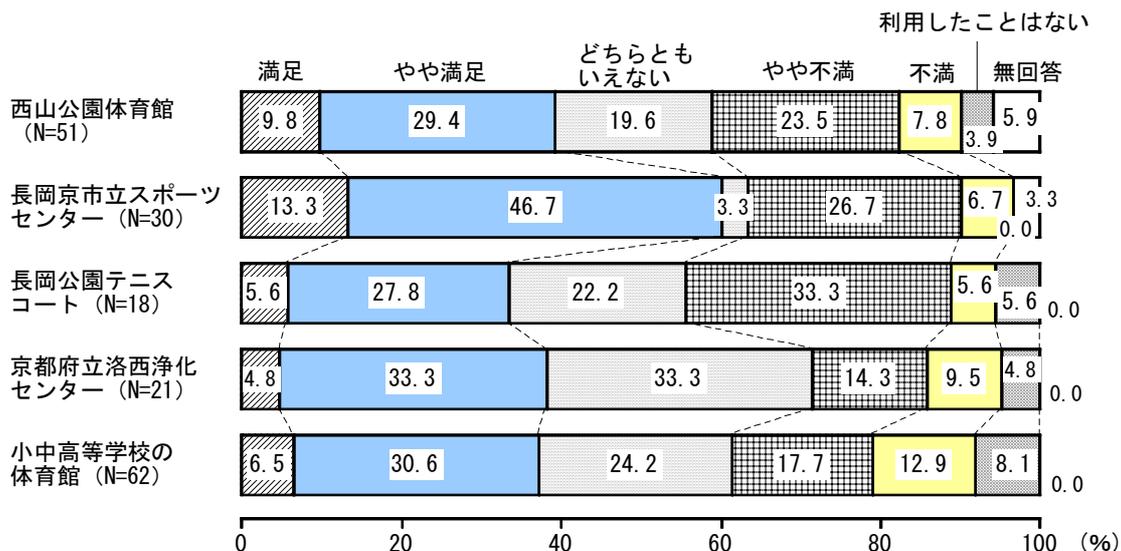
回答者の性別にみたところ、「利用したことはない」が男性で 52.4%、女性で 59.4%を占める。一方、公共スポーツ施設を利用したことがある人の満足度としては、満足している割合（「満足」「やや満足」の計）、不満である割合（「やや不満」「不満」の計）ともに男性のほうがやや高くなっている。（図表 4-1-1）

【図表 4-1-2 年齢別 公共スポーツ施設に対する満足度】



回答者の年齢構成別にみたと、**「利用したことはない」**が60歳代(62.1%)、30歳代(61.1%)で6割強みられる。一方、公共スポーツ施設を利用したことがある人の割合は40歳代で53.1%と最も高く、満足している割合が12.3%、不満である割合が19.4%となっている。(図表 4-1-2)

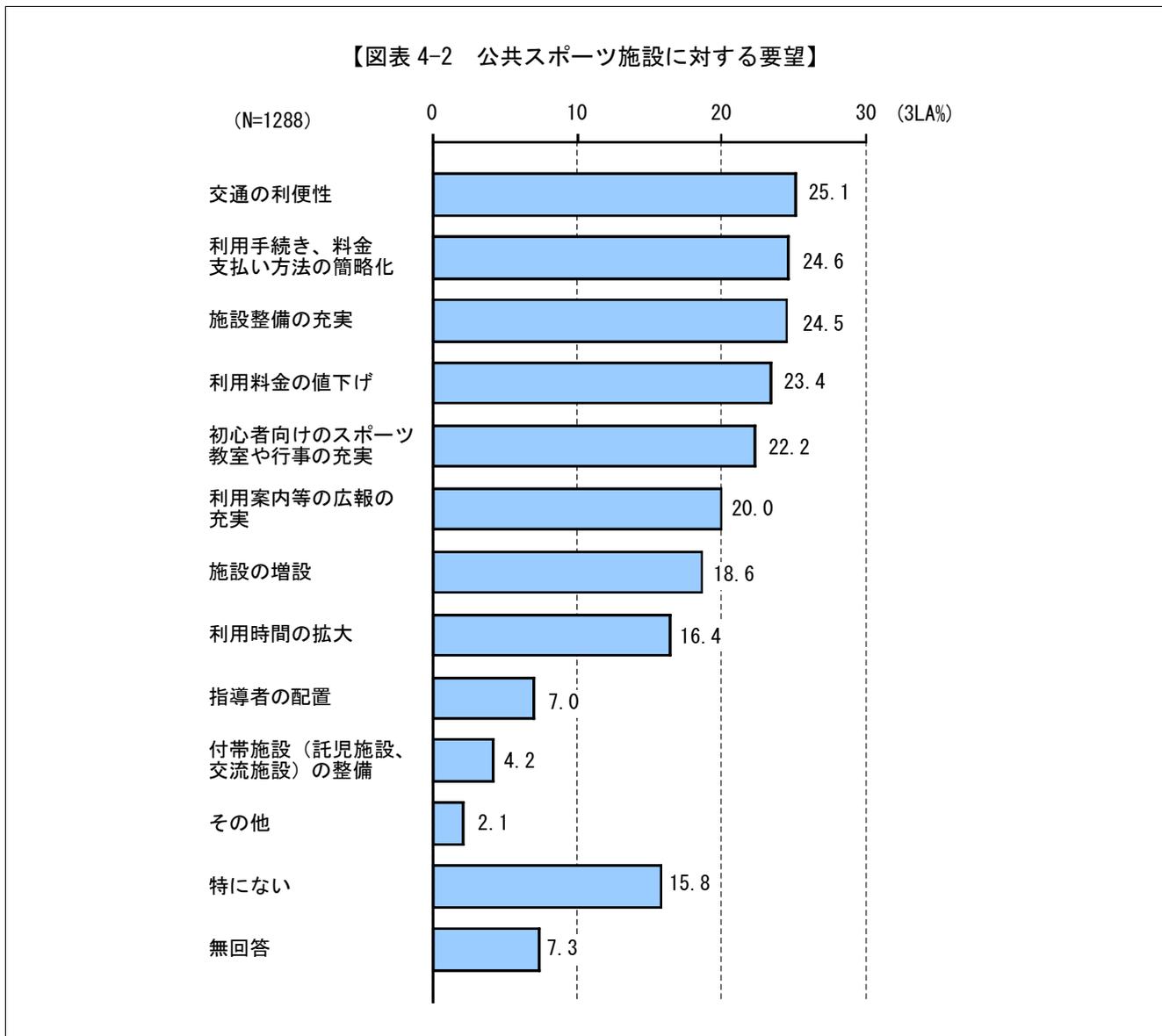
【図表 4-1-3 よく利用しているスポーツ施設（市内公共施設）別 公共スポーツ施設に対する満足度】



長岡京市内の公共スポーツ施設の利用状況別にみたと、満足している割合が**“長岡京市立スポーツセンター”**を利用する人で6割(60.0%)、一方、不満である割合は**“長岡公園テニスコート”**を利用する人で38.9%と、それぞれ最も高くなっている。(図表 4-1-3)

(2) 公共スポーツ施設に対する要望

問 20 公共スポーツ施設を利用する上で（利用するとして）、どのような点を望まれますか。  
 （○は3つまで）



公共スポーツ施設に対する要望をたずねたところ、「交通の利便性」が25.1%と最も多く、次いで「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」24.6%、「施設整備の充実」24.5%、「利用料金の値下げ」23.4%などとなっている。（図表 4-2）

【図表 4-2-1 公共スポーツ施設に対する要望（前回調査との比較）】

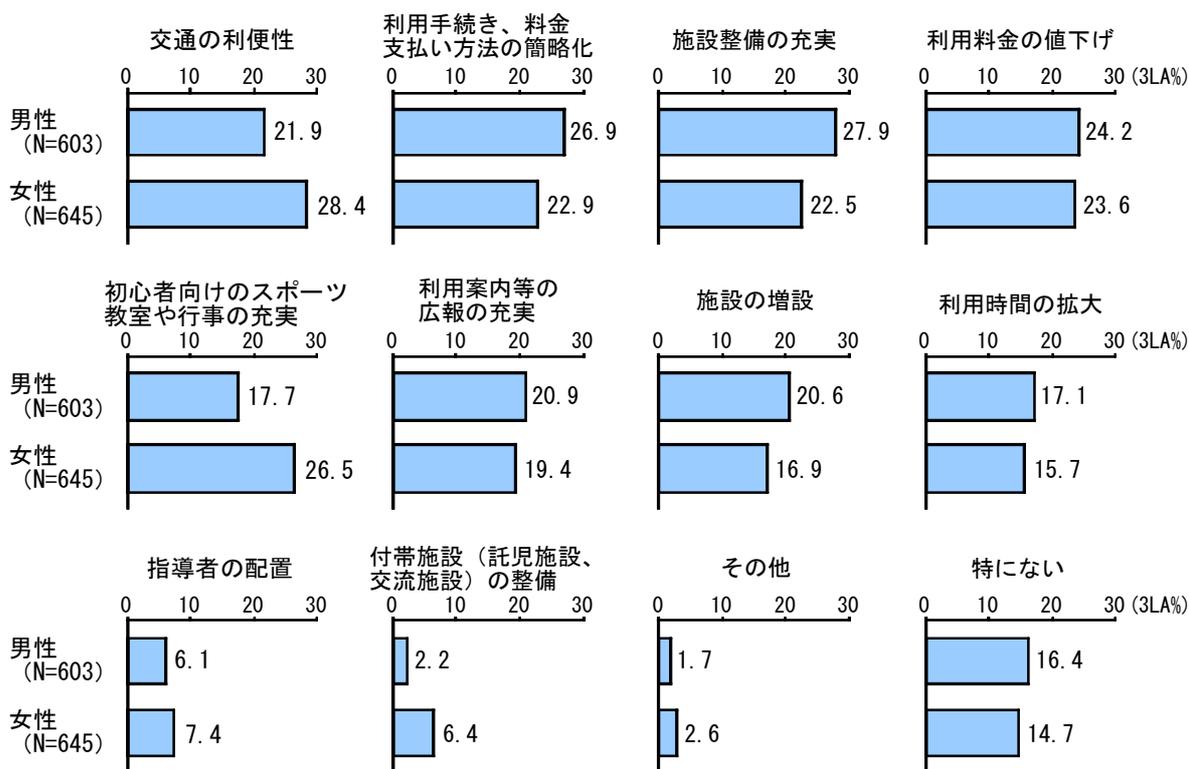
(単位：%)	交通の利便性	利用方法の簡略化、料金支払	施設整備の充実	利用料金の値下げ	初心者向けの実践教室や行事の充実	実用案内等の広報の充実	施設の増設	利用時間の拡大	指導者の配置	付帯施設（託児施設、交流施設）の整備
(前回)		10.4			17.9	7.0	33.2	6.2	4.0	2.4
今回	25.1	24.6	24.5	23.4	22.2	20.0	18.6	16.4	7.0	4.2

(単位：%)	※アフタースポーツ施設の充実	※健康・スポーツ情報の充実	その他	特になし	※わからない
(前回)	1.5	4.1	2.4		11.0
今回			2.1	15.8	

■ : 調査項目なし

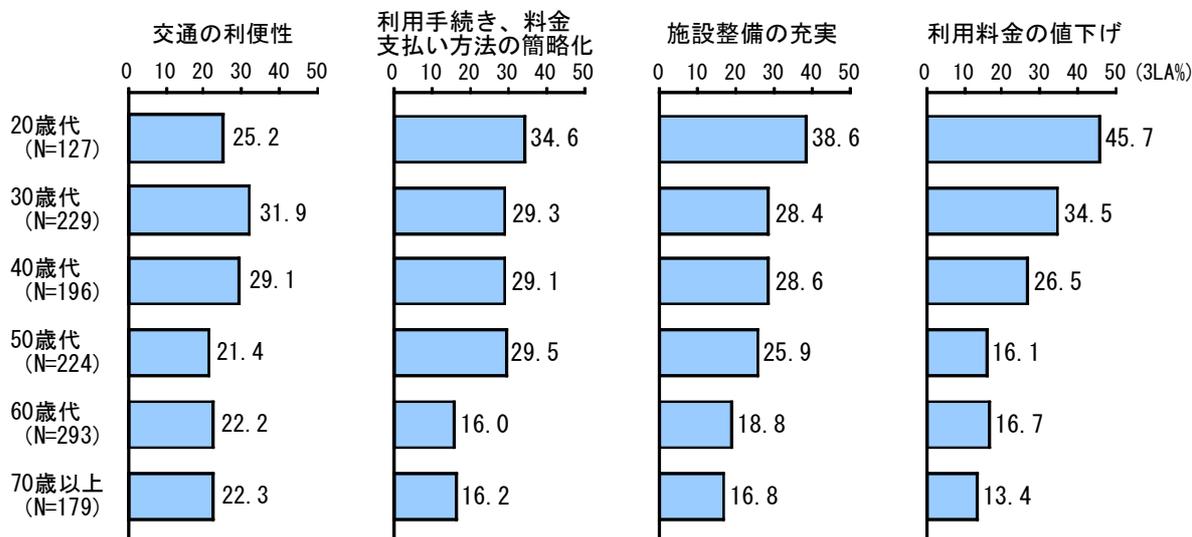
前回調査時と比較すると、概ねいずれの項目においても割合が増えており、特に「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」(24.6%)、「利用案内等の広報の充実」(20.0%)、「利用時間の拡大」(16.4%)において前回から10ポイント以上増えている。一方、「施設の増設」が“前回”33.2%に対し、“今回”18.6%と、前回に比べ14.6ポイント減っている。(図表 4-2-1)

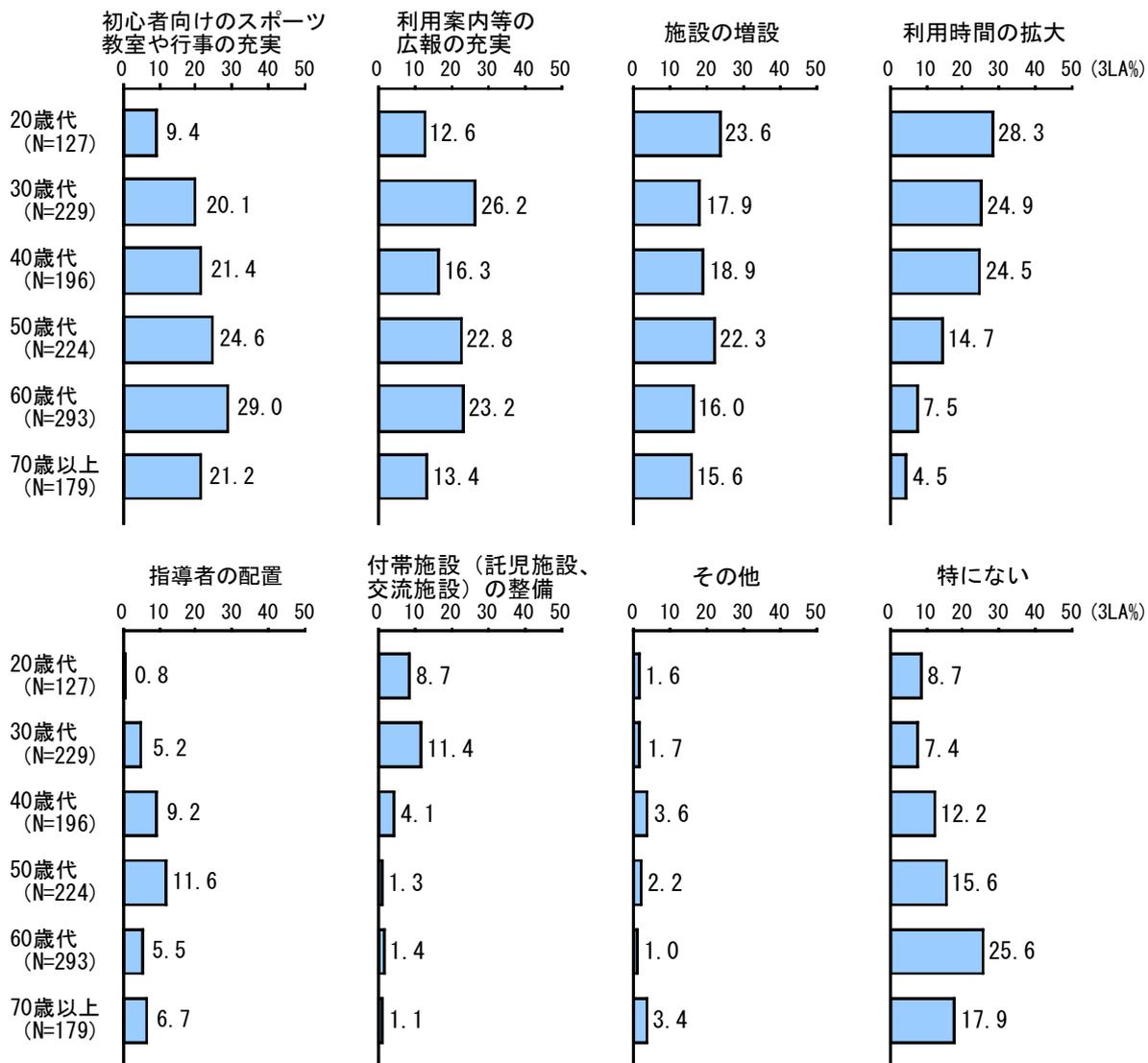
【図表 4-2-2 性別 公共スポーツ施設に対する要望】



回答者の性別にみたところ、男性では「施設整備の充実」が27.9%と最も高く、次いで「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」26.9%、「利用料金の値下げ」24.2%などとなっている。一方、女性では「交通の利便性」が28.4%と最も高く、次いで「初心者向けのスポーツ教室や行事の充実」26.5%、「利用料金の値下げ」23.6%などとなっている。（図表 4-2-2）

【図表 4-2-3 年齢別 公共スポーツ施設に対する要望】

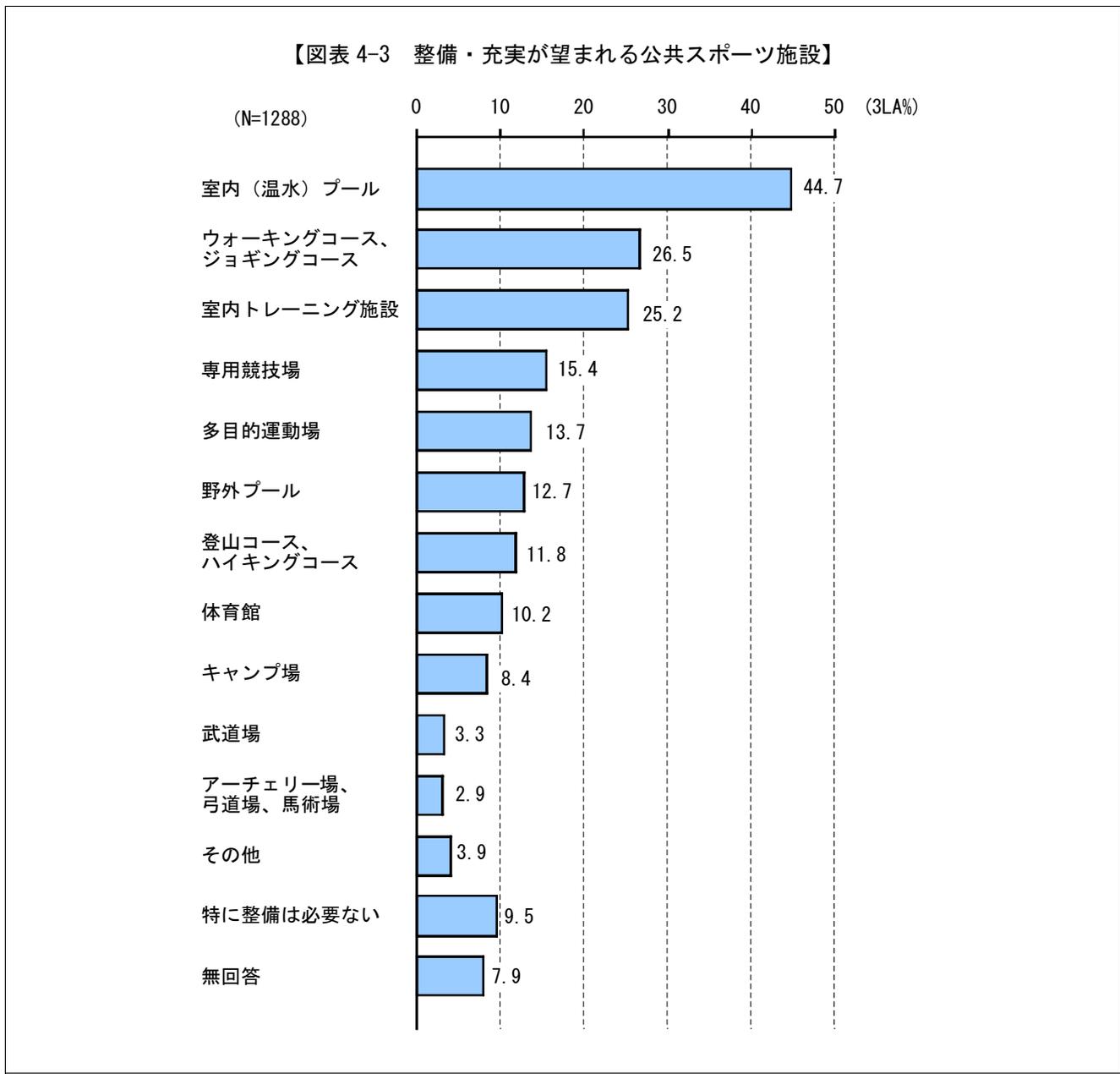




回答者の年齢構成別にみたところ、20歳代において「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」が34.6%、「施設整備の充実」が38.6%、「利用料金の値下げ」が45.7%、「利用時間の拡大」が28.3%と、それぞれ他の年齢層と比べて最も高くなっており、また他の比較的若い年齢層においても概ね割合が高い。一方、「初心者向けのスポーツ教室や行事の充実」が60歳代で29.0%と、こちらも他の年齢層と比べて最も高くなっている。（図表4-2-3）

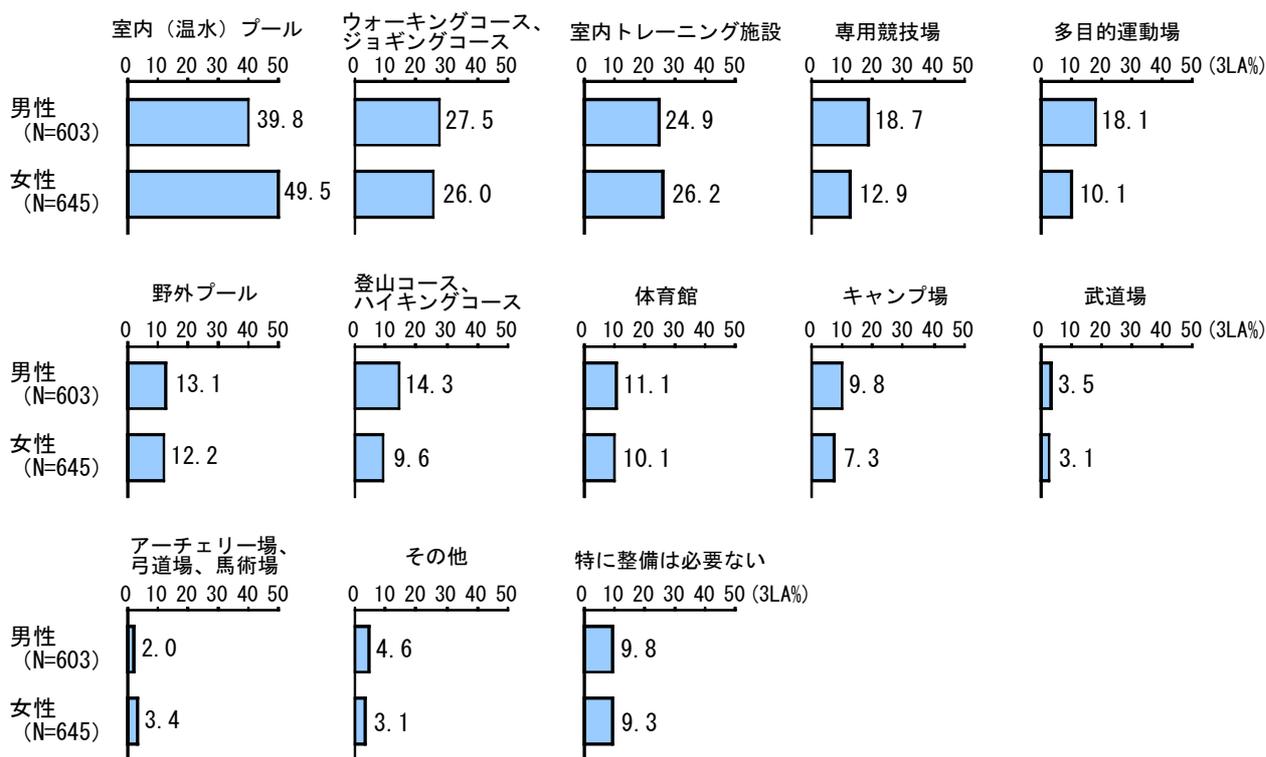
(3) 整備・充実が望まれる公共スポーツ施設

問 21 長岡京市では、今後どのようなスポーツ施設を整備・充実していくことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



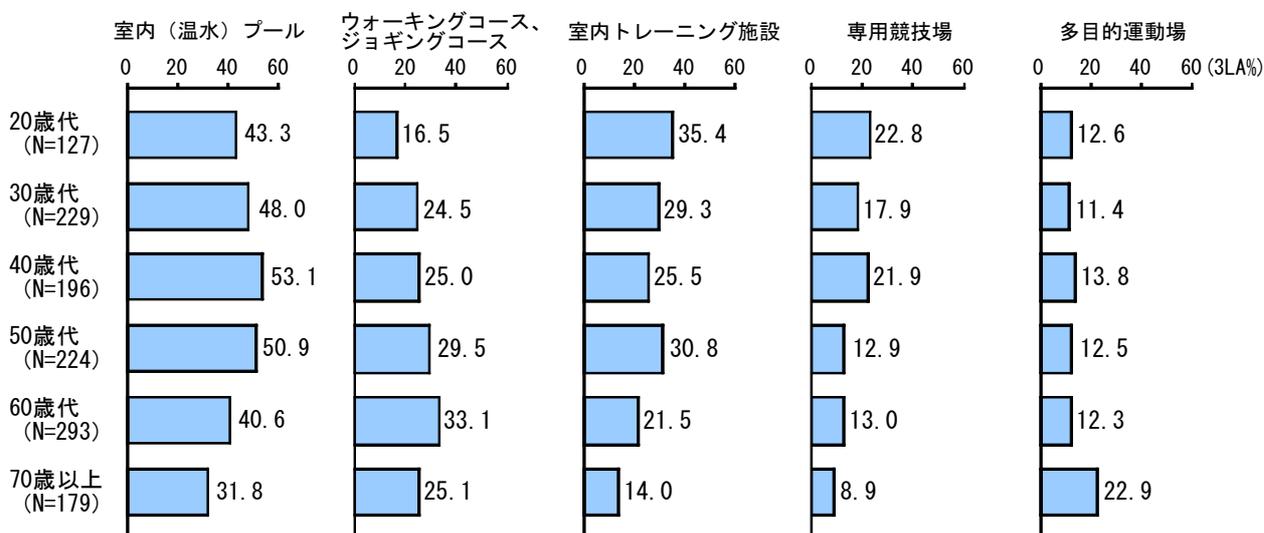
整備・充実が望まれる公共スポーツ施設をたずねたところ、「室内(温水)プール」が44.7%と最も多く、次いで「ウォーキングコース、ジョギングコース」26.5%、「室内トレーニング施設」25.2%などとなっている。(図表 4-3)

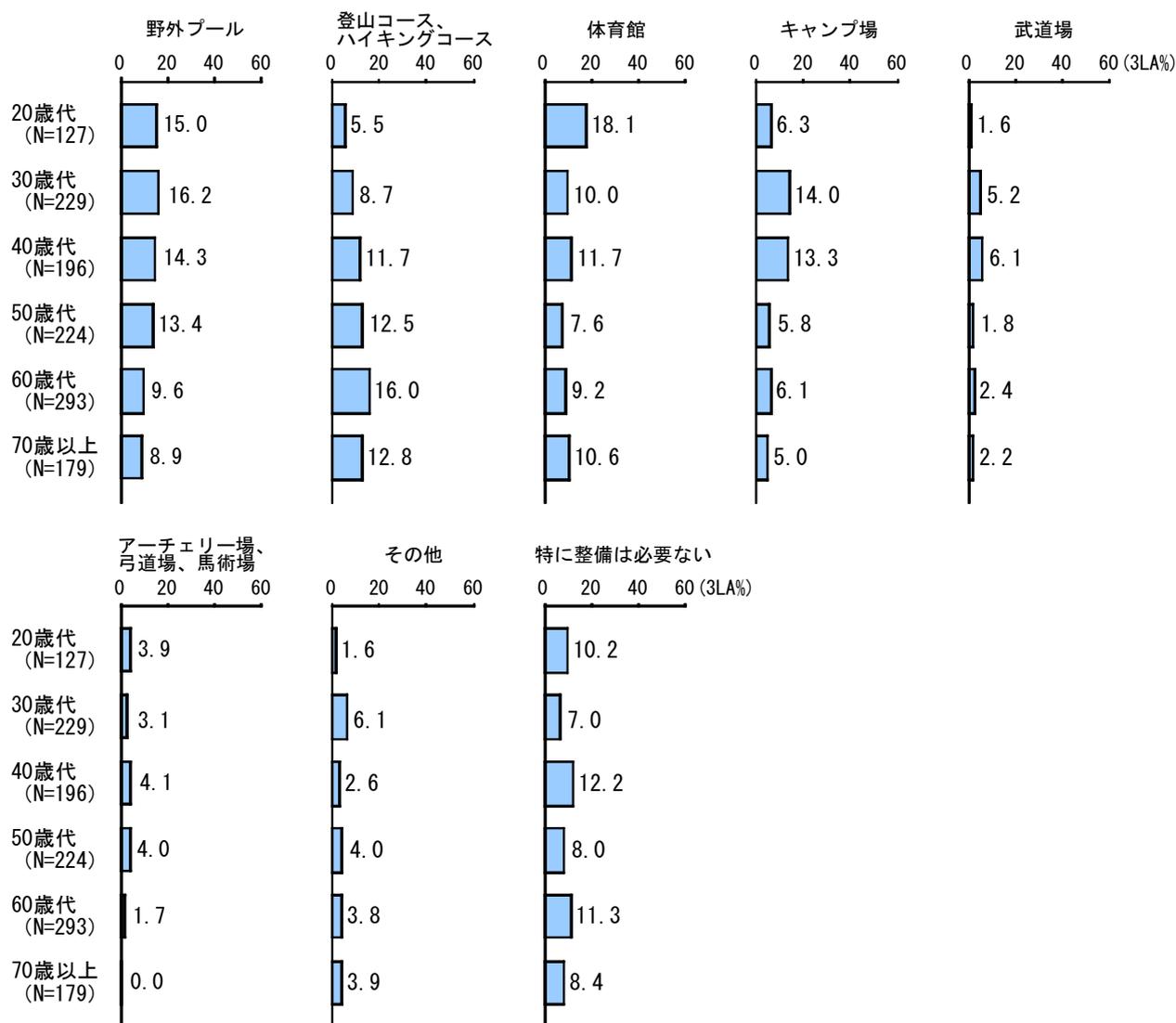
【図表 4-3-1 性別 整備・充実が望まれる公共スポーツ施設】



回答者の性別にみたところ、男性・女性ともに「室内（温水）プール」が最も高く、男性で39.8%、女性で49.5%となっている。これに続くのが「ウォーキングコース、ジョギングコース」、「室内トレーニング施設」であり、男性・女性ともにいずれも2割台となっている。（図表 4-3-1）

【図表 4-3-2 年齢別 整備・充実が望まれる公共スポーツ施設】





回答者の年齢構成別にみたところ、「室内（温水）プール」が40歳代で53.1%、50歳代で50.9%、「ウォーキングコース、ジョギングコース」が60歳代で33.1%、「室内トレーニング施設」が20歳代で35.4%、「専用競技場」が20歳代で22.8%、40歳代で21.9%、「多目的運動場」が70歳以上で22.9%などと、それぞれ他の年齢層と比べて高くなっている。（図表4-3-2）

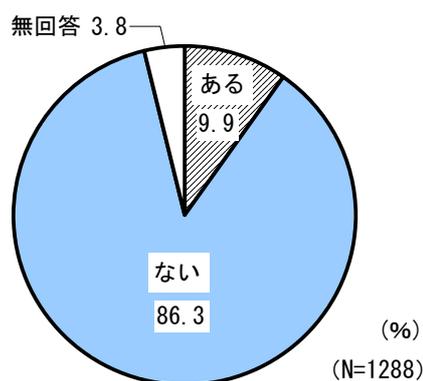
## 5. 学校体育施設について

### (1) 学校体育施設の利用

#### ①学校体育施設の利用状況

問 22 あなたは、この1年間に、長岡京市にある学校体育施設（小・中・高の体育館や運動場など）を利用したことがありますか。（○は1つ）

【図表 5-1 学校体育施設の利用状況】



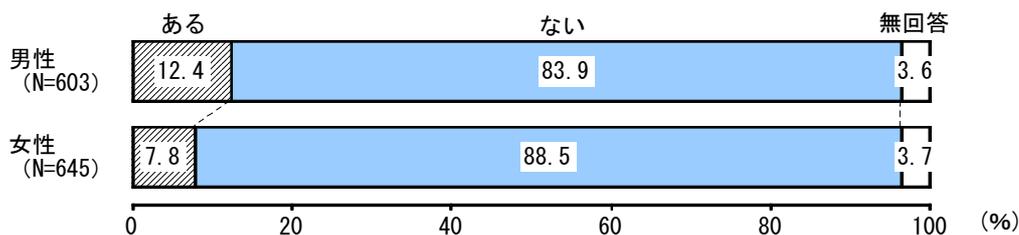
学校体育施設の利用状況をたずねたところ、「ある」が 9.9%に対し、「ない」が 86.3%を占める。(図表 5-1)

【図表 5-1-1 学校体育施設の利用状況（前回調査との比較）】

	ある	ない
(単位：%)		
(前回)	17.9	82.1
今回	9.9	86.3

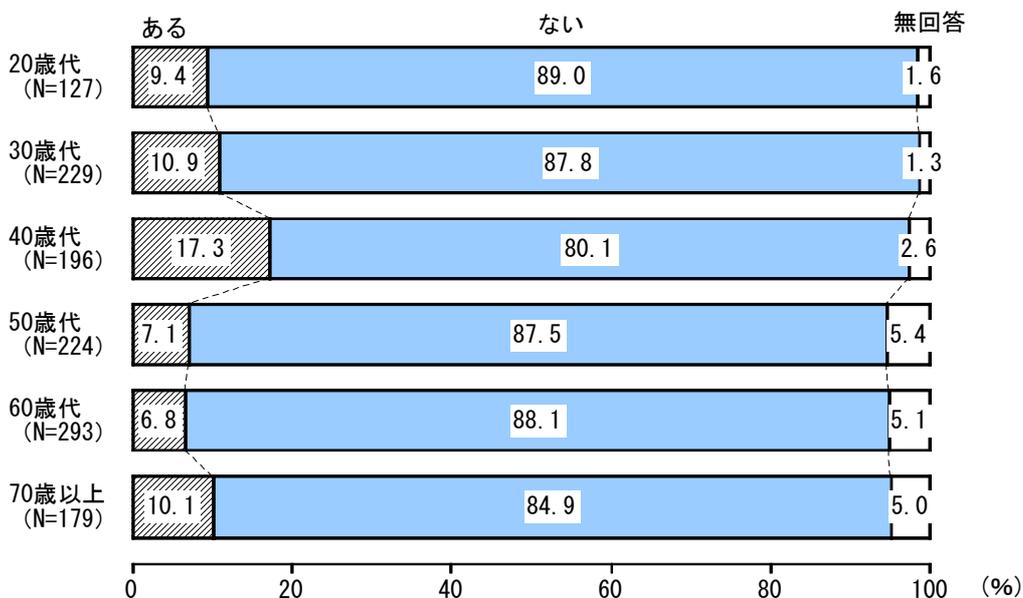
前回調査時と比較すると、「ある」が“前回” 17.9%に対し、“今回” 9.9%と、前回に比べ 8ポイント減っている。(図表 5-1-1)

【図表 5-1-2 性別 学校体育施設の利用状況】



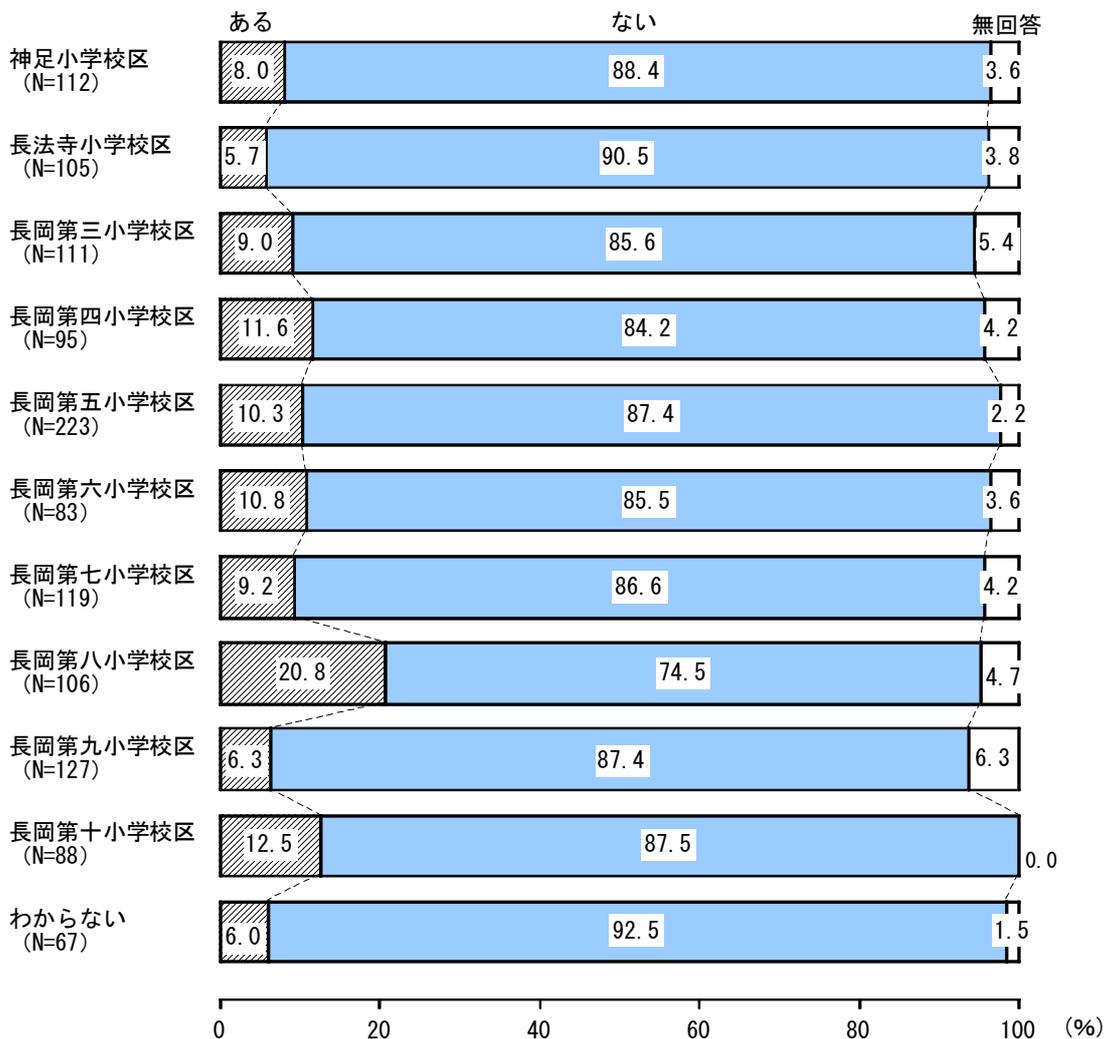
回答者の性別にみたところ、学校体育施設を利用したことが「ある」という割合が、男性で12.4%に対し、女性で7.8%と、男性のほうが4.6%高くなっている。(図表 5-1-2)

【図表 5-1-3 年齢別 学校体育施設の利用状況】



回答者の年齢構成別にみたところ、学校体育施設を利用したことが「ある」という割合が、「40歳代」で17.3%と最も高く、次いで30歳代で10.9%、70歳以上で10.1%の順となっている。(図表 5-1-3)

【図表 5-1-4 住まい別 学校体育施設の利用状況】

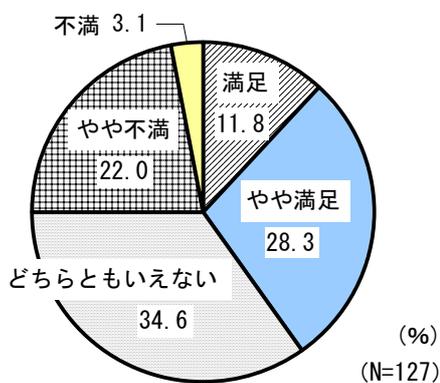


住まい（小学校区）別にみたところ、学校体育施設を利用したことが「ある」という割合が、長岡第八小学校区に住む人で 20.8%と最も高く、次いで長岡第十小学校区に住む人で 12.5%、長岡第四小学校区に住む人で 11.6%の順となっている。（図表 5-1-4）

②学校体育施設の利用に対する満足度

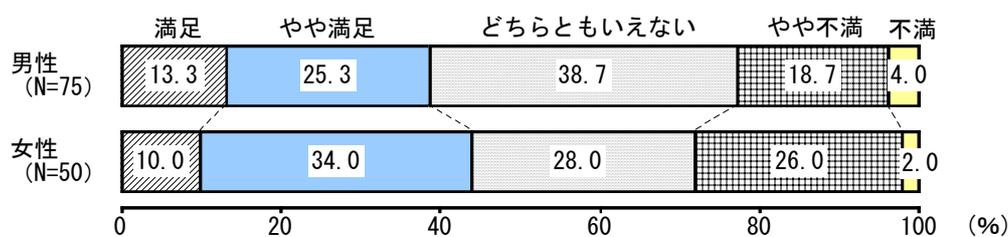
問 22-1 学校体育施設の利用に満足していますか。(○は1つ)

【図表 5-2 学校体育施設の利用に対する満足度】



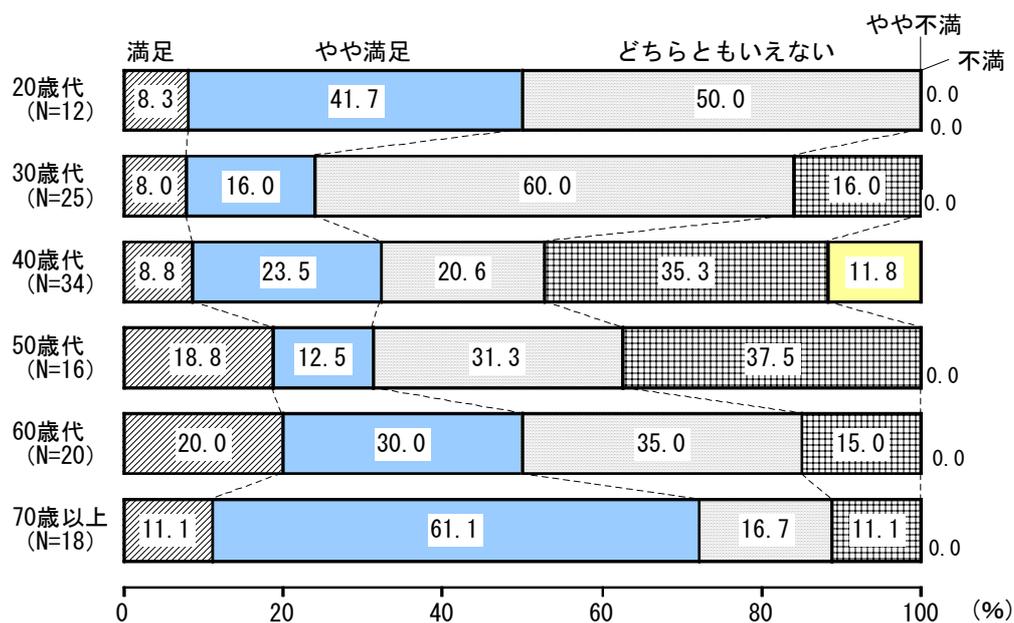
学校体育施設を利用したことがある人に施設に対する満足度をたずねたところ、満足している割合（「満足」「やや満足」の計）が40.1%に対し、不満である割合（「やや不満」「不満」の計）は25.1%となっている。（図表 5-2）

【図表 5-2-1 性別 学校体育施設の利用に対する満足度】



回答者の性別にみたところ、満足している割合（「満足」「やや満足」の計）、不満である割合（「やや不満」「不満」の計）ともに男性に比べて女性のほうが5ポイント以上高くなっている（図表 5-2-1）

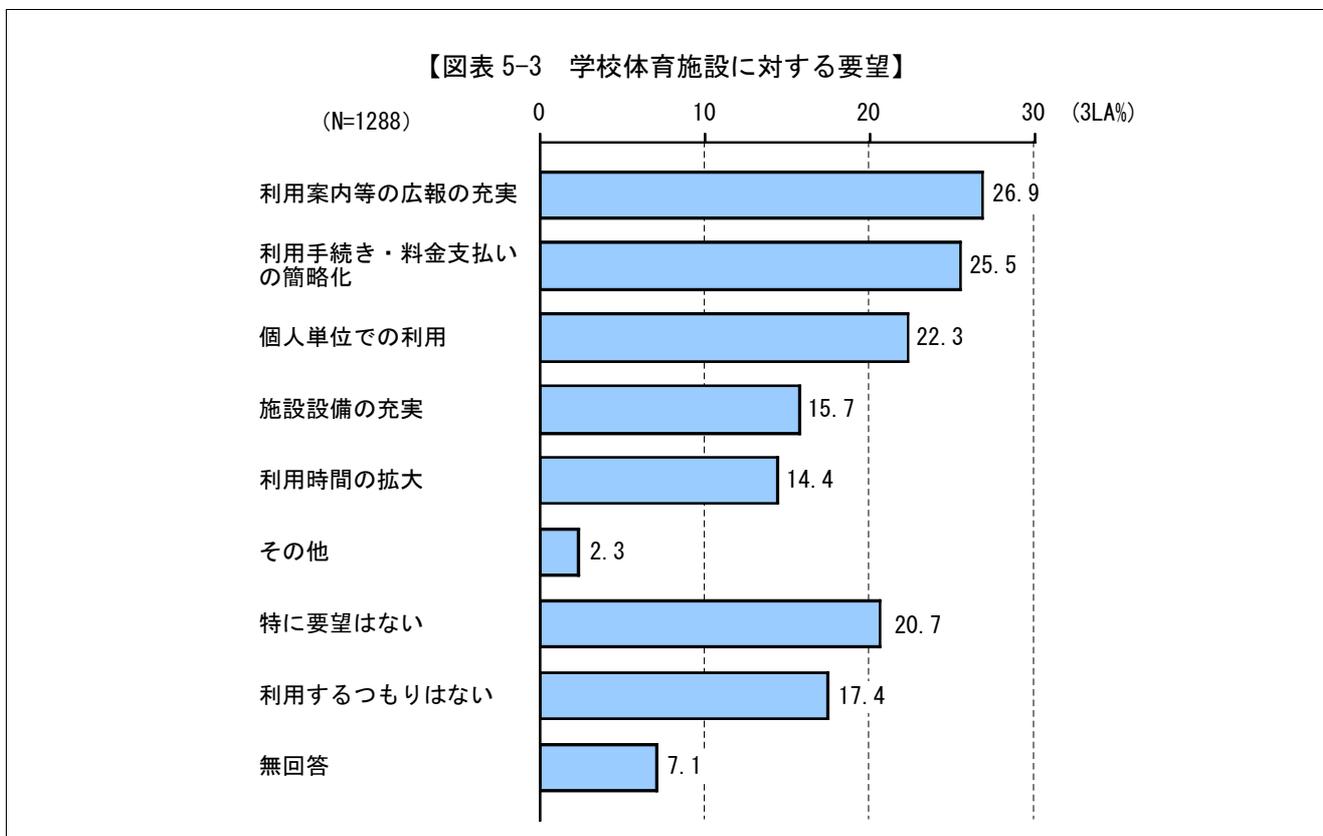
【図表 5-2-2 年齢別 学校体育施設の利用に対する満足度】



回答者の年齢構成別にみたところ、満足している割合が70歳以上で72.2%（13人）と最も高い。一方、不満である割合が40歳代で47.1%（16人）、50歳代で37.5%（6人）と、他の年齢層と比べて高くなっている。（図表 5-2-2）

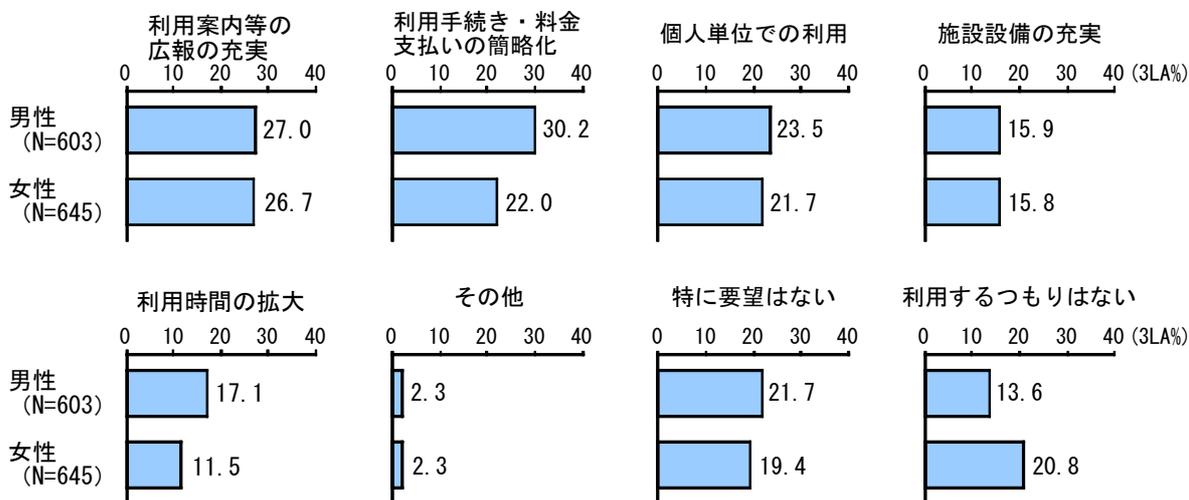
(2) 学校体育施設に対する要望

問 23 学校体育施設を利用する上で、どのようなことを望みますか。(〇は3つまで)



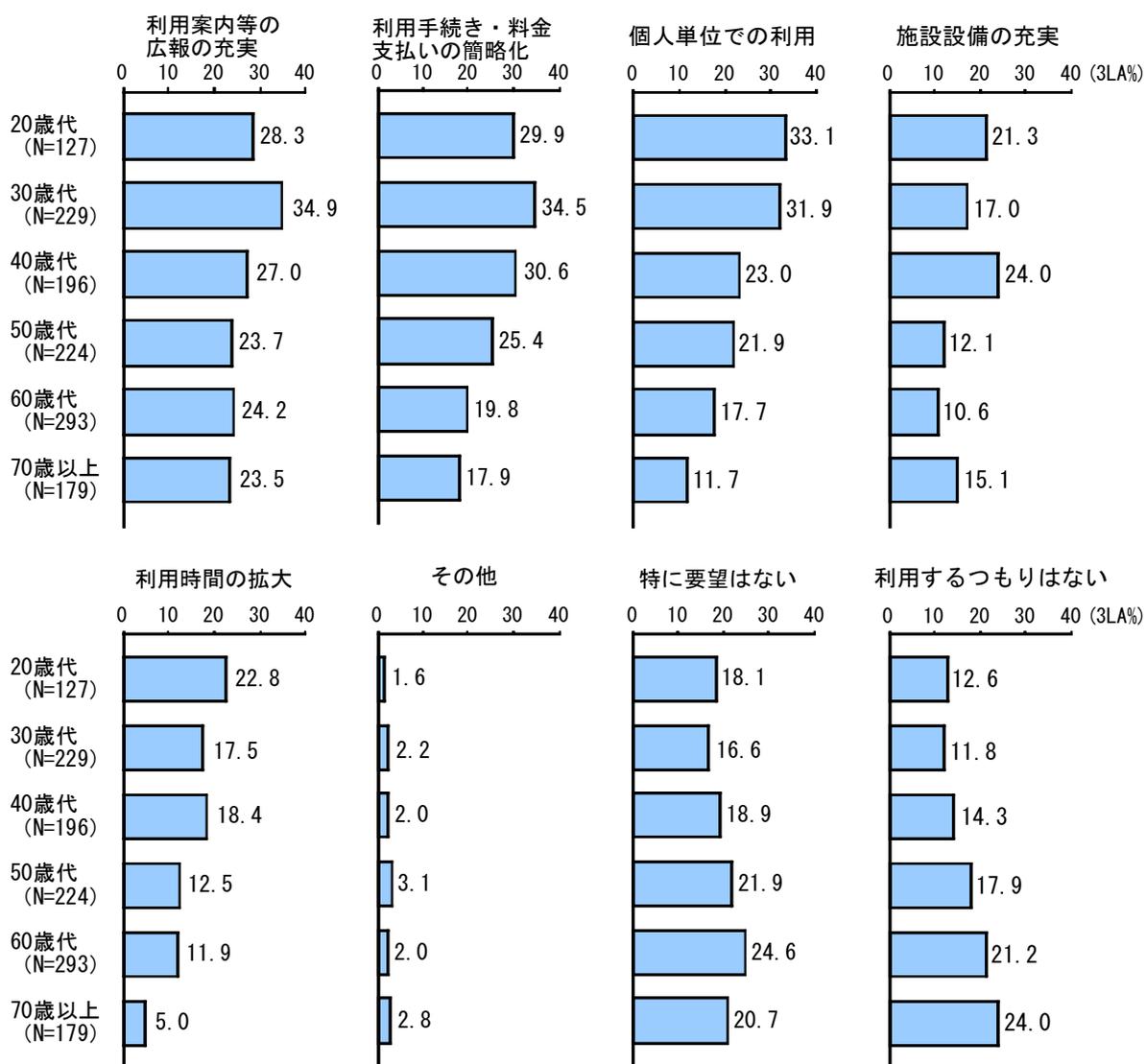
学校体育施設を利用する上で望むことをたずねたところ、「利用案内等の広報の充実」が26.9%と最も多く、次いで「利用手続き・料金支払いの簡略化」25.5%、「個人単位での利用」22.3%などとなっている。(図表 5-3)

【図表 5-3-1 性別 学校体育施設に対する要望】



回答者の性別にみたところ、男性・女性ともに「利用案内等の広報の充実」、「利用手続き・料金支払いの簡略化」、「個人単位での利用」が上位3項目を占めるなか、男性では「利用手続き・料金支払いの簡略化」が30.2%、女性では「利用案内等の広報の充実」が26.7%と、それぞれ最も高い。一方、「利用するつもりはない」が男性で13.6%に対し、女性で20.8%と、女性のほうが7.2ポイント高くなっている。(図表5-3-1)

【図表 5-3-2 年齢別 学校体育施設に対する要望】



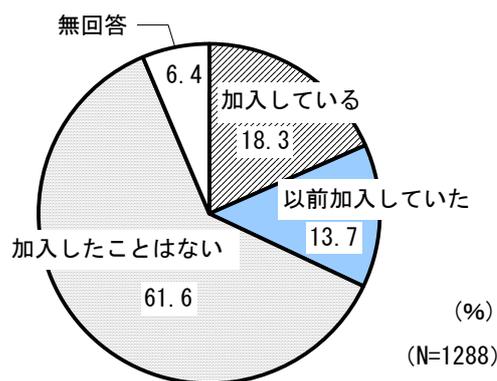
回答者の年齢構成別にみたところ、概ねいずれの項目においても、20～30歳代で割合が高くなっている。また、「利用するつもりはない」が概ね年齢が上がるにしたがって割合が高くなる傾向にある。(図表5-3-2)

## 6. クラブや同好会、教室について

### (1) クラブや同好会、教室の加入状況

問 24 あなたは、現在、運動やスポーツのクラブや同好会、教室などに加入していますか。  
(○は1つ)

【図表 6-1 クラブや同好会、教室の加入状況】



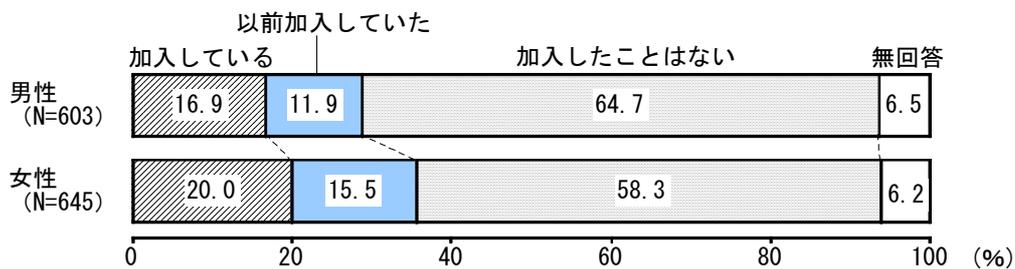
クラブや同好会、教室などへの加入状況をたずねたところ、「加入している」が 18.3%、「以前加入していた」が 13.7%に対し、「加入したことはない」が 61.6%を占める。(図表 6-1)

【図表 6-1-1 クラブや同好会、教室の加入状況 (※参考『前回調査』)】

(単位：%)	加入している	加入していない
(前回)	20.6	79.4

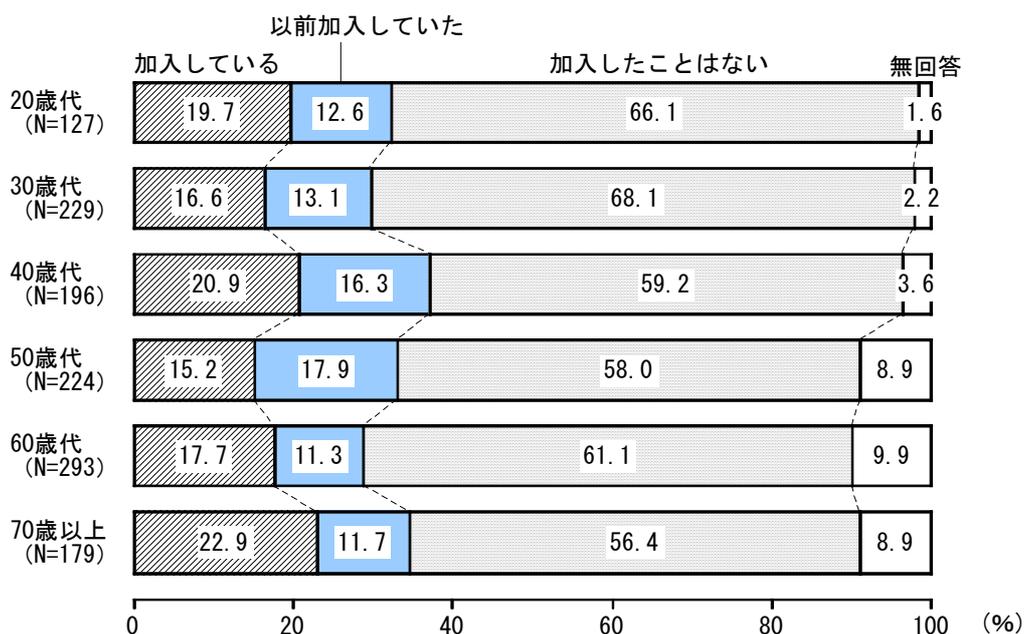
前回調査時とは選択肢項目が異なるため単純な比較は難しいが、現在、クラブや同好会、教室などに加入している人の割合が、“前回” 20.6%に対し、“今回” 18.3%と、2.3 ポイント減っている。(図表 6-1-1)

【図表 6-1-2 性別 クラブや同好会、教室の加入状況】



回答者の性別にみたところ、「加入している」が男性で 16.9%に対し、女性で 20.0%、また、「以前加入していた」が男性で 11.9%に対し、女性で 15.5%と、ともに女性のほうが 3ポイント以上高くなっている。(図表 6-1-2)

【図表 6-1-3 年齢別 クラブや同好会、教室の加入状況】



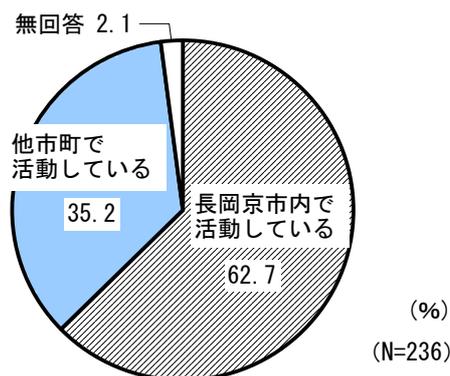
回答者の年齢構成別にみたところ、「加入している」が 70歳以上で 22.9%、40歳代で 20.9%、「以前加入していた」が 50歳代で 17.9%、40歳代で 16.3%と、それぞれ他の年齢層と比べて高くなっている。一方、「加入したことはない」は 30歳代で 68.1%、20歳代で 66.1%と高い。(図表 6-1-3)

(1) クラブや同好会、教室に加入している人の状況

① クラブや同好会、教室の活動場所

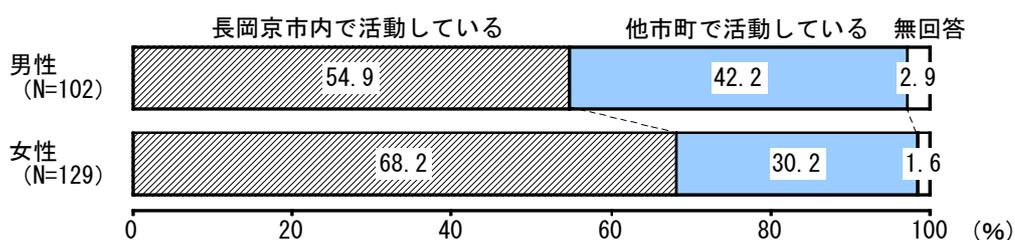
問 24-1 あなたが加入しているクラブや同好会、教室は主にどこで活動していますか。  
(○は1つだけ)

【図表 6-2 クラブや同好会、教室の活動場所】



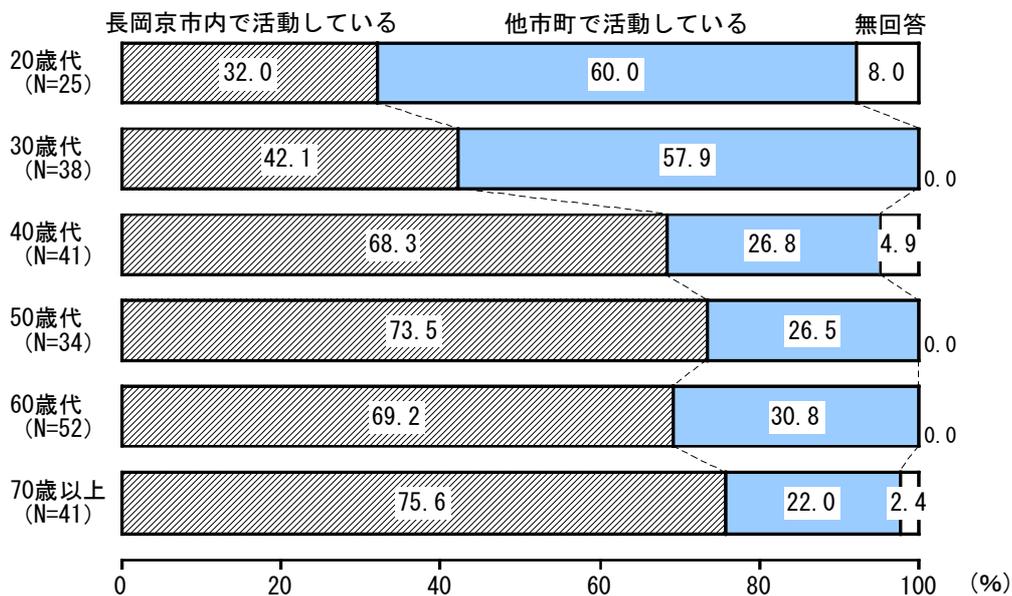
クラブや同好会、教室などに加入している人に活動場所をたずねたところ、「長岡京市内で活動している」が 62.7%に対し、「他市町で活動している」は 35.2%となっている。(図表 6-2)

【図表 6-2-1 性別 クラブや同好会、教室の活動場所】



回答者の性別にみたところ、「長岡京市内で活動している」が男性で 54.9%に対し、女性で 68.2%と、女性のほうが 13.3 ポイント高くなっている。(図表 6-2-1)

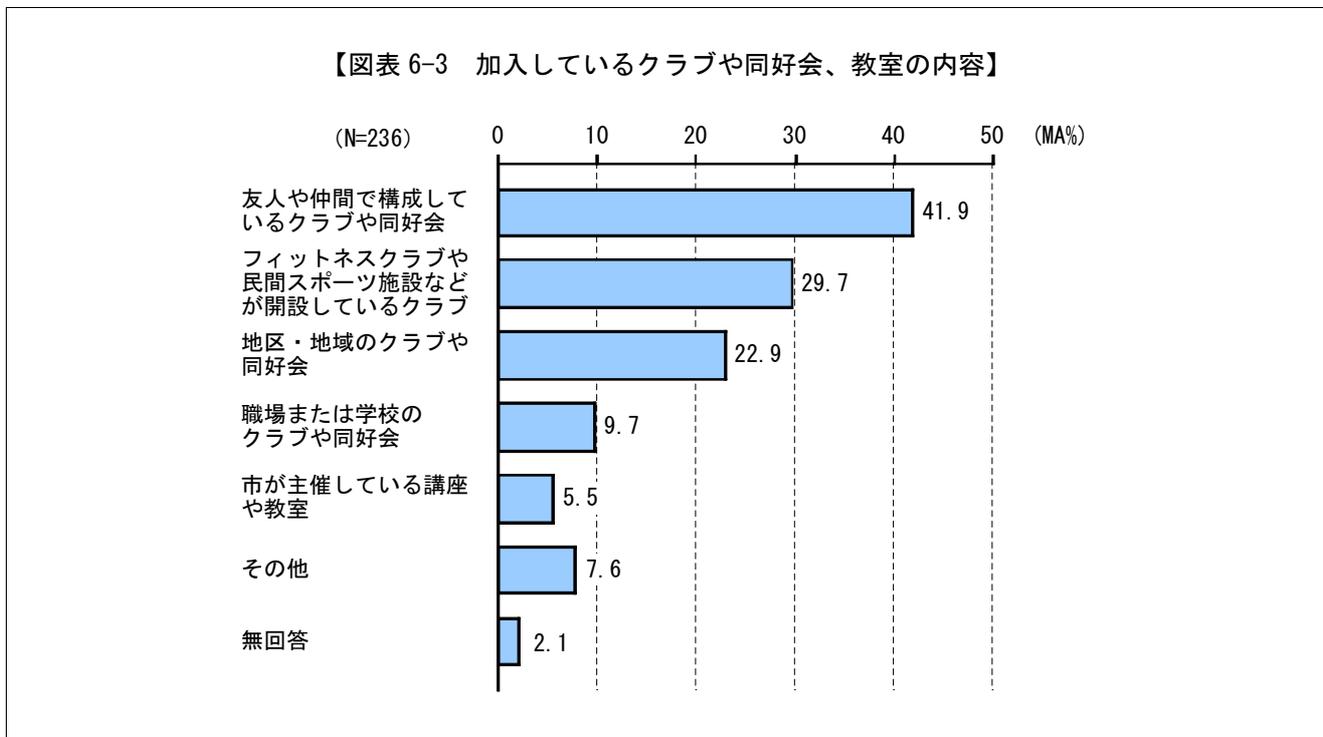
【図表 6-2-2 年齢別 クラブや同好会、教室の活動場所】



回答者の年齢構成別にみとところ、「長岡京市内で活動している」が40歳以上で6～7割台と高くなっている。一方、「他市町で活動している」が20～30歳代で約6割みられる。(図表 6-2-2)

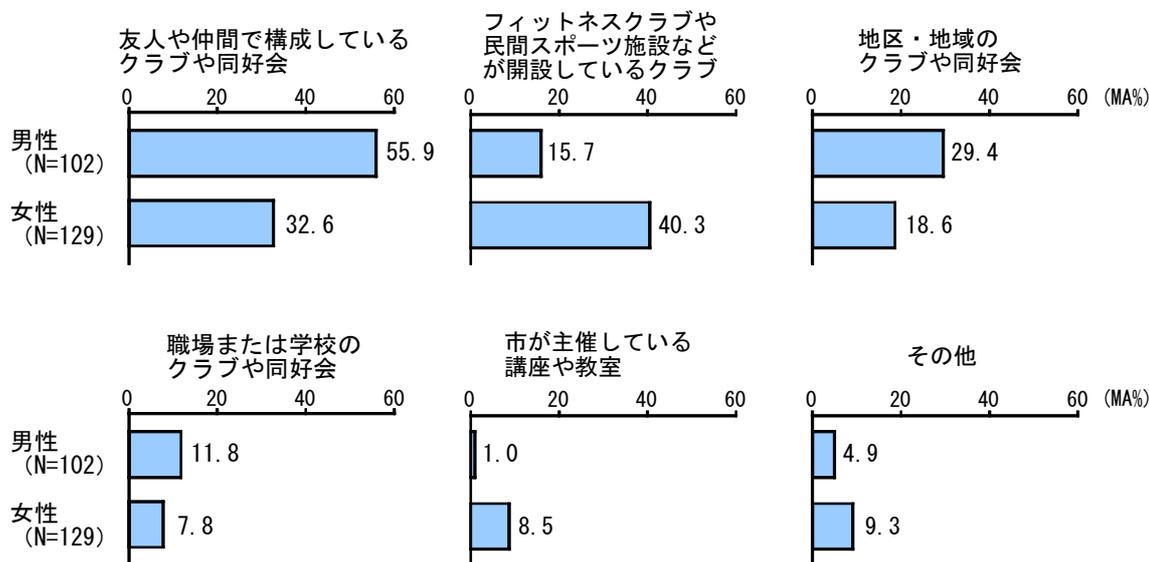
②加入しているクラブや同好会、教室の内容

問 24-2 どのようなクラブや同好会、教室に加入していますか。(〇はいくつでも)



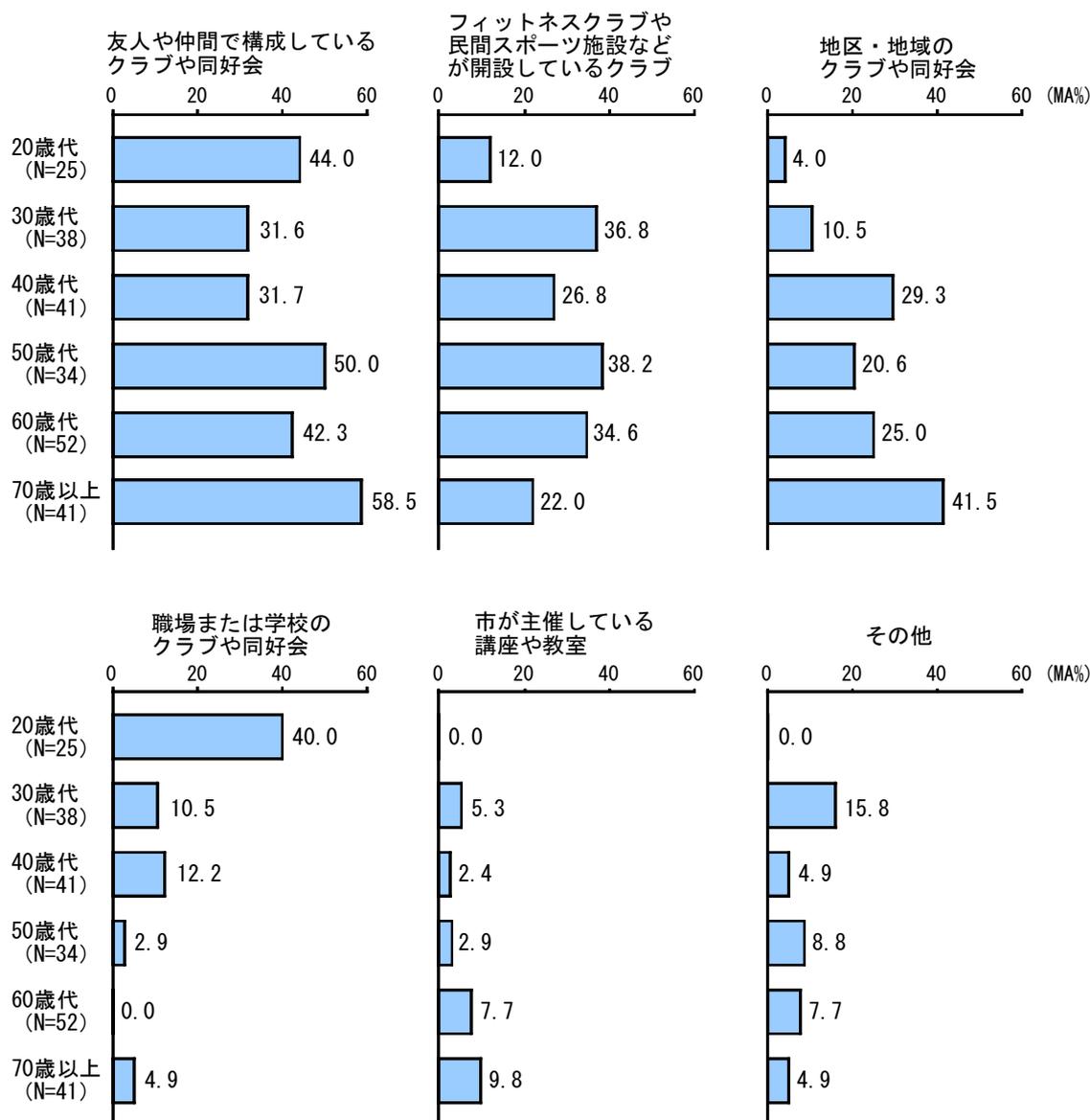
加入しているクラブや同好会、教室の内容をたずねたところ、「友人や仲間で構成しているクラブや同好会」が41.9%と最も多く、次いで「フィットネスクラブや民間スポーツ施設などが開設しているクラブ」29.7%、「地区・地域のクラブや同好会」22.9%などとなっている。  
(図表 6-3)

【図表 6-3-1 性別 加入しているクラブや同好会、教室の内容】



回答者の性別にみたところ、男性では「友人や仲間で構成しているクラブや同好会」が55.9%、女性では「フィットネスクラブや民間スポーツ施設などが開設しているクラブ」が40.3%と、それぞれ最も高くなっている。(図表 6-3-1)

【図表 6-3-2 年齢別 加入しているクラブや同好会、教室の内容】

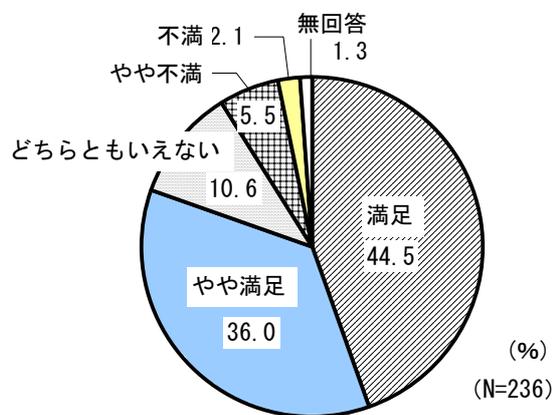


回答者の年齢構成別にみたところ、70歳以上において「友人や仲間で構成しているクラブや同好会」が58.5%、「地区・地域のクラブや同好会」が41.5%、20歳代において「職場または学校のクラブや同好会」が40.0%と、それぞれ他の年齢層と比べて高くなっている。(図表 6-3-2)

③クラブや同好会、教室に対する満足度

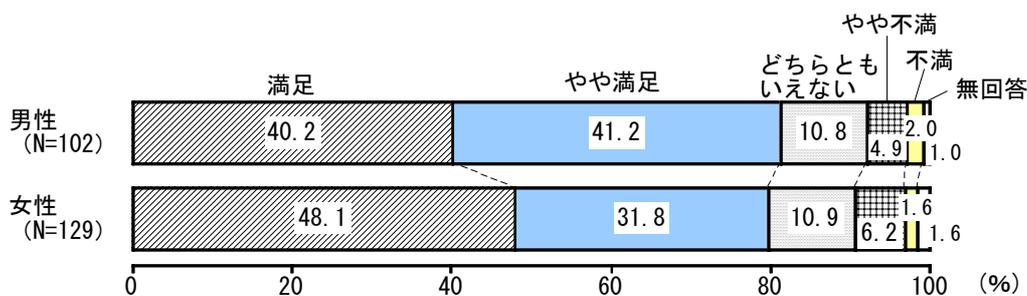
問 24-3 加入しているクラブや同好会、教室に満足していますか。(○は1つ)

【図表 6-4 クラブや同好会、教室に対する満足度】



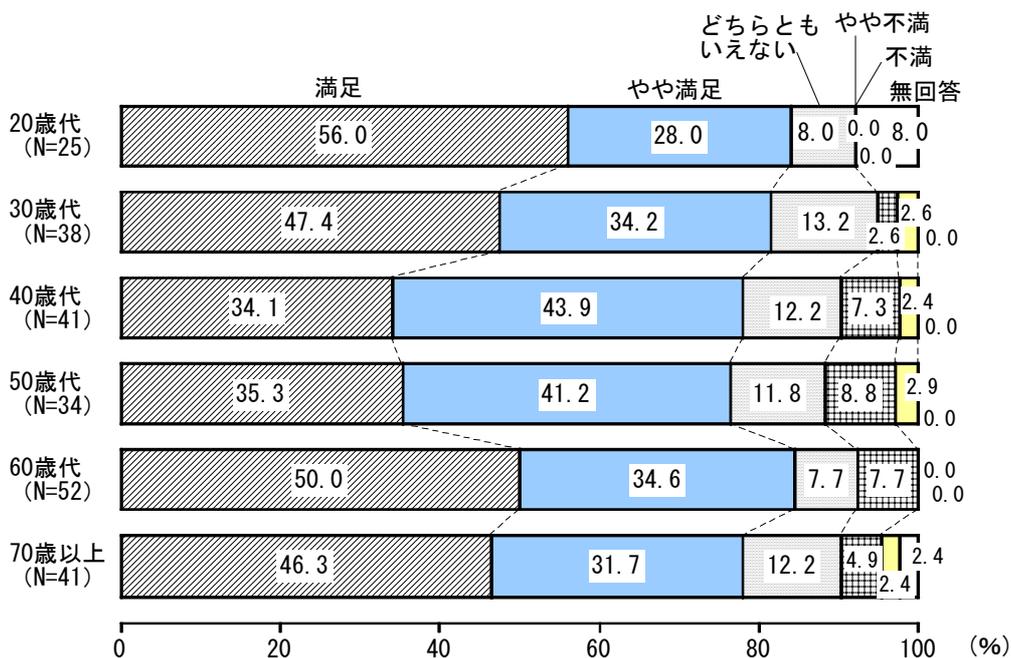
加入しているクラブや同好会、教室に対する満足度をたずねたところ、「満足」が 44.5% ともっと多く、次いで多い「やや満足」(36.0%) を合わせると、満足している割合が約 8 割 (80.5%) を占める。(図表 6-4)

【図表 6-4-1 性別 クラブや同好会、教室に対する満足度】



回答者の性別にみたところ、満足している割合(「満足」「やや満足」の計)は男性・女性ともに 8 割前後と差はみられないものの、「満足」の割合が男性 40.2% に対し、女性 48.1% と、女性のほうが 7.9 ポイント高くなっている。(図表 6-4-1)

【図表 6-4-2 年齢別 クラブや同好会、教室に対する満足度】

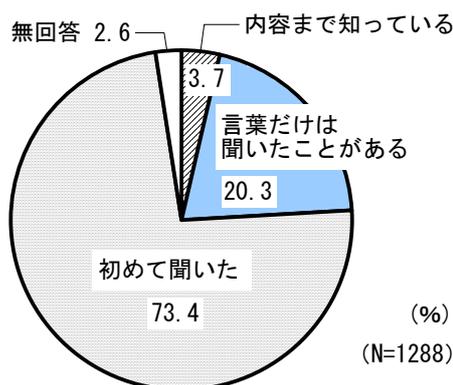


回答者の年齢構成別にみたところ、満足している割合が60歳代で84.6%、20歳代で84.0%、30歳代で81.6%と高くなっている。一方、不満である割合（「やや不満」「不満」の計）が40～60歳代で1割前後みられる。（図表 6-4-2）

(2) 総合型地域スポーツクラブの認知度

問 25 平成 12 年 9 月に文部省（現 文部科学省）が「スポーツ振興基本計画」を策定しました。この計画では、全国の各市区町村に少なくとも 1 か所の総合型地域スポーツクラブを育成することを目標としています。あなたは、この「総合型地域スポーツクラブ」について知っていますか。（○は 1 つ）

【図表 6-5 総合型地域スポーツクラブの認知度】



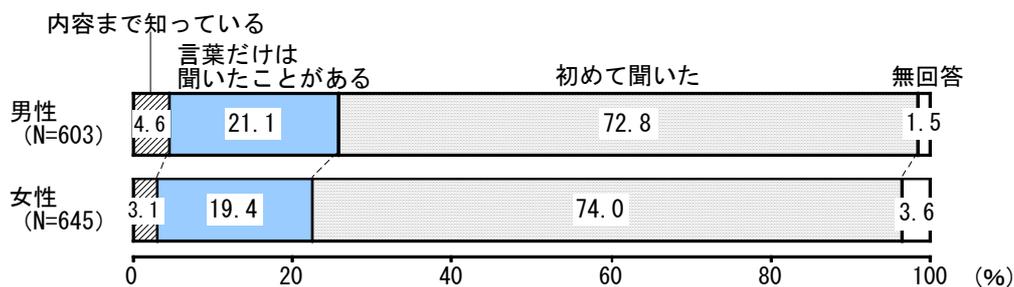
総合型地域スポーツクラブについて、「初めて聞いた」が 73.4%を占め、「言葉だけは聞いたことがある」は 20.3%、「内容まで知っている」は 3.7%にとどまっている。（図表 6-5）

【図表 6-5-1 総合型地域スポーツクラブの認知度（※参考『前回調査』）】

(単位：%)	よく知っている	まあまあ知っている	あまり知らない	まったく知らない	わからない
(前回)	1.5	5.5	21.0	64.2	7.8

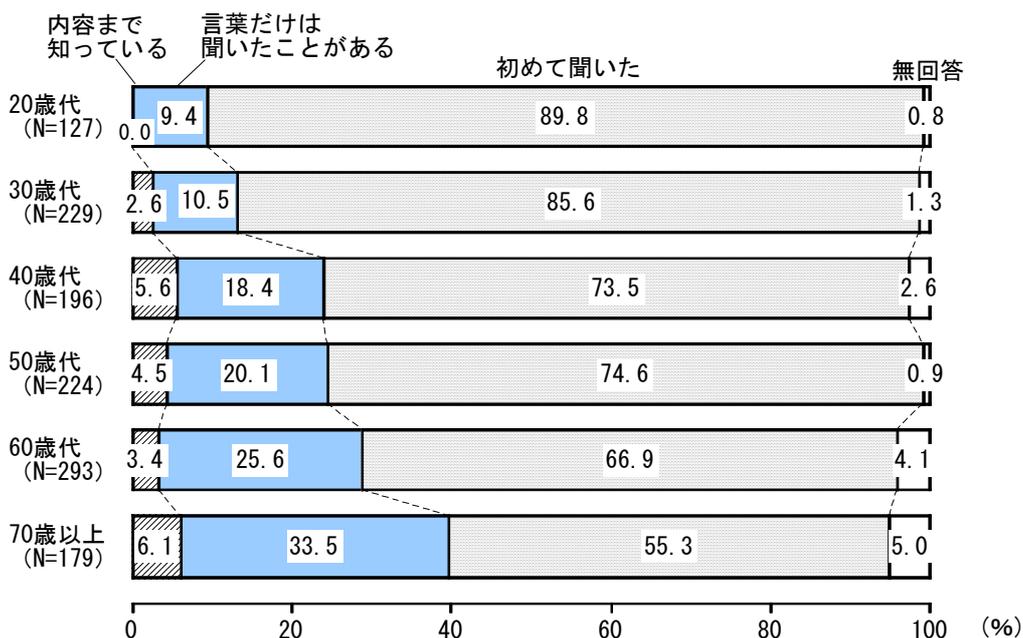
前回調査時とは選択肢項目が異なるため単純な比較は難しい。（図表 6-5-1）

【図表 6-5-2 性別 総合型地域スポーツクラブの認知度】



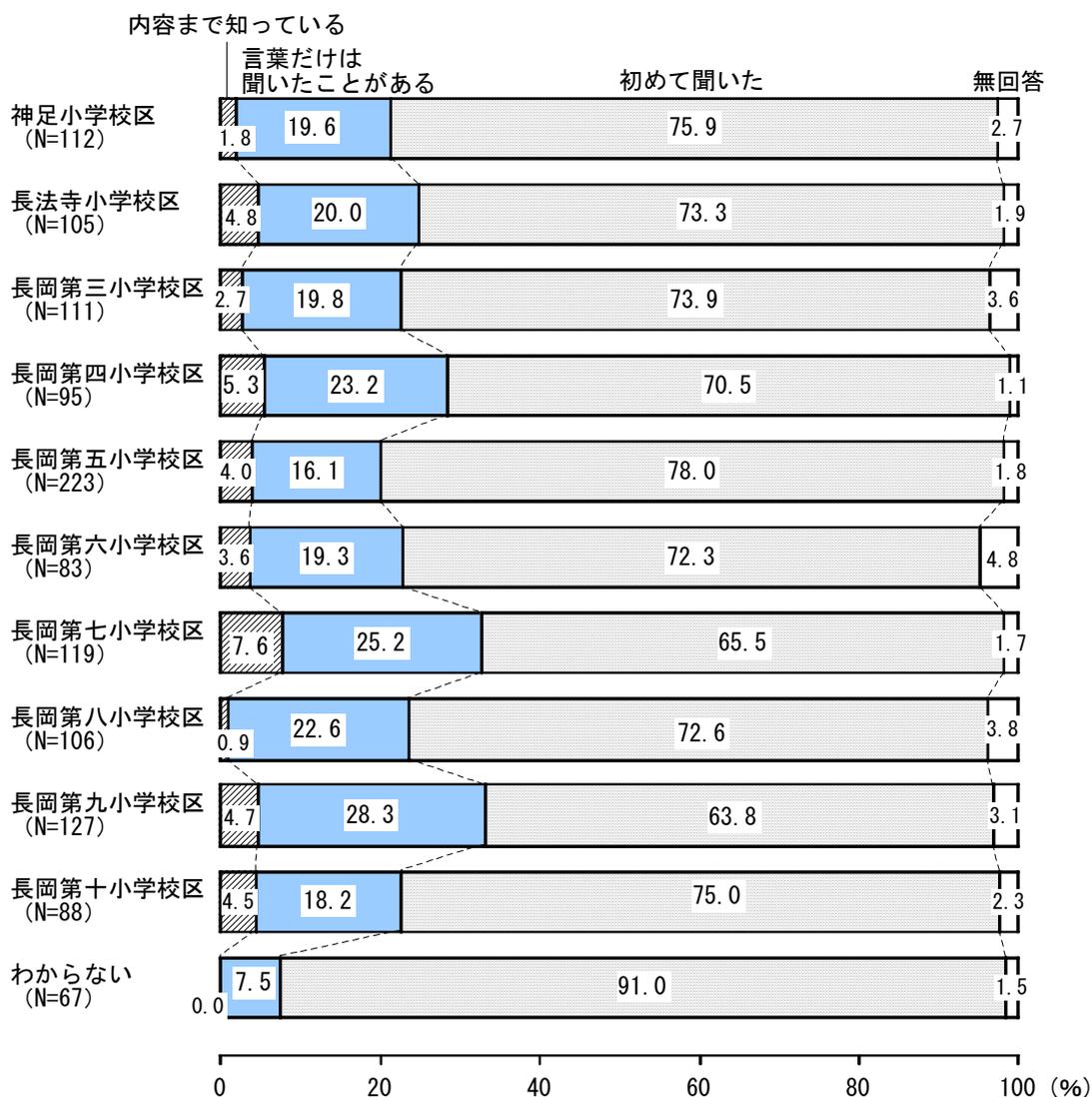
回答者の性別にみたところ、「内容まで知っている」が男性で4.6%に対し、女性で3.1%、一方、「初めて聞いた」が男性で72.8%に対し、女性で74.0%と、男性のほうがやや認知度は高くなっている。(図表 6-5-2)

【図表 6-5-3 年齢別 総合型地域スポーツクラブの認知度】



回答者の年齢構成別にみたところ、「内容まで知っている」が70歳以上で6.1%、40歳代で5.6%と、やや高い。一方、「初めて聞いた」が20歳代で89.8%、30歳代で85.6%と高くなっている。(図表 6-5-3)

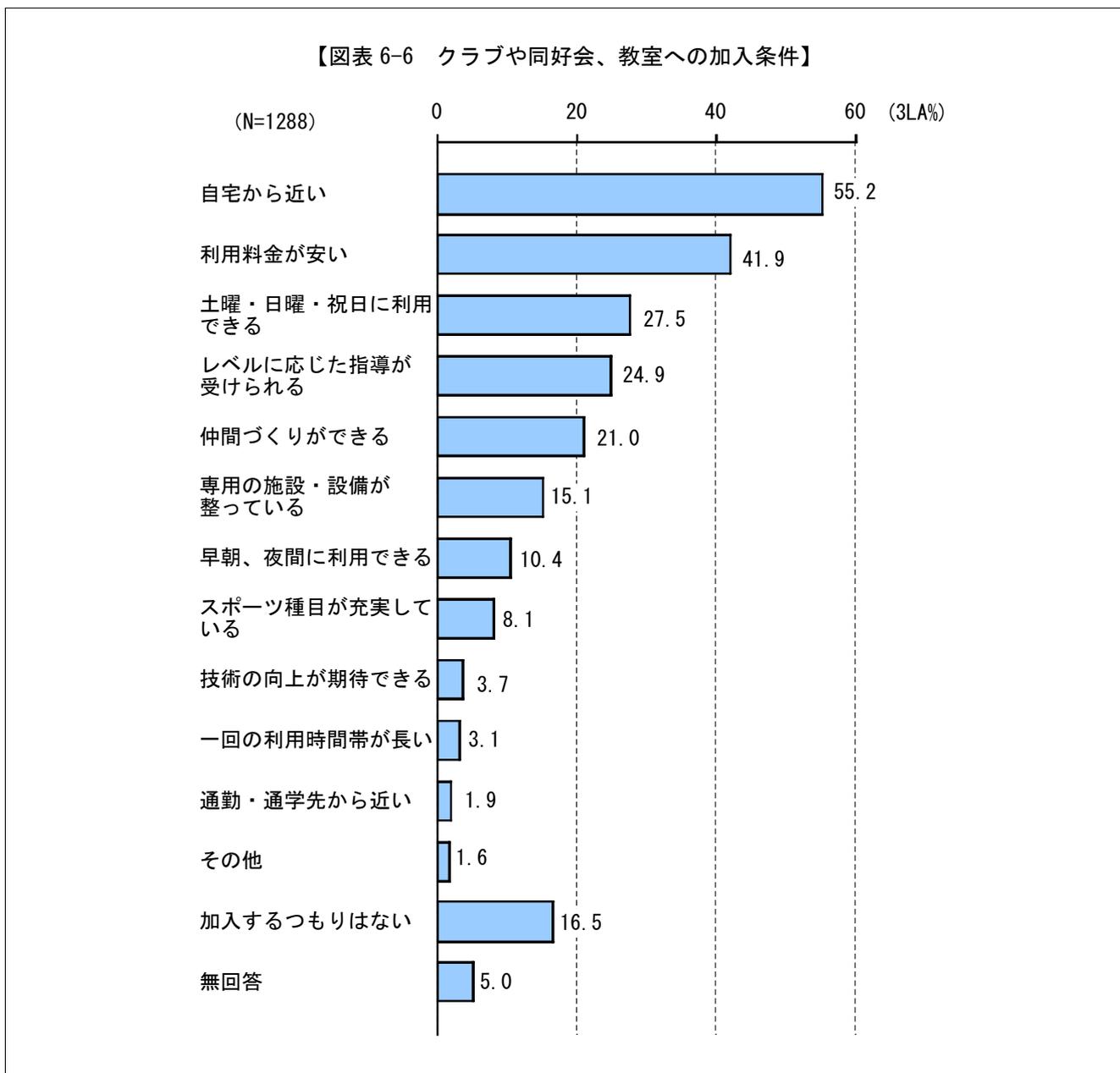
【図表 6-5-4 住まい別 総合型地域スポーツクラブの認知度】



住まい（小学校区）別にみたところ、「内容まで知っている」が長岡第七小学校区に住む人で7.6%、長岡第四小学校区に住む人で5.3%とやや高い。一方、「初めて聞いた」が長岡第五小学校区に住む人で78.0%と最も高く、次いで神足小学校区に住む人で75.9%、長岡第十小学校区に住む人で75.0%の順となっている。（図表 6-5-4）

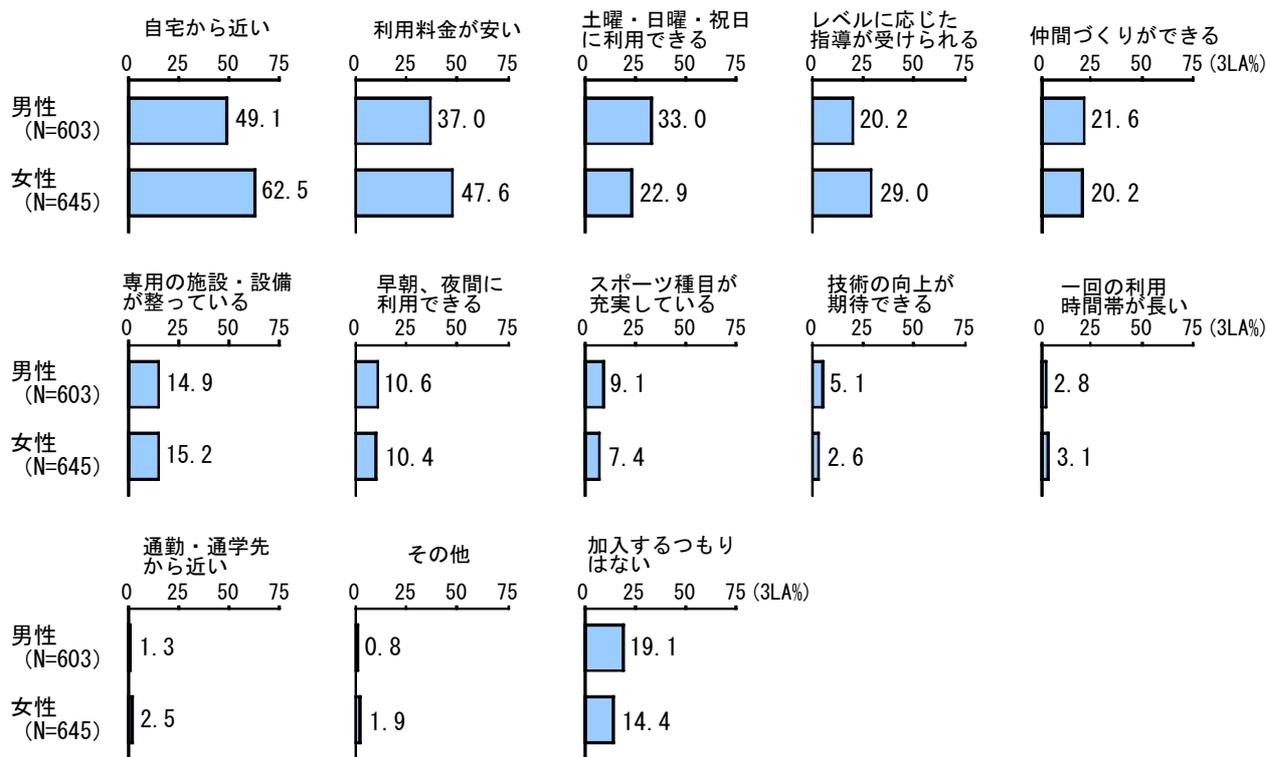
(3) クラブや同好会、教室への加入条件

問 26 加入したいと思うクラブや同好会、教室の条件は何ですか。(〇は3つまで)



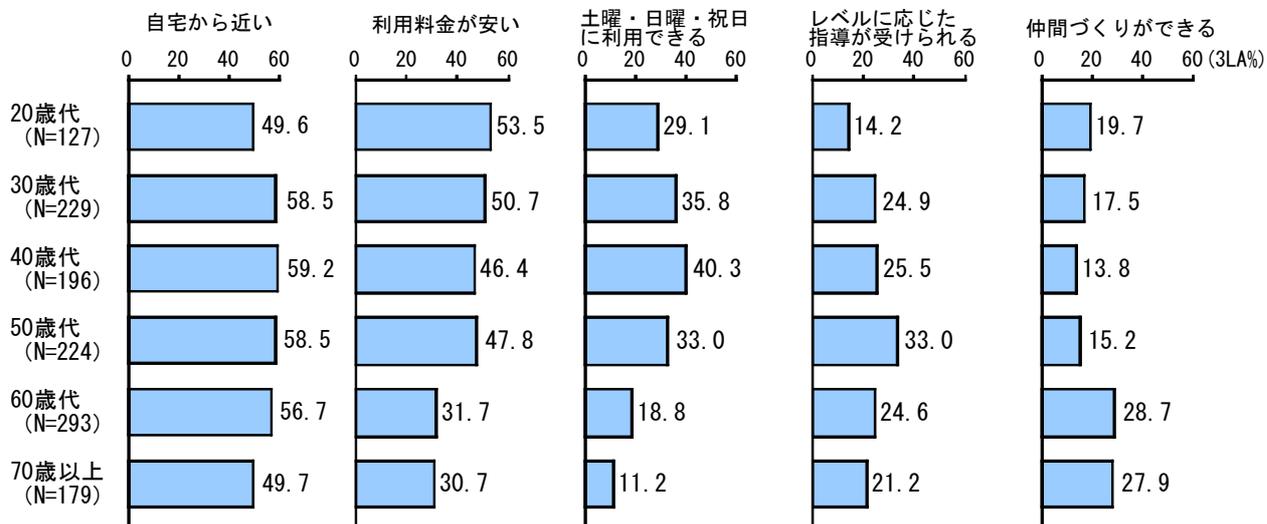
加入したいと思うクラブや同好会、教室などの条件をたずねたところ、「自宅から近い」が55.2%と最も多く、次いで「利用料金が安い」41.9%、「土曜・日曜・祝日に利用できる」27.5%、「レベルに応じた指導が受けられる」24.9%などとなっている。(図表 6-6)

【図表 6-6-1 性別 クラブや同好会、教室への加入条件】

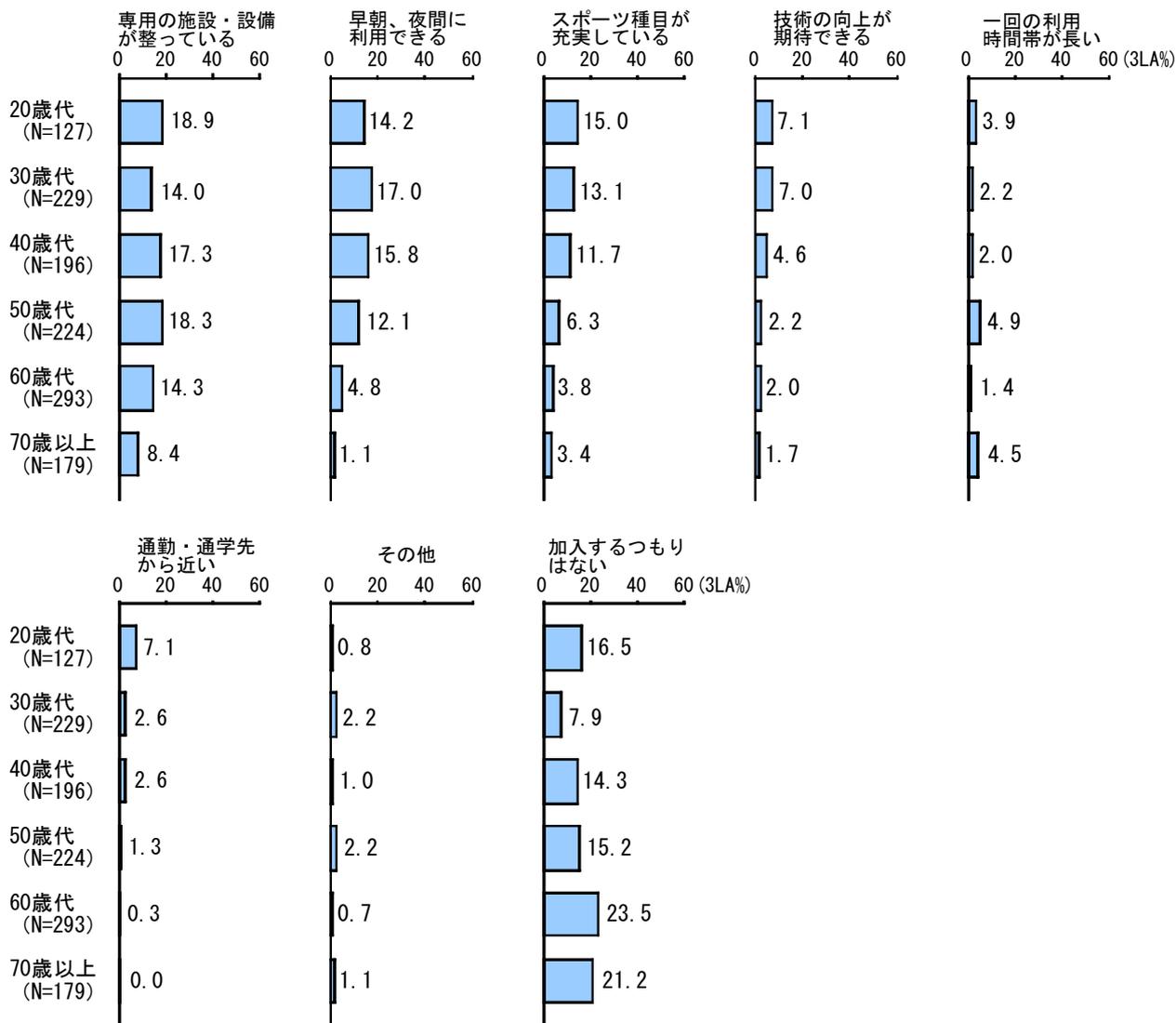


回答者の性別にみたところ、男性・女性ともに「自宅から近い」（男性 49.1%、女性 62.5%）が最も高く、次いで「利用料金が安い」（男性 37.0%、女性 47.6%）となっているものの、いずれも女性のほうが男性に比べて 10 ポイント以上高くなっている。また、これに続くのが男性では「土曜・日曜・祝日に利用できる」で 33.0%、女性では「レベルに応じた指導が受けられる」で 29.0%などとなっている。（図表 6-6-1）

【図表 6-6-2 年齢別 クラブや同好会、教室への加入条件】



II 調査結果 ～6. クラブや同好会、教室について～

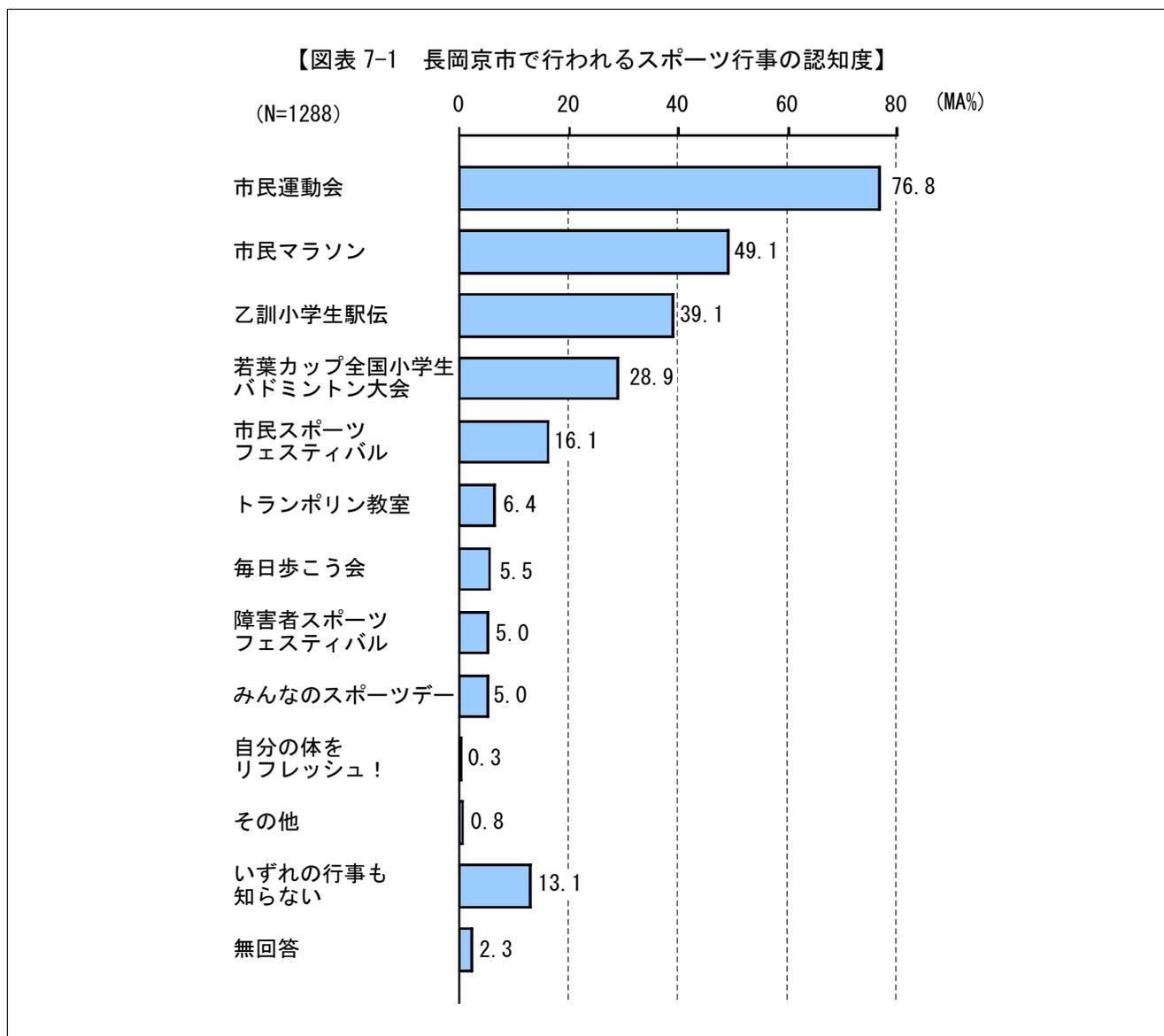


回答者の年齢構成別にみたところ、「利用料金が安い」が20～30歳代で5割台、「仲間づくりができる」が60歳以上で3割弱と、他の年齢層と比べて高くなっている。また、30～40歳代において「土曜・日曜・祝日に利用できる」や「早朝、夜間に利用できる」などの利用時間帯の拡大に関する項目の割合が高い。(図表 6-6-2)

## 7. 市内のスポーツ行事及び団体について

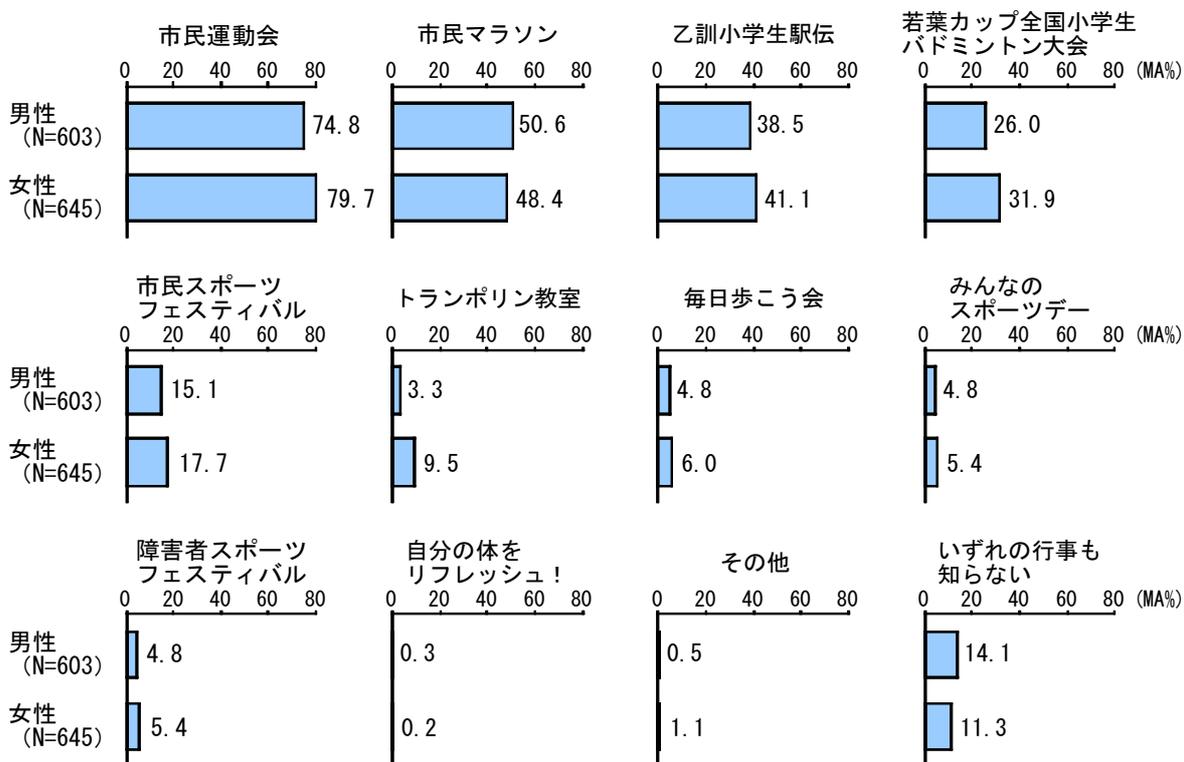
### (1) 長岡京市で行われるスポーツ行事の認知度

問 27 あなたは、長岡京市で行われるスポーツ行事を知っていますか。(〇はいくつでも)



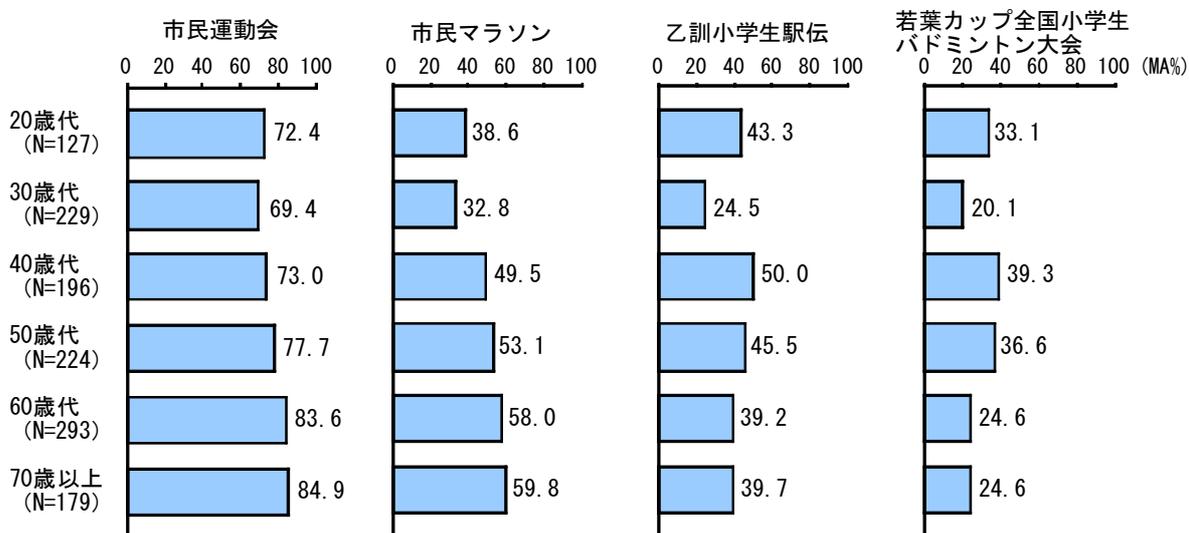
長岡京市で行われるスポーツ行事をたずねたところ、「市民運動会」が76.8%と最も多く、次いで「市民マラソン」49.1%、「乙訓小学生駅伝」39.1%などとなっている。(図表 7-1)

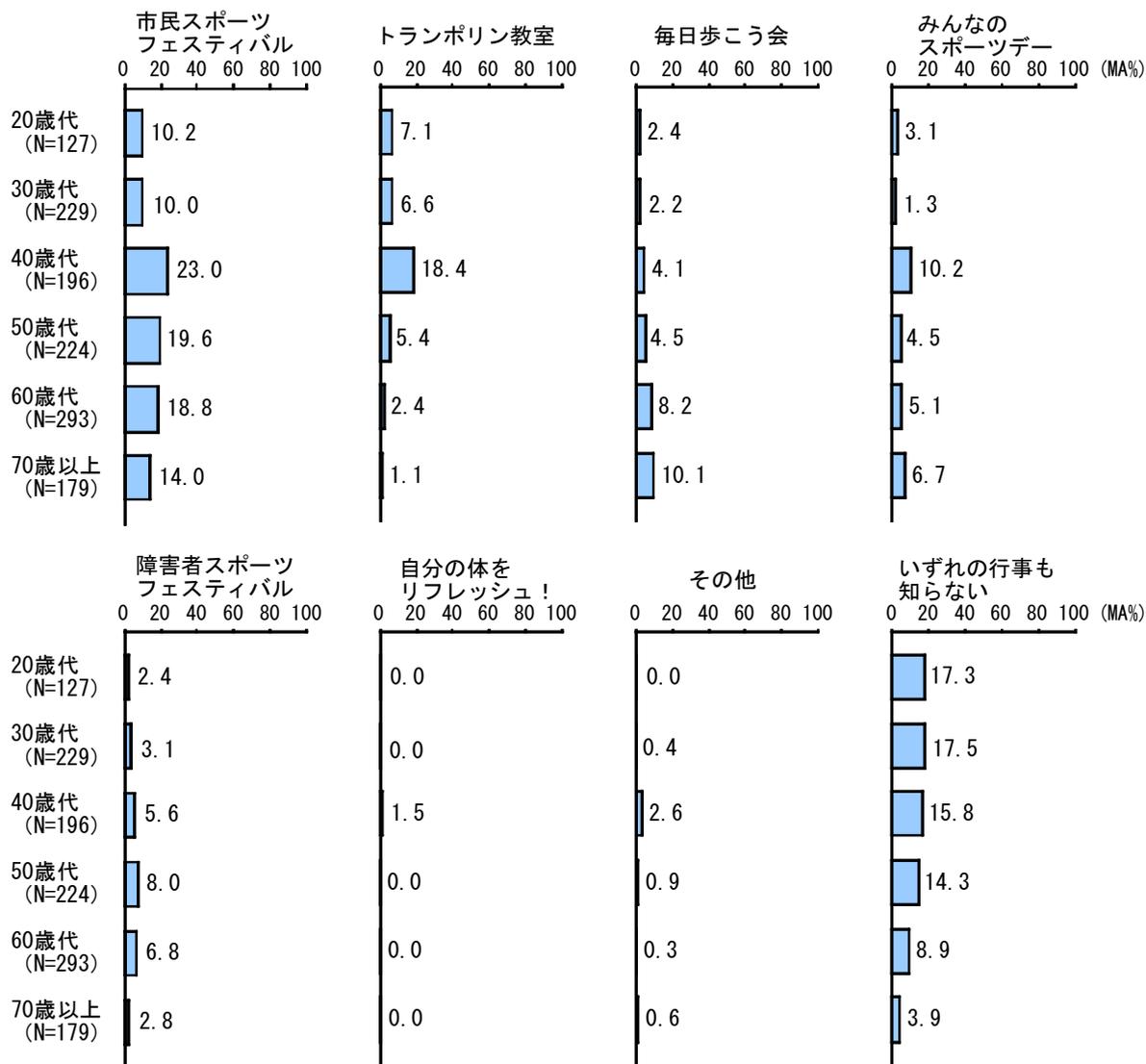
【図表 7-1-1 性別 長岡京市で行われるスポーツ行事の認知度】



回答者の性別にみたところ、男性・女性ともに「市民運動会」が7割台と最も高く、次いで「市民マラソン」5割前後、「乙訓小学生駅伝」4割前後などとなっている。男女間での差はさほどみられない。(図表 7-1-1)

【図表 7-1-2 年齢別 長岡京市で行われるスポーツ行事の認知度】

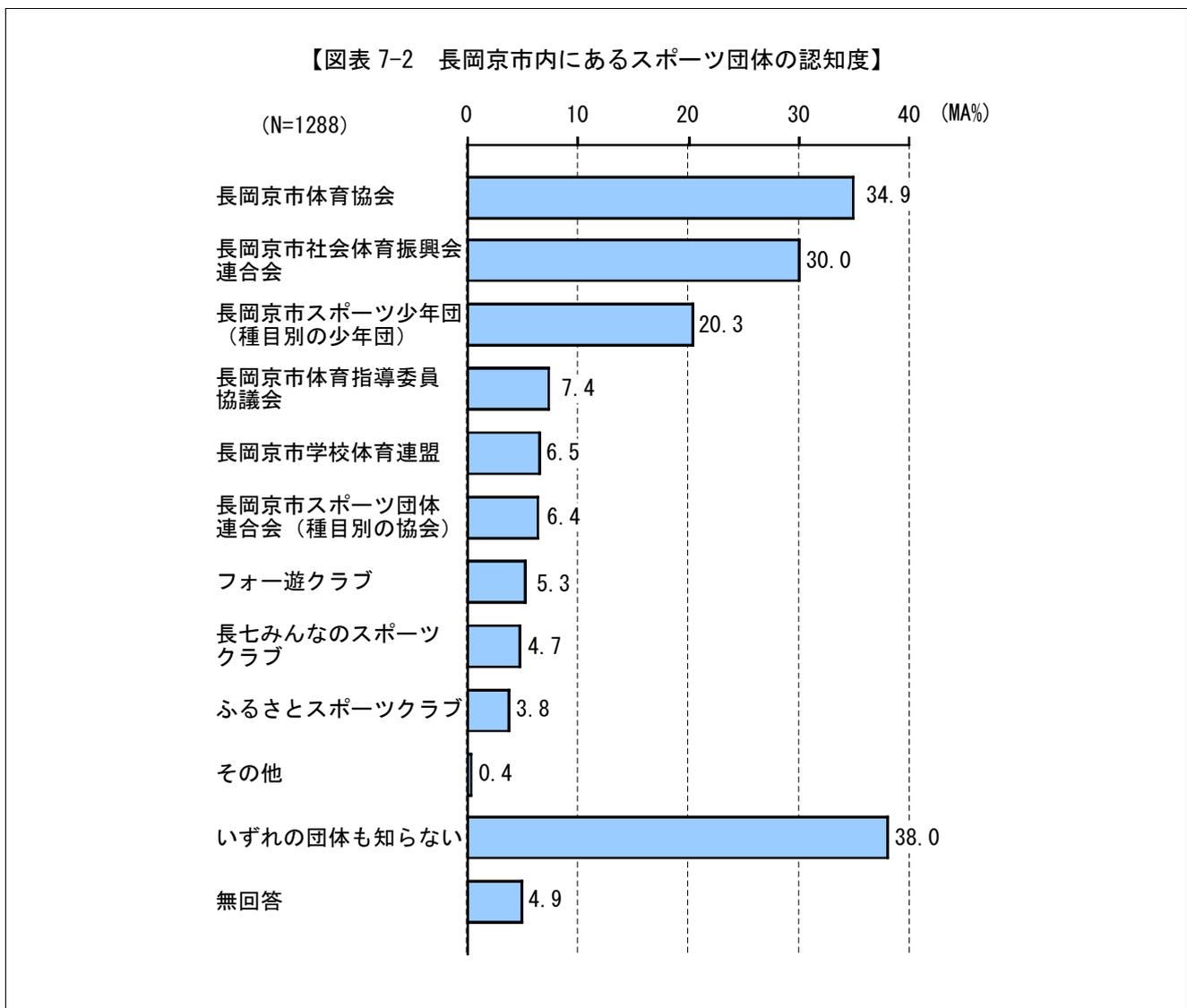




回答者の年齢構成別にみたところ、60歳以上において「市民運動会」が8割台、「市民マラソン」が6割弱と高い。また、他の項目については、概ね40歳代において割合が最も高くなっている。(図表 7-1-2)

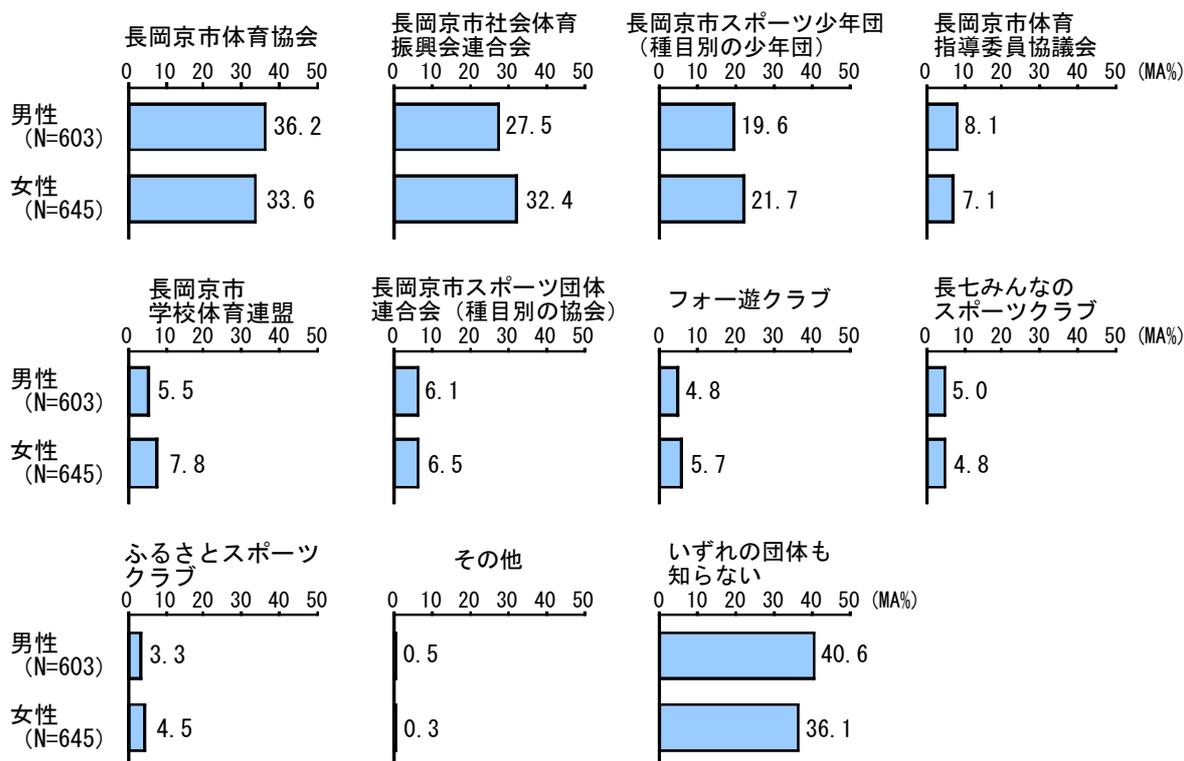
(2) 長岡京市内にあるスポーツ団体の認知度

問 28 あなたは、長岡京市内にあるスポーツに関する団体を知っていますか。(〇はいくつでも)



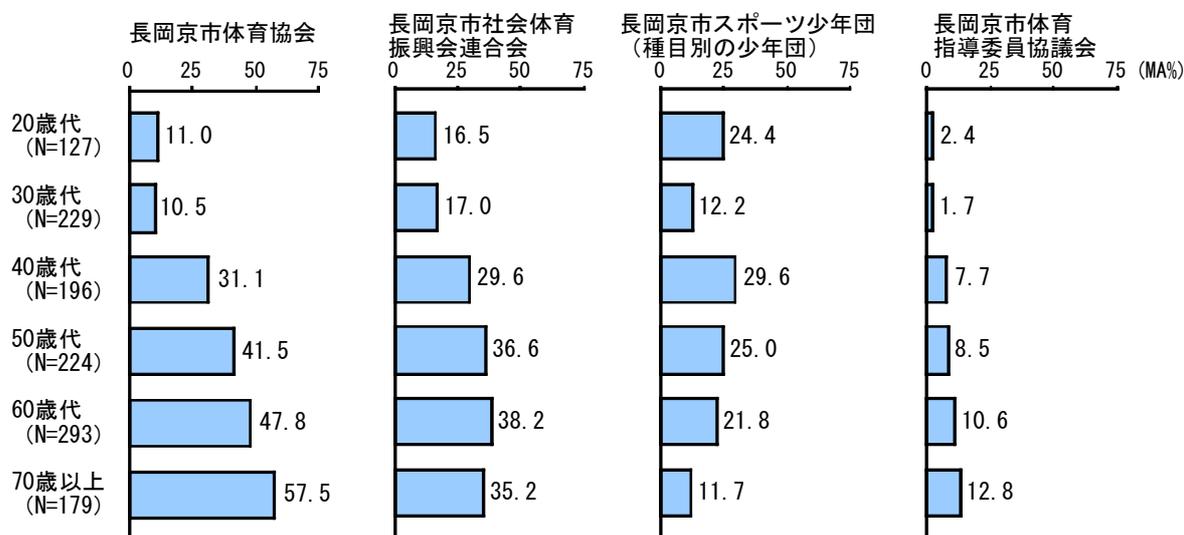
長岡京市内にあるスポーツに関する団体をたずねたところ、「長岡京市体育協会」が 35.9% と多く、次いで「長岡京市社会体育振興会連合会」30.0%、「長岡京市スポーツ少年団 (種目別の少年団)」20.3%などとなっている。(図表 7-2)

【図表 7-2-1 性別 長岡市内にあるスポーツ団体の認知度】

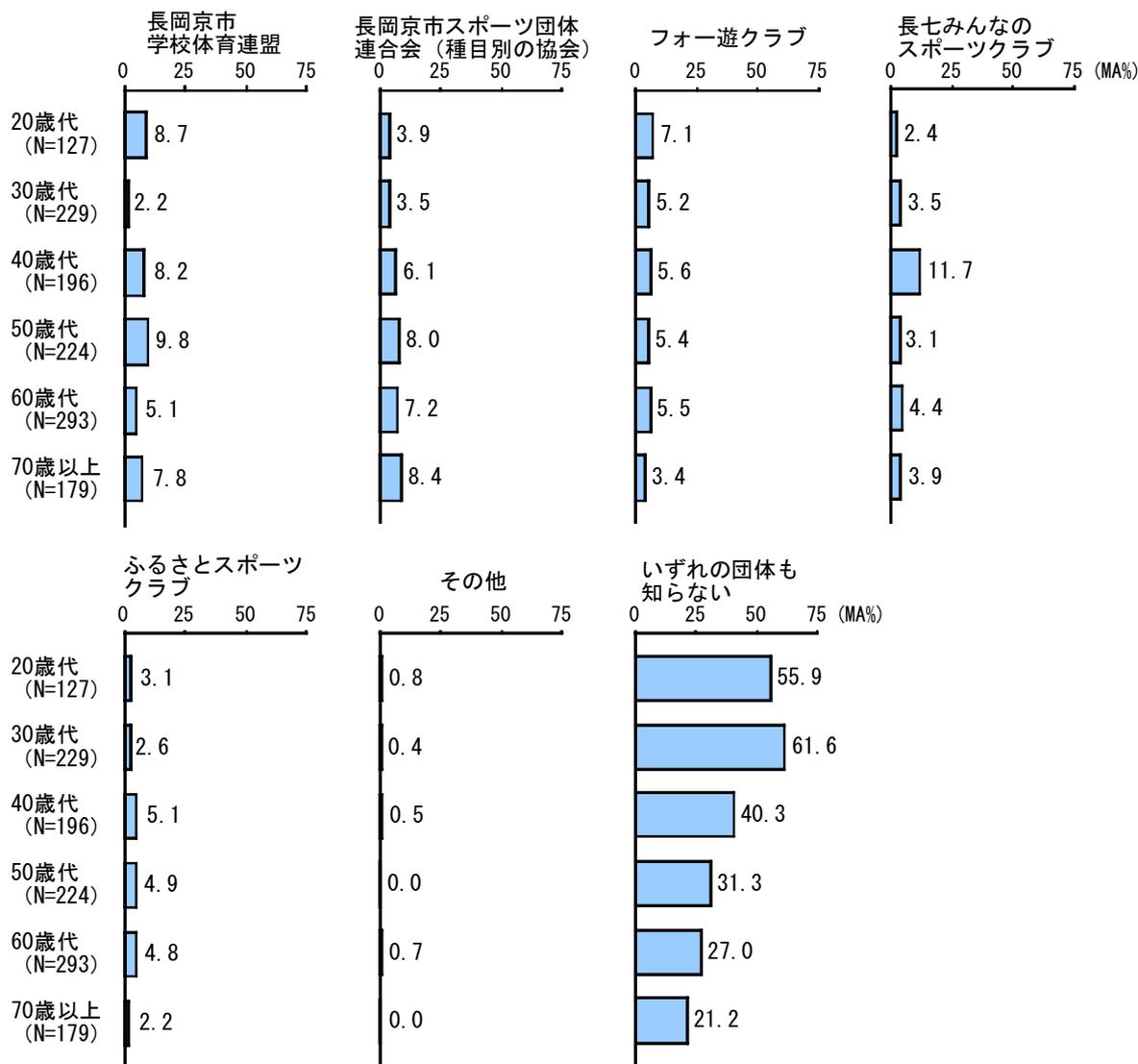


回答者の性別にみたところ、男性・女性ともに「長岡京市体育協会」が3割台と最も高く、次いで「長岡京市社会体育振興会連合会」が3割前後、「長岡京市スポーツ少年団（種目別の少年団）」が2割前後などとなっている。一方、「いずれの団体も知らない」が男性で40.6%、女性で36.1%みられる。（図表 7-2-1）

【図表 7-2-2 年齢別 長岡市内にあるスポーツ団体の認知度】

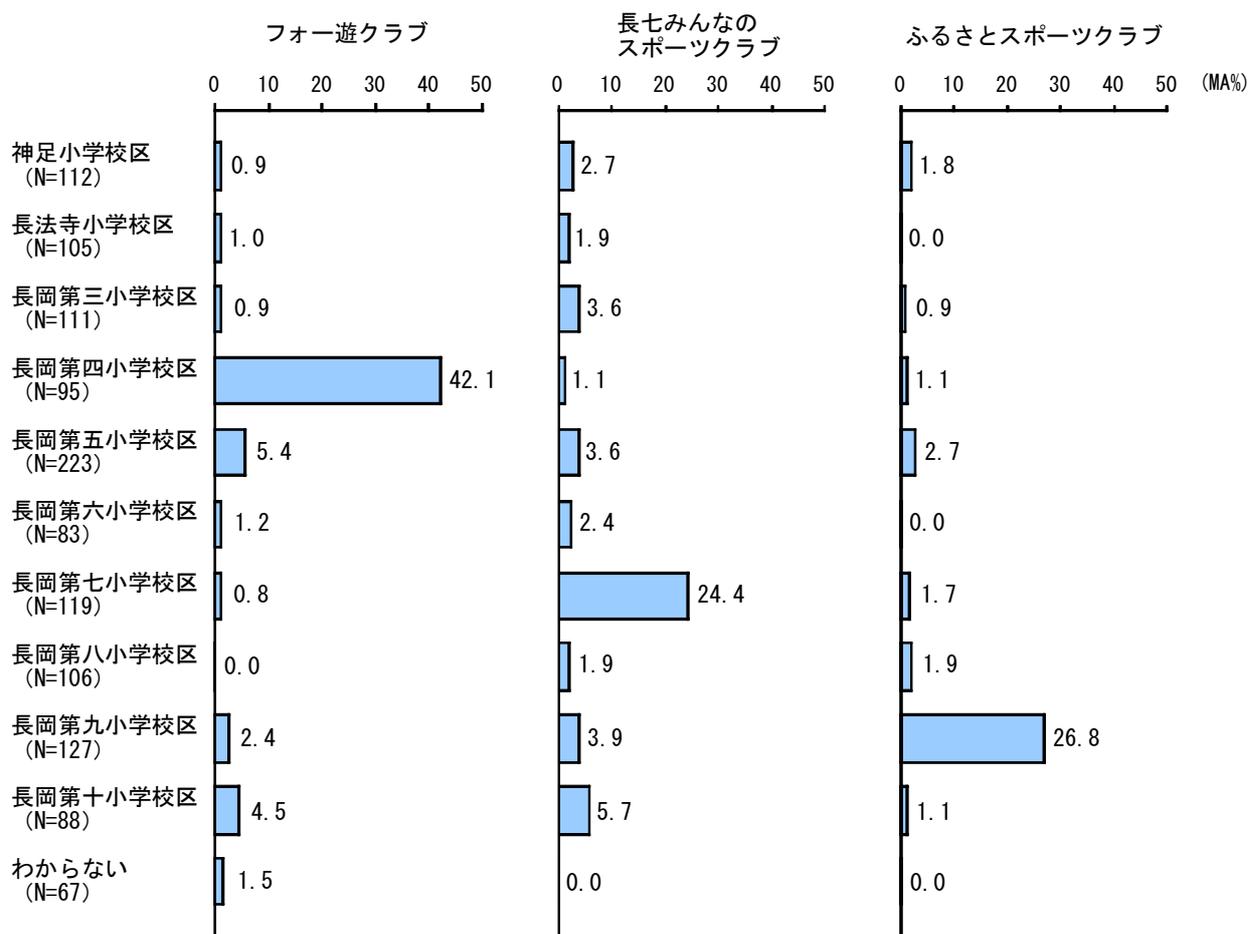


II 調査結果 ～7. 市内のスポーツ行事及び団体について～



回答者の年齢構成別にみたところ、70歳以上において「長岡京市体育協会」が57.5%、60歳代において「長岡京市社会体育振興会連合会」が38.2%、40歳代において「長岡京市スポーツ少年団（種目別の少年団）」が29.6%、「長七みんなのスポーツクラブ」が11.7%と、それぞれ他の年齢層と比べて高くなっている。一方、「いずれの団体も知らない」が30歳代で61.6%、20歳代で55.9%と高い。（図表7-2-2）

【図表 7-2-3 住まい別 長岡市内にあるスポーツ団体の認知度（※一部抜粋）】



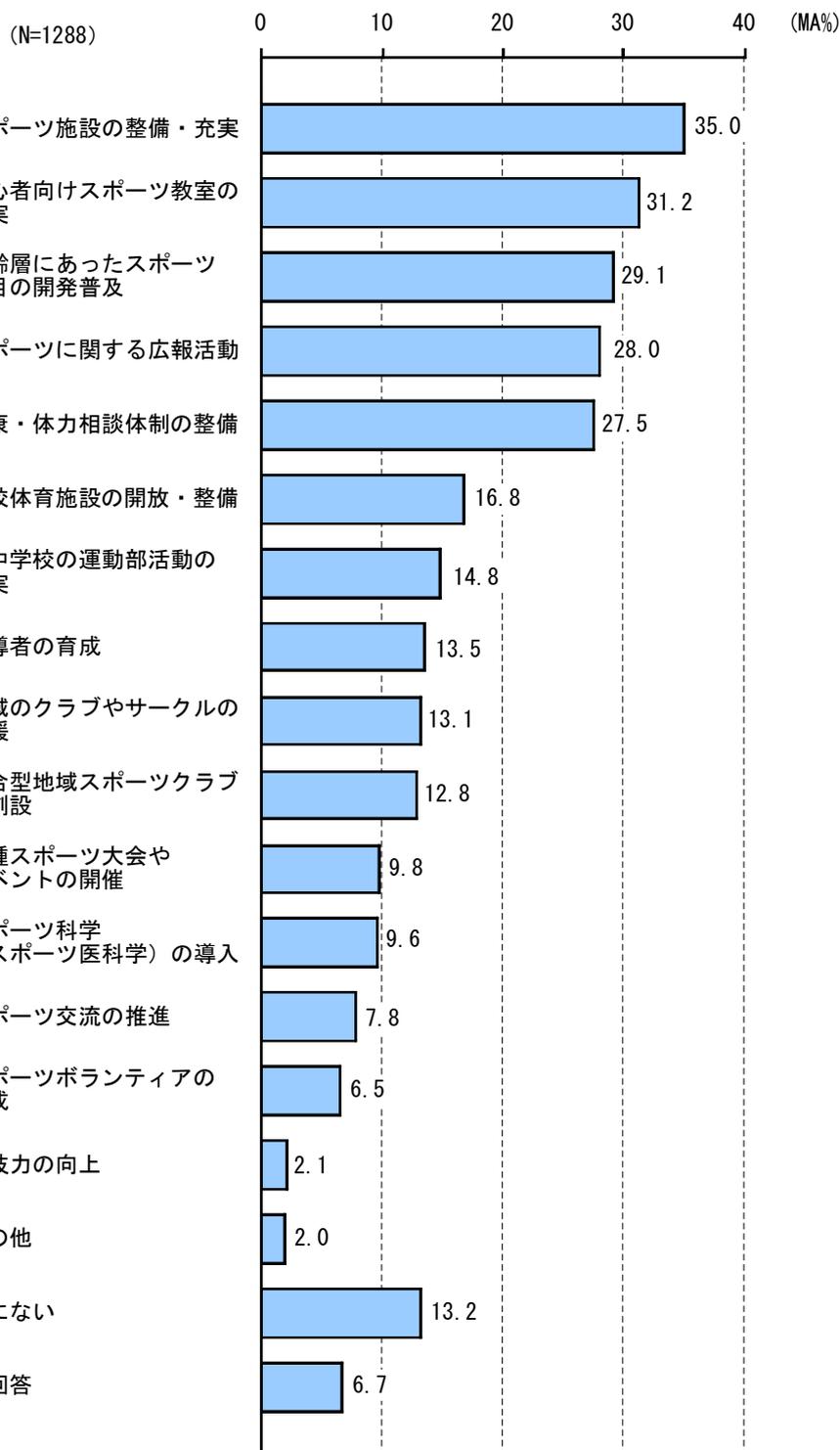
住まい別にみたところ、「フォー遊クラブ」が長岡第四小学校区に住む人で42.1%、「長七みんなのスポーツクラブ」が長岡第七小学校区に住む人で24.4%、「ふるさとスポーツクラブ」が長岡第九小学校区に住む人で26.8%と、それぞれ他の小学校区と比べて際立って高くなっている。(図表 7-2-3)

## 8. 今後のスポーツ振興のために必要な施策について

### (1) スポーツ振興のために取り組むべき施策

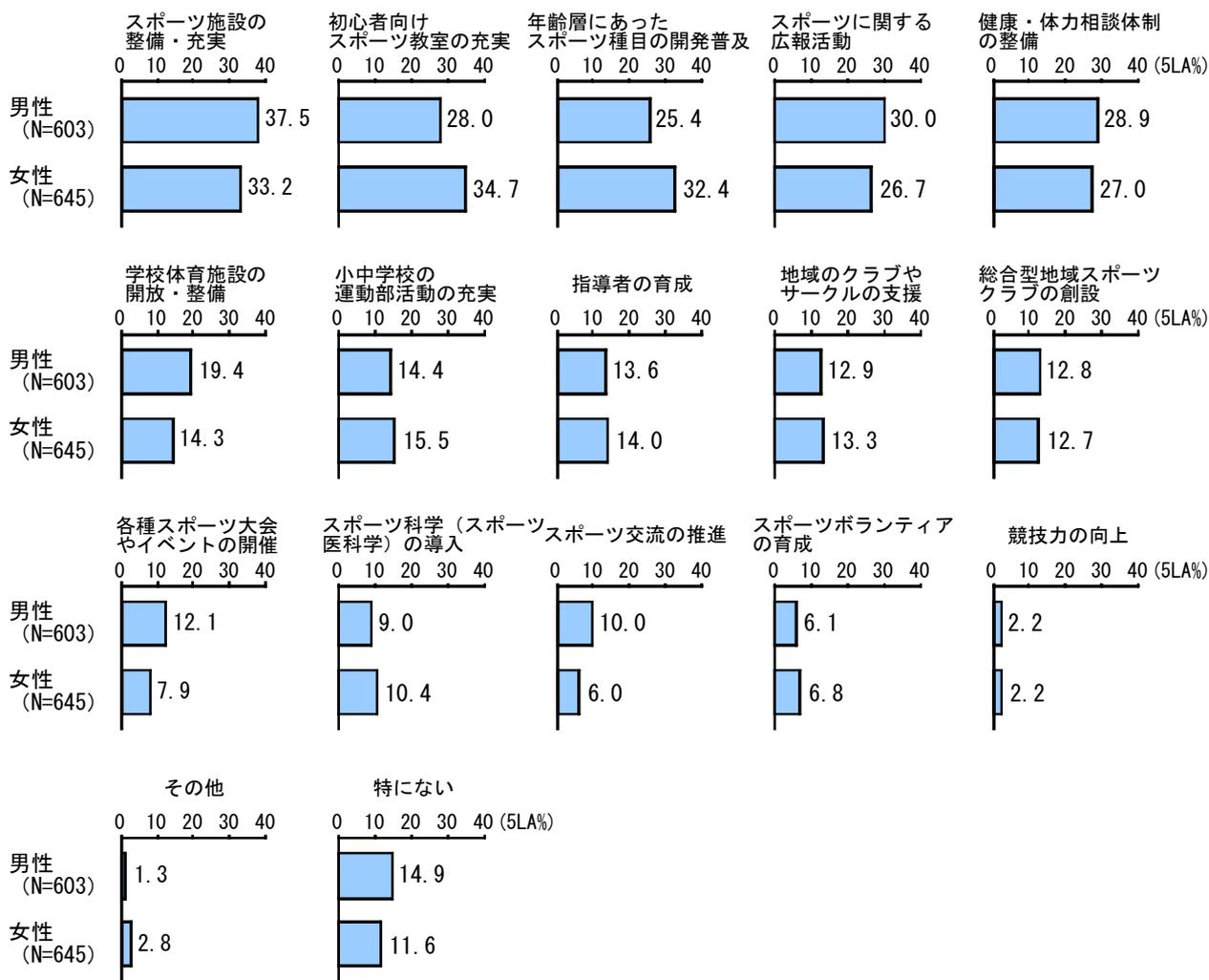
問 29 今後のスポーツ振興のために、長岡京市として特にどのような施策に取り組むべきだと思いますか。（〇は5つまで）

【図表 8-1 スポーツ振興のために取り組むべき施策】



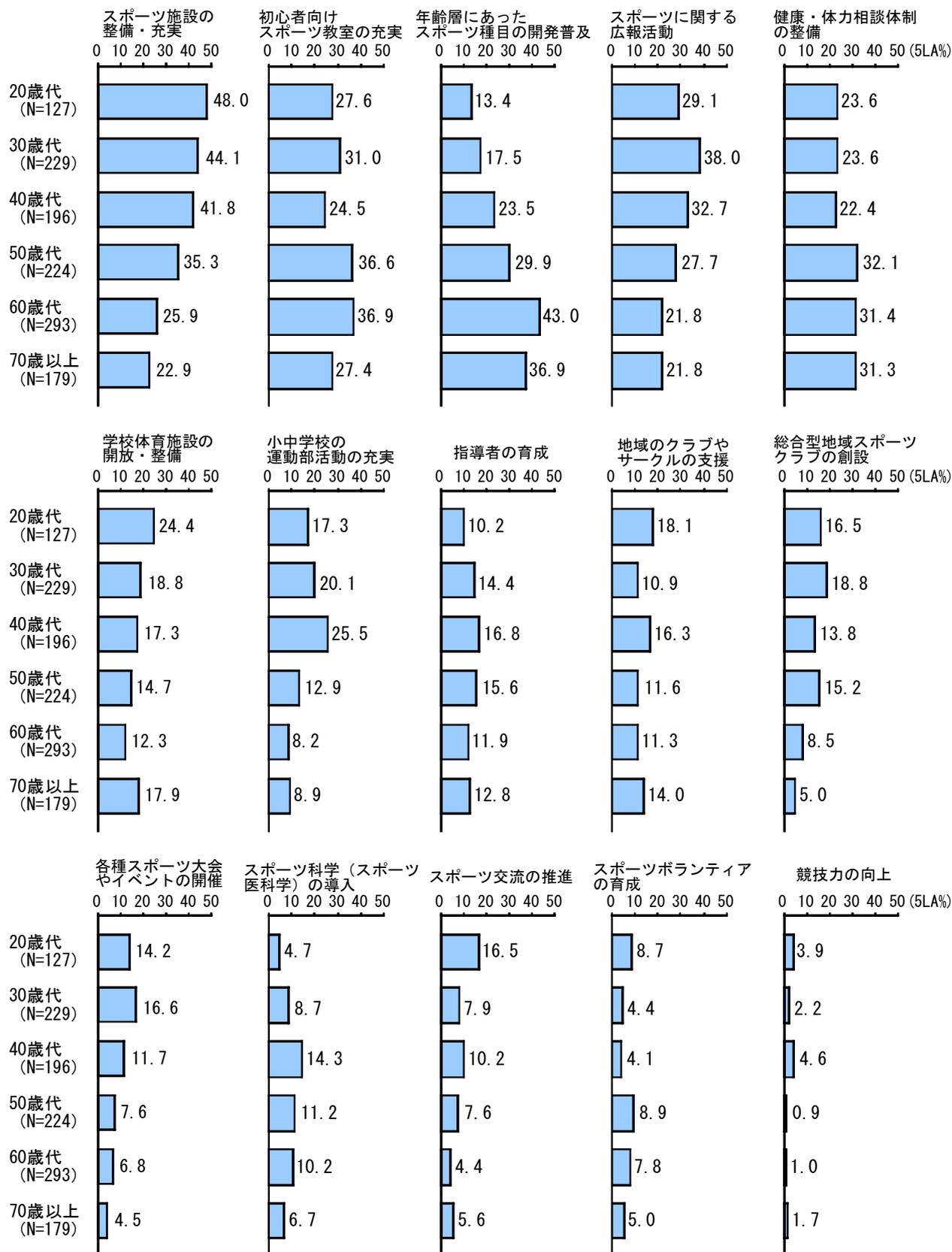
今後のスポーツ振興のために長岡京市として取り組むべき施策をたずねたところ、「スポーツ施設の整備・充実」が35.0%と最も多く、次いで「初心者向けスポーツ教室の充実」31.2%、「年齢層にあったスポーツ種目の開発普及」29.1%などとなっている。(図表8-1)

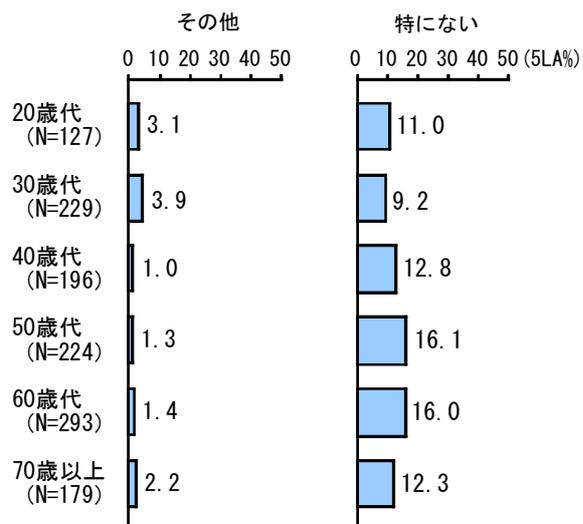
【図表 8-1-1 性別 スポーツ振興のために取り組むべき施策】



回答者の性別にみたところ、男性では「スポーツ施設の整備・充実」が37.5%と最も高く、次いで「スポーツに関する広報活動」30.0%、「健康・体力相談体制の整備」28.9%などとなっている。一方、女性では「初心者向けスポーツ教室の充実」が34.7%ともっとも高く、次いで「スポーツ施設の整備・充実」33.2%、「年齢層にあったスポーツ種目の開発普及」32.4%などとなっている。(図表8-1-1)

【図表 8-1-2 年齢別 スポーツ振興のために取り組むべき施策】





回答者の年齢構成別にみたところ、「スポーツ施設の整備・充実」が20歳代で48.0%、「年齢層にあったスポーツ種目の開発普及」が60歳代で43.0%、「スポーツに関する広報活動」が30歳代で38.3%「小中学校の運動部活動の充実」が40歳代で25.5%と、それぞれ他の年齢層と比べて高くなっている。(図表 8-1-2)

(2) 自由意見

問 30 最後に、スポーツに関してその他ご意見やご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

【図表 8-2 自由意見】

【主な意見】気軽にスポーツができる環境整備、きっかけづくりについて<全 80 件>

●	スポーツ施設というか、子どもが思い切り走り回れるような広場、公園が少ない。あったとしても駐車場などなく不便。
●	総合的に使用できる運動場。子ども達がキャッチボール等出来る広場がほしい。
●	遊歩道の確立による、ウォーキングの安全性等の確保。また、自転車道の確保によるサイクリングロードの整備。
●	気軽にソフトボール、サッカー（フットサル）ができる広い公園がない。
●	西山体育館へ行くのが大変で、参加したいと思うイベントや教室があっても参加できずにいる。
●	一度サークルに入ろうと見学に行ったことがあるが、皆レベルが高くおじけづいてしまい、入るのをやめてしまった。気軽に入れるサークルであってほしいと思う。
●	長岡京市には、公園の数は多いとは思いますが、アスレチックや大型遊具を備えた公園がないように思う。成人だけでなく、児童の運動不足も問題だと思うので、遊びながら体力を付けられる大型の児童遊園の設置を是非検討してもらいたい。
●	市など公共の施設は熱心な方の常連さんで占領されていることが多く、仕事を持ち、自分の都合に合わせて選ぼうとするとなかなかないのが現状。単発、不定期でも気軽に参加出来るような開放的なものであるとよい。そのためには、道具を使わないものや、グループ競技でないものも多く取り入れる必要がある。
●	ジムトレーニングをしたいと思っているが、自宅から西山体育館に行くのが遠く、また山の上にあるため、なかなか行けずに困っている。気軽にトレーニングができるジムトレーニング等が市内の中心部にあればと思う。
●	ペットと一緒にスポーツができるようなところを作ってほしい。
●	私は運動が苦手で学校の授業以外ほとんどスポーツをしたことはないが、楽しく簡単にできるスポーツがあり、きっかけがあれば始めてみたいと思う。
●	以前、向日市体育館の利用申し込みに行ったが、長岡京市民は西山体育館に申し込むよう断られた。しかし西山体育館は私の家からは遠くなかなか行けない。また、行くにしても車で10分ほどかかるため、ちょっと億劫になる。スポーツはしたいと思っているが身近に無いためできない。
●	特定の人しか利用出来ないようなイメージがあるため、参加しづらい。初心者でも気軽に参加できるような取り組みをお願いしたい。
●	スポーツ施設の整備は大切かもしれないが、身近に歩いたり、体を動かしたりできる公園が多くある方がありがたい。歩くにも車道ばかり整備されていてウォーキングしにくい。遊歩道やサイクリングコースがあれば気軽に体を動かせる。

●	気軽に簡単に誰でも始められるスポーツを提案していく。家の中で過ごす人達を、少しでも屋外のスポーツ（ウォーキングでも可）に参加させる仕組みづくりを望む。
●	公園での球技が禁止されるなど、子ども達が日常にスポーツに触れる機会が減っているように思う。
●	市内の道路にたくさんウォーキングコースを設定し、歩き易いように整備してほしい。（歩道のスペース拡大、路面の美化、明るい外灯など）
●	体力のある若者対象や高齢者向けのスポーツはあるが、案外、体力のない中年、スポーツが得意でない人向けのスポーツがない。もしあったとしても、実際には元気でスポーツの得意な人が多く、結局行きにくくなってしまう。
●	土曜、日曜に手軽に参加出来る。又、個人でも参加しやすい初心者スポーツ施設を充実してほしい。

【主な意見】スポーツ施設の整備、設備の充実について＜全 59 件＞

●	室内プールの建設。また、利用施設に付帯する駐車場の整備、充実。（有料でも可）
●	西山体育館のトレーニング室に冷暖房がないのは全く信じられない。
●	市のスポーツジムなどがなくて、民営ではないジムができればと思う。
●	広い緑と芝生を備えた公園がほしい。また、限られたスポーツ団体が占拠しているような施設は増やさなくてよい。
●	スポーツ観戦の出来るような施設がほしい。特に野球場、サッカー場のような野外スポーツ施設。
●	向日市民体育館のような、プールとスポーツジムみたいな施設があれば、ぜひ利用したいと思う。
●	長岡第5小の体育館の老朽が進んで使いにくい。（カーテン、床など）
●	安くて利用できる公営の温水・室内プールを設けてほしい。
●	もっとスポーツを習える場所、種目を増やしてほしい。
●	テニスについて、長岡公園テニスコートの利用者が多く利用しにくい。もっとテニス施設を整備してほしい。
●	ナイターの利用が出来るようになれば、もっと皆が小学校などを使えるのではないかな。
●	芝生の運動場がほしい。
●	専業主婦で子どもがまだ未就園の人はスポーツをしたくても子どもを連れてできるものはない。運動は健康のために必要と思っても、子どもを一時的に預けることができる保育所などが整っていないければ、イベントに参加することも困難である。

【主な意見】情報提供について＜全 46 件＞

●	初心者の受け入れについての対応等の情報が多くあった方が参加意欲が高まると思う。
●	自分の行っているスポーツ以外の情報があまり入ってこないで、広報活動に力を入れて頂きたい。
●	子どものいない家庭では学校施設やサークルの情報も伝わりにくい。
●	ふるさとスポーツクラブについて、その内容や利用条件等が知りたい。

II 調査結果 ～8. 今後のスポーツ振興のために必要な施策について～

●	スポーツに関する広報活動が全くない。施設の充実整備以前に広報に力を入れてほしい。
●	体力に自信がなく、スポーツに興味はあるが何をどうすればよいか考えている。相談する場所を広報などで知らせてほしい。
●	スポーツサークルなどの紹介、広報。小さな子ども（未就学児）も参加出来るスポーツサークルや大会等。
●	西山ハイキングマップを作成してほしい。
●	運動不足がちな大人向けのイベント等がもっと宣伝されればよいのではないと思う。
●	地域のスポーツクラブに入りたいと思うが、どこでどのように活動しているのかなどが分からない。広報などで募集してくれたら入り易く、スポーツを始まるきっかけになると思う。また、仕事などで時間がない人のために、活動しているクラブのスケジュールなどを取り上げてくれたら選び易いと思う。
●	活動内容・参加手続きの告知の充実。

【主な意見】施設を利用する際の条件について<全 36 件>

●	施設の利用をしたいと思うが、手続き講習を受けたり、利用時間の関係で利用したくてもなかなか出来ない。利用時間の拡大、手続きの簡素化を望む。
●	公共の施設を利用したことはないが、今後利便性があり安価な施設があれば利用していきたい。また、市バスがないので、はっぴいバスも70歳以上は無料とかもう少しメリットを出して、今あるスポーツ施設に行けるように考えていただきたい。
●	スポーツは好きなので、出来ればママさんバレーのようなものをしてほしいと思っているが、近所では平日の夜としかかないため、仕事をしているとなかなか行けない。小さな子どもと一緒に連れて行くのも難しい。
●	スポーツセンターを利用しているが、場所がなかなか取れない。電話も話し中ばかり。日曜日の利用等、何か良い方法はないのか。運動したくてもなかなか場所がない。
●	利用料金がかからず、設備の良い環境で誰でもいつでも使える場所があれば利用してみたい。24時間開放されていれば、年齢層にあった人が集まってスポーツをし、そこで年代の交流や仲間づくりができると思う。このような施設やきっかけがない限り、若い年代にスポーツを結びつけることは難しいと思う。
●	プール等公の物があれば良いと思う。市の施設を利用するのであれば、低料金でできる等援助がほしい。
●	仕事で遅くなるため、夜遅くまでしている市のスポーツクラブがあれば良いと思う。長岡京市にはフィットネスクラブがあるが、料金が高く、時間も全く合わないため、スポーツをしたくても出来ない状況である。
●	土日祝に利用できるスポーツクラブがもっと充実すればと思う。
●	利用できる場所、設備、利用料金等が明確で、手続きが簡単になるようにインターネットが利用できるようなれば良い。

【主な意見】 スポーツ大会やイベントについて〈全 26 件〉

●	スポーツに興味を持っていてもなかなか気軽に利用できるクラブや教室が身近にない。体験教室のようなものを近くの市町と協力（合同）して開くなど、きっかけづくりのためのイベントや教室に力を入れてほしい。
●	子どもが遊びを通して体力を養っていくのは重要なことであり、遊びの要素を取り入れたスポーツイベントを企画してほしい。
●	子どもと親子で一緒にスポーツできるようなものがあれば交流にもつながり良いと思う。
●	市民運動会と区民運動会は一つにまとめても良いのではないかな。
●	以前、体振の世話役を経験した事があるが、市民運動会への出場のため町内の各家庭に声かけして回ったがなかなか集まらず、結局自分達が重複して種目に出場したことがある。今後も少子化、高齢化の影響で参加する人数は減っていき、役員さんの負担が大きくなっていくのではないかと考えられる。「市民運動会」という形にこだわらず、もっとみんなが気軽に楽しめるイベントができればいいと思う。
●	小さい子どもがいるためなかなかスポーツをしたり、身体を動かしたりする機会がない。乳幼児も一緒に参加できるようなイベントもしてほしい。
●	私のようなスポーツが苦手または興味がない人にとって、最初の一步を踏み出すことがとても難しかったりする。初心者や（健康のために）何かを始めたいという人に対するきっかけづくりとなるような参加しやすいイベントが身近にあればと思う。

【主な意見】 各年齢層や障害者向けの運動やスポーツについて〈全 25 件〉

●	高齢者が手軽に運動できるような場所があれば、健康のためにも地域交流のためにもとても良いと思う。
●	若い世代の人や子ども、高齢者など、各年齢層に合わせた取り組みでなければ、高齢者にスポーツと言われても老化した身体では急にはできない。若い時からスポーツに馴染むことは大切だと思っている。
●	週 1 回枚方市で車椅子テニスをしており、テニス協会があり障害者テニスにも理解がある。長岡京市でも本格的に障害者スポーツができる環境、支援があればうれしく思う。
●	市老連の集いによく出席するが、膝や腰の痛みがよく話題に出る。リハビリを兼ねた、膝や腰に楽な運動を指導してもらえるサークルのようなのがあればと思う。
●	若者が使用できる施設が少なすぎると感じている。小学校や中学校の体育館ではなく、図書館のような公共性の高い、誰でも利用できるスポーツ施設（総合スポーツ施設、特にジムや水泳設備）を整備してほしい。
●	高齢者の健康、体力づくりのためのスポーツができるクラブや施設の整備を。

【主な意見】 指導体制の充実について〈全 14 件〉

●	指導者の充実。
●	小学校に子どもが運動好きになるような指導者を時々招くといったことにお金を使ってほしい。

●	中高年のための、健康管理のための、スポーツの普及を。スポーツ医学を取り入れて、個々へのカリキュラム指導カルテを作成するなどの指導体制づくりを期待している。
---	---

【主な意見】既存の施設の利用について＜全 12 件＞

●	長岡京市には市民プールが無いが、新設も難しいと思う。学校のプールが使用できるようになればと思う。
●	スポーツ振興は良いことだが、これ以上の施設を造る必要はないと思う。従来の学校開放や既存の施設をもっと活用してもらいたい。
●	休日の学校体育施設の開放。

【主な意見】地域の活動について＜全 6 件＞

●	各校区にスポーツクラブがあり、学校体育館を利用し活動しているが、閉鎖的で新人は入りにくい面がある。
●	各クラブ新人（現役、若い人）の入部が少ない。老年化が進み、長育連等の大会にも単独の参加が出来ず、中学との連立参加になってきている。各クラブとも勧誘活動はしているが、なかなか若い人が入部してくれない状況である。スポーツデーを開催しているが、役員とクラブ員が来ているだけで、なかなか新しい人の参加がない現状である。

【主な意見】学校のクラブ活動について＜全 5 件＞

●	小学生がスポーツクラブに入ると、親の負担がかなり重い。中学生のように、希望者だけ学校でクラブ活動をしていただきたい。
●	中学校の部活を充実できるよう指導者もそれなりの方に付いて頂ければ、多方面のクラブチームに入団することなく、在学の中学校で部活をする子どもが増えるように思います。

【主な意見】行政について＜全 21 件＞

●	税負担が少なく、スポーツ振興に取り組んでいただければ一番良いと思う。
●	スポーツ活動も健康・体力づくりに必要だとは思いますが、スポーツができない人または興味がない人にとってはもっと他のこと（教育や文化）の充実に力を入れてほしいと思う。
●	スポーツは人との親交を深めるのに最適な手段だと思うので、施設などの充実とともに人と人との繋がりを深められるような形でスポーツ振興を行っていただきたい。
●	私はサッカー観戦が好きだが、J2サガン鳥栖のような地域密着のプロチームが長岡京市にあれば良いと思う。専用のサッカー場を持ち、試合日には多くの市民が応援に駆けつける。市民みんなでサポートできるスポーツチームの誘致など、スポーツ振興としての政策として検討していただきたい。

# スポーツに関する市民意識調査 報告書

平成21年3月

編集・発行：長岡京市教育委員会 青少年・スポーツ課

〒617-8501 京都府長岡京市開田1丁目1番1号

TEL 075-955-9735

URL <http://www.city.nagaokakyo.kyoto.jp/>